

官報

號外

大正五年二月十九日

土曜日

印刷局

第三十七回 衆議院議事速記録第二十八號

大正五年二月十八日(金曜日)午後一時三十二分開議

議事日程 第二十七號 大正五年二月十八日

午後一時開議

- 第一 證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 特許法中改正法律案(織田丁君提出) 第一讀會
- 第八 實用新案法中改正法律案(織田丁君提出) 第一讀會
- 第九 砂鑛法中改正法律案(戶叶嘉雄君提出) 第一讀會
- 第十 農會法中改正法律案(齋藤宇一郎君提出) 第一讀會
- 第十一 東北六縣國有林野下戻處分ニ關スル建議案(中谷清壽君提出) 第一讀會
- 第十二 金玉均表彰ニ關スル建議案(小林勝民君提出) 第一讀會
- 第十三 安房鐵道速成ニ關スル建議案(小林勝民君提出) 第一讀會
- 第十四 地方產業資金ニ關スル建議案(木村平右衛門君提出) 第一讀會
- 第十五 八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案(山田珠一君提出) 第一讀會
- 第十六 畜產業國庫補助ニ關スル建議案(山田珠一君提出) 第一讀會
- 第十七 上越鐵道建設ニ關スル建議案(須藤嘉吉君提出) 第一讀會
- 第十八 信越河東鐵道建設ニ關スル建議案(高島順作君提出) 第一讀會
- 第十九 外國米輸入官營ニ關スル建議案(井原百介君提出) 第一讀會
- 第二十 神通川改修工事速成ニ關スル建議案(關野善次郎君提出) 第一讀會
- 第二十一 鐵道旅館増設ニ關スル建議案(川井爲巳君提出) 第一讀會
- 第二十二 音樂教育ニ關スル建議案(高野金重君提出) 第一讀會
- 第二十三 上越鐵道建設ニ關スル建議案(川上榮太郎君提出) 第一讀會

- 第二十四 北海道拓殖速進ニ關スル建議案(小池仁郎君提出) 第一讀會
- 第二十五 農事獎勵ニ關スル建議案(多木久米次君提出) 第一讀會
- 第二十六 (特別報告第五十九號)營業稅法中改正ノ請願 第一讀會
- 第二十七 (特別報告第六十二號)庄内川改修ニ關スル請願 第一讀會
- 第二十八 (特別報告第六十三號)加古川河川改修ノ請願 第一讀會
- 第二十九 (特別報告第六十四號)岩木川水害除去工事施行ノ請願 第一讀會
- 第三十 (特別報告第六十五號)漁船避難港築造ノ請願 第一讀會
- 第三十一 (特別報告第六十六號)網走港修築速成ノ請願 第一讀會
- 第三十二 (特別報告第六十七號)稚内築港速成ノ請願 第一讀會
- 第三十三 (特別報告第六十九號)農業資金融通ノ請願 第一讀會
- 第三十四 (特別報告第七十號)農業倉庫法制定ノ請願 第一讀會
- 第三十五 (特別報告第七十一號)米價調節ノ請願 第一讀會
- 第三十六 (特別報告第七十三號)癘兵傷病兵及遺族優遇ニ關スル請願 第一讀會
- 第三十七 (特別報告第七十四號)姫路城西ノ丸保存ノ請願 第一讀會
- 第三十八 (特別報告第七十六號)乃美尾村ニ郵便電信局設置ノ請願 第一讀會
- 第三十九 (特別報告第七十七號)鏡石村ニ郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十 (特別報告第七十八號)木田村ニ郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十一 (特別報告第七十九號)下之川村ニ三等郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十二 (特別報告第八十號)中名田村ニ郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十三 (特別報告第八十一號)谷頭驛ニ郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十四 (特別報告第八十二號)菅生村ニ郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十五 (特別報告第八十三號)東仙道村ニ集配郵便局設置ノ請願 第一讀會
- 第四十六 (特別報告第八十四號)二川村ニ集配郵便局設置ノ請願 第一讀會

- 第四十七 (特別報告第八十五號)三ツ木村ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十八 (特別報告第八十六號)田幸村鹽町ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第四十九 (特別報告第八十七號)下大野村ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十 (特別報告第八十八號)大濱村宮前ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十一 (特別報告第九十號)耳村佐柿ニ區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十二 (特別報告第九十一號)脇町區裁判所白地出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十三 (特別報告第九十二號)下城井村安武ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十四 (特別報告第九十三號)上湧別村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十五 (特別報告第九十四號)東旭川村ニ區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十六 (特別報告第九十六號)黑澤尻町ニ區裁判所新設ノ請願 (委員長報告)
- 第五十七 (特別報告第九十七號)小學校教員俸給國庫支辨ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第五十八 (特別報告第九十九號)福山今市間輕便鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第五十九 (特別報告第一百號)所子村ニ停車場設置ノ請願 (委員長報告)
- 第六十 (特別報告第一百一號)廣島江津間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十一 (特別報告第一百十二號)野上旭川間輕便鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十二 (特別報告第一百十三號)厚岸網走間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十三 (特別報告第一百十四號)阿片賠償價格改正ノ請願 (委員長報告)
- 第六十四 (特別報告第一百十五號)阿武隈川改修速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十五 (特別報告第一百十六號)阿武隈川ヲ河川法第一期川ニ編入ノ請願 (委員長報告)
- 第六十六 (特別報告第一百十七號)七尾港修築ノ請願 (委員長報告)
- 第六十七 (特別報告第一百十八號)留萌港修築速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十八 (特別報告第一百十九號)北海道札幌區內豐平橋架設ノ請願 (委員長報告)
- 第六十九 (特別報告第一百二十號)軍人恩給法中改正ノ請願 (委員長報告)

- 第七十 (特別報告第二百二十四號)岡山村岡部ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十一 (特別報告第二百五號)山田郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第七十二 (特別報告第二百六號)坂部村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十三 (特別報告第二百七號)仁萬村郵便電信局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十四 (特別報告第二百八號)中村ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十五 (特別報告第二百二十九號)五ヶ莊村ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十六 (特別報告第二百四十三號)木造町ニ區裁判所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十七 (特別報告第二百四十四號)入野村ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十八 (特別報告第二百四十五號)古墳發掘竝埋藏物處分ノ請願 (委員長報告)
- 第七十九 (特別報告第二百四十七號)專門學校入學者檢定規定ノ實施方法改正ノ請願 (委員長報告)
- 第八十 (特別報告第二百四十九號)天鹽沿岸線鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十一 (特別報告第二百五十號)壽都黑松內間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十二 (特別報告第二百五十一號)膽振線紋龜黑松內間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十三 (特別報告第二百五十二號)千葉縣下勝浦北條間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

- 一、政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案
一、議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
水產調查會設置ニ關スル建議案
提出者 高木 正年君 金子 元三郎君 小池 仁郎君
佐藤榮右衛門君 小西 和君 成田 榮信君
京都高等職業學校ニ農業科併置ニ關スル建議案
提出者 川崎 安之助君
產業組合ニ關スル建議案
提出者 小林 嘉平治君 川崎 安之助君 有田 溫三君
酒造税法中改正法律案
提出者 菅 原 傳君 金子 元三郎君 中西 六三郎君
平出 喜三郎君 高杉 金作君 前川 虎造君
加藤 宇兵衛君

東北振興ニ關スル建議案

提出者

村松龜一郎君 首藤 陸三君
村松山壽君 半谷 清壽君
市原 又次郎君 長澤 倉吉君
阿部 勇治君 菊池 良一君
中野 佛治君 江口 勝之助君
齋藤 宇一郎君 添田 飛雄太郎君
菅 原 傳君 白井 逸平君
大芝 惣吉君 平井 六右衛門君
阿部 德三郎君 野村 治三郎君
加藤 宇兵衛君 小林 源藏君
細梅 三郎君 柳田 清兵衛君
伊 犬 高 工 堀 井 竹 欄 鈴 互
東 塚 杉 藤 切 藤 村 木 理
知 勝 金 善 恭 欽 寅 胤
也 太郎 次 兵 之 正
君 君 君 君 君 君 君 君 君 君

一、議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
曆法ニ關スル質問主意書

提出者 早川 龍介君
貴族院提案ノ所謂妥協案ニ關スル質問主意書

提出者 清水 市太郎君
一、政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

大正五年二月十七日

内閣總理大臣伯耆大隈重信

衆議院議長島田三郎殿

衆議院議員龍口了信君提出宗教尊重ニ關スル質問ニ對スル別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員龍口了信君提出宗教尊重ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、政府ハ現ニ宗教ヲ重視シ宗教家ノ尊嚴ニ依リ一層ノ振作ヲ見シコトヲ期待ス
二、我國ノ學校教育ニ於テハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ニ基キ銳意國民道德ノ振興ヲ圖リ健全ナル精神ヲ涵養スルニ努メツツアリ政府ハ將來此方針ニ依リ益々其徹底ヲ期セムトス而シテ學校教育ニシテ勅語ノ御趣旨ヲ十分ニ貫徹スルヲ得ハ質問ノ如キ忠告キモト信ス

三、神社ハ國家ノ祭祀ニシテ宗教ニ關係ナク神職ハ神社ニ奉仕スヘキ國家ノ機關ニシテ固ヨリ宗教教師ニアラス唯府縣社以下ノ神社神職ニ在リテハ明治十五年內務省乙第七號達ニヨリ葬儀ニ與ルコトアルヘク又神職ガ偶宗教ノ說話ヲナスコトアリトスルモ共ニ神職トシテノ行為ニアラサルコト勿論ナリ又神社ニ於テ神符ヲ授與スルカ如キハ神社奉仕ノ目的ニ反スルモノニアラス

四、政府ハ今回ノ御大禮ニ際シ佛敎徒カ大ナル凌辱ヲ受ケタル事實アルヲ認メス(一)佛敎五十六派ヨリ一名ノ管長ヲ總代トシテ參列セシメラレタルハ事實ナルモノ之ヲ以テ凌辱ナリト謂フヲ得ス而モ其待遇ハ勅任取扱トシテ待遇セラレタルモノニシテ相當ナリトス(二)敎位敎勳ノ詮議ニ於テ故ラ僧侶ヲ除外シタルコトナシ(三)京都府知事カ各宗本山宗務所ヲ侮辱セルコト無シ(四)地方賜餐ニ於テ佛敎各派管長管長事務取扱及門跡寺院住職ヲ召サセラレタルニ徴スルモ僧侶ヲ度外視シタルモノニアラサルコト明ナリ(五)或地方ニ於テ神社參拜等ノ申合セヲ爲シタレハトテ佛敎徒ニ對スル迫害ナリト謂フヲ得ス

五大正四年二月新義真言宗豐山派管長ノ認可ヲ解除シ別ニ管長事務取扱ヲ命シタルハ管長ニ於テ政府ノ認可シタル宗制ニ違反シ且ツ政府ノ命令ヲ奉セザリシ

カ爲メ已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ監督上必要ノ措置タリ
六、宗教ニ關スル法令ハ目下調査中ナリ
右及答辯候也
大正五年二月十日

内務大臣法學博士一木喜徳郎
文部大臣法學博士高田 早苗

大正五年二月十七日

内閣總理大臣伯耆大隈重信

衆議院議長島田三郎殿

衆議院議員四田銳吉君提出地方青年團體ニ關スル再質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員四田銳吉君提出地方青年團體ニ關スル再質問ニ對スル答辯書

一、未成年者ノ修養特ニ必要アリト認メ之カ標準ヲ示シタルナリ敢テ二種ノ青年團體ヲ成立セシムトスルノ意ニアラス
二、成年者ハ青年團體ノ援助者又ハ他ノ團體員ト爲リ尙土地ノ狀況ニ依リテハ必要ニ應ジ青年團體員タルヲ妨ケサル等自カラ修養ノ方法アリト認ム
三、青年團體中ニハ特別ノ事情存スルモノアリ是レ一律ノ下ニ該標準ニ適合セシムルコトヲ強要セサル所以ニシテ其實行ヲ期スルニ於テ宜シキヲ得タルモノト信ス
右及答辯候也
大正五年二月十七日

大正五年二月十七日

内務大臣法學博士一木喜徳郎
文部大臣法學博士高田 早苗

大正五年二月十七日

内閣總理大臣伯耆大隈重信

衆議院議長島田三郎殿

衆議院議員伊東知也君提出岡陸軍大臣ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員伊東知也君提出岡陸軍大臣ニ關スル質問ニ對スル答辯書

乃木家創立ニ付テハ個人トシテ之ニ關與セシモノナルカ故ニ陸軍大臣トシテ答辯ノ限リニ在ラス
右及答辯候也
大正五年二月九日

陸軍大臣岡市之助

大正五年二月十七日

内閣總理大臣伯耆大隈重信

衆議院議長島田三郎殿

衆議院議員佐々木安五郎君提出在外同胞迫害事件續出ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
(別紙)

衆議院議員佐々木安五郎君提出在外同胞迫害事件續出ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、政府ハ本件發生ノ後直チニ吏員ヲ現場ニ派遣シ關係者ニ就キ具サニ事

情ヲ調査セシメタル結果蘭國官憲ノ處置ニ其當ヲ得サルモノアルヲ認メ在バタ
ビヤ帝國領事ヲシテ蘭領東印度政府ニ對シ本件善後處分ニ關スル交渉ヲ開始セ
シメ目下銳意之ヲ妥結ニ盡力中ナリ右交渉事項中蘭領東印度官憲ニ於テ本國
政府ノ指揮ヲ受クルノ必要アルモノアル等ノ關係上未タ商議ノ結了ヲ見ルニ至ラ
スト雖モ政府ハ本件力カ遠カラズ友好的精神ニ依リ滿足ナル解決ヲ告クヘキ事ヲ期
待スルモノナリ

二、滿蒙ニ關スル新條約ノ適用上間島在留ノ朝鮮人ハ一律帝國ノ法權ニ服從スヘ
キモノタルヲ以テ同條約實施以來同地駐在帝國領事官ヲシテ其趣旨ヲ以テ措辦
セシメタル然ルニ支那政府ニ於テハ反對ノ見解ヲ執リ一面帝國政府ニ抗議スル
共ニ他面朝鮮人カ我カ法權ニ服從スルコトニ對シ種々妨害ヲ試ミタリ帝國政府
ハ我條約上ノ權利ヲ擁護シ朝鮮人ノ保護ニ努ムルト同時ニ北京及間島兩地ニ
於ケル我代表者ヲシテ或ハ口頭或ハ文書ヲ以テ屢次折衝ヲ重ネシメタル結果今ヤ
支那政府ニ於テハ十分我所信ヲ諒解スルニ至レルモノト思考セラレ追テ適當ナル
解決ヲ見ルニ至ルヘキモ本件ハ未タ交渉中ニ屬スル案件ナルヲ以テ之カ經過ノ詳
細ヲ發表スルノ時機ニ達セズ
右及答辯候也

大正五年二月十五日

外務大臣男爵石井菊次郎

大正五年二月十七日

內閣總理大臣伯爵大隈重信

衆議院議長島田三郎殿

衆議院議員岩本平藏君提出所得稅法施行ニ關スル質問ニ對スル別紙答辯書差
進候

(別紙)

衆議院議員岩本平藏君提出所得稅法施行ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一所得稅法第四條ノ三第三號ニ規定セル山林伐採ノ所得トハ立竹木ノ處分ニ因
ル所得ヲ指稱スルモノナリ而シテ同法施行規則第一條第二項ハ土地ト共ニ處分
シタル立竹木ノ所得ヲ山林伐採ノ所得トスルコトヲ定メタルモノナルヲ以テ兩者ノ
間矛盾スルコトナシ

一前項ノ如クナルヲ以テ右施行規則第一條第二項改正スルノ意思ナシ

一山林伐採ノ意義前記ノ如クナルヲ以テ稅務官廳カ山林讓渡ノ場合ニ於テ所得
稅法施行規則第一條第二項ヲ適用シテ其ノ立竹木ノ所得ニ對シ課稅セルハ誤
解ニアラスト認ム

右及答辯候也

大正五年二月十六日

大藏大臣武富時敏

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一委員異動 關稅定率法中改正法律案委員小池仁郎君辭任ニ付其補闕トシテ
綾部惣兵衛君ヲ、同委員有田溫三君辭任ニ付其補闕トシテ平出喜三郎君ヲ、
兵役稅法案外一件委員加藤定吉君辭任ニ付其補闕トシテ尾崎元次郎君ヲ、
輸出品粗製濫造防止ニ關スル建議案委員福田民平君辭任ニ付其補闕トシテ
山宮藤吉君ヲ議長ニ於テ就レモ選定セリ
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

華族世襲財產法改正法律案委員會

委員長 古屋 慶隆君

理事

互理胤正君
森田茂君
米田實君

關稅定率法中改正法律案委員會

委員長 守屋 此助君

理事

鈴木久次郎君
小森雄介君
田村新吉君

元屯田步兵扶助ニ關スル法律案委員會

委員長 森田 小六郎君

理事

樋口秀雄君

一理事補闕選舉 理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

露絲業振興發達ニ關スル建議案

理事小西和君(尾崎元次郎君補闕)

○樋口秀雄君 裁判所復舊案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、委員ノ諸君ハ御出席
ヲ願ヒマス

○議長(島田三郎君) 暫ク／＼樋口サン暫ク——マダ會議ヲ開キマセヌ中ニ發議
ハ……

○樋口秀雄君 發議ハアリマセヌ

○議長(島田三郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、此際念ノ爲メニ一言致シテ置キマス、
本日日本會議ヲ開キマシタノハ、議會ノ開期三分ノ二ヲ經過致シマシタキハ毎日日本會
議ヲ開キ得ルコトノ權限ヲ議長ニ與ヘラレテ居ルコトハ二十七議會ノ會議ニ決定致シテ
居リマス、以來每議會之ヲ實行シテ居リマス、過日ハ福田君ノ發議ガアリマシタカラ自
然院議ニ御諮リ致シタノデ、今日ハ慣例ニ準據致シテ開キマシタ、更ニ念ノ爲メニ此ニ
一言致シテ置キマス、會期モ益々切迫致シテ居リマス、今後ハ自然御諮リ致シマセズ
先決ノ慣例ニ依ラウト思ヒマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 衆議院議員選舉法案ノ委員會ヲ、委員長川崎克君カラ開
キタイト云フ請求ガアリマス、更ニ華族世襲財產法案委員會、是モ委員長古屋慶隆
君カラ開キタイト云フ請求ガアリマス、兩者トモ之ヲ許可致シマス——日程第一、證券
ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、加藤政府委員

第一 證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案 政府提 第一讀會

(出)

第一條 租稅其ノ他ノ政府ノ歲入ハ命令ノ定ムル所ニ依リ證券ヲ以テ之ヲ
納付スルコトヲ得但シ印紙又ハ郵便切手ヲ以テ納付スヘキモノニ付テハ
此ノ限ニ在ラス

第二條 前條ノ規定ニ依リ納付シタル證券ニ付支拂ナカリシトキハ命令ヲ
以テ定メタル場合ニ限リ初ヨリ納付ナカリシモノト看做ス此ノ場合ニ於
ケル證券ノ處分ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ規定ニ依リ關稅又ハ噸稅ヲ初ヨリ納付ナカリシモノト看做シテ徵
收スル場合ニ於テ之ヲ納付セサルトキハ內國稅徵收ニ關スル規定ヲ準用
ス

第三條 本法ニ依リ證券ヲ受領シタル市町村ハ證券ニ屬スル權利ヲ行使シ
現金ヲ國庫ニ送付スル責任アルモノトス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ證券

ヲ國庫ニ送付スルコトヲ得
市町村其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ證券金額ノ支拂又ハ償還ヲ受
クルコトヲ得サルトキハ其ノ事實ヲ具シ政府ニ責任ノ免除ヲ請フコトヲ
得

前項ノ申出アリタルトキハ政府ハ事實ヲ審査シ市町村ノ責任ヲ免除スル
コトヲ得

第四條 本法中市町村ニ關スル規定ハ法令ニ依リ租稅其ノ他ノ政府ノ歳入
ヲ徵收シ其ノ徵收金ヲ國庫ニ送付スヘキ責任アル者ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員加藤政之助君登壇〕

○政府委員(加藤政之助君) 證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律案、提出ノ理
由ヲ是ヨリ申上ゲマス、證券ヲ以テ租稅其他ノ歳入ヲ納付スル件ニ關シマシテハ、從來
勅令若クハ省令ニ依リテ規定セラレタルモノガアリマシタケドモ、其歳入ノ範圍
モ極メテ狹ク又證券ノ種類モ少イノデアリマス、例シテ申シマスレバ郵便爲替券公債ノ
利札、或ハ制限セラレタル小切手ト云フ位ニ止ツテ居リマシタ、而シテ小切手ニ對シマシテ
ハ不渡ノ場合ノ規定等ヲ缺イテ居リマシタガ故ニ、之ヲ廣ク實行スルコトガ出來ズシテ
甚ダ不十分ナ有様ニ置カレテアリマシタノデアリマス、併ナガラ今ノ經濟界ハ非常ノ發展
ヲ致シマシテ、斯ノ如キ制限ハ今日ノ時期ニ極メテ不適當ナリト政府ハ信ズルノデアリ
マス、從ツテ此證券ヲ以テ納付スル歳入ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、又證券ノ種類ヲ擴
張致シマシテ、今日ノ經濟界發展ノ便ニ應ジテ、公衆一般ノ便利ヲ進ムルコトヲ
考フ以テ此案ヲ提出致シタ次第デアリマス、諸君ハ宜シク御審議ノ上御協賛アララン
コトヲ希望致シマス

○横尾輝吉君 裁判所構成法並ニ辯護士法ヲ臺灣ニ施行シタイト云フ案外一件ニ
付キマシテ、是ヨリ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、許可ヲ乞ヒマス

○議長(島田三郎君) 許可致シマス、次ノ日程ニ移リマス、日程第二、右議案ノ
審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉、之ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○福田又一君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託シ審査セラレシコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田君ノ發議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナシト認メテ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコト
ニ決シマス、日程第三理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案、第一
讀會ヲ開キマス、河野農商務大臣

第三 理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル 第一讀會

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案

第一條 産業ノ發達ニ資スル爲理化學ヲ研究シ其ノ成績ノ應用ヲ圖ルコト
ヲ目的トスル公益法人ノ一ニ對シ政府ハ本法施行ノ日ヨリ十年ヲ限リ毎

年二十五萬圓以內ヲ補助スルコトヲ得

前項補助金ノ總額ハ二百萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス
第二條 前條法人ノ業務ハ農商務大臣ノ監督ニ屬ス

農商務大臣ハ前條ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケタル法人ノ業務ヲ指揮監督シ
之カ爲必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔農商務大臣河野廣中君登壇〕

○農商務大臣(河野廣中君) 本案ニ付テ提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、工業其
他一般ノ産業ノ發展ヲ圖リ國家ノ富力ヲ増進セントスルニハ、理化學ニ關スル獨創的
ノ研究ヲ爲シマシテ、我國人ノ發明能力ヲ發揮セシメテ以テ其智能上ノ生産力ヲ充實
セヌケレバ國家ノ強盛、殊ニ近時歐洲戰亂ニ付キマシテ、今後益々軍事材料ノ獨
立、工業物質ノ持久、之ヲ畫策スルコトハ最モ緊要ナルコトヲ教ヘマシタノデアリマ
ス、ソレ又理化學研究ノ必要ハ愈々痛切ニ之ヲ覺知セシメマシタノデアリマス、然ル
ニ我國ニ於キマシテハ從來此種ノ機關ニ缺クルコトガゴザイマシテ、誠ニ遺憾トスルコト
デアリマシタ、幸ニ今回民間有志ニ於テ公益法人タル理化學研究所ヲ設立シタイト
云フ計畫ガゴザイマス、然ルニ此事業ハ少ナカラザル資金ヲ要シマス、故ニ民間有志ノ
國家事業トシテ之ヲ助成シ國運ノ發展ニ資セントスルノデアリマス、其補助金總額ハ
十箇年通ジテ二百萬圓トシテ毎年二十五萬圓以內ヲ支出致シマシテ、民間有志ノ釀
金ト相俟ツテ必要ナル資金ヲ充實センコトヲ計畫致シマシテ、即チ本案ヲ提出致シマシ
タ次第デアリマス、宜シク御審議ノ上御協賛アラランコトヲ切望致シマス

○鈴木梅四郎君 簡單テゴザイマス、此處カラ申シマス、本案ニ付キマシテハ吾
最モ贊成スルコトコロ、過日來實ハ我黨ハ本問題ニ付キマシテ案ヲ具シテ提出シヤウト
思ツタノデアリマス、政府ガ此提案ヲナサルコト云フコトヲ承ツテ居リマシタ差控エテ居リ
マシテ、今日ニ至ツテデアリマス、所デ此案ヲ見マシテ實ハ其貧弱ニ驚イタノデアリマス
ガ、ソレハ免ニ角取テザ御尋申シタイコトハ、公益法人ノ總資本ハ一億ニテデアリマス、
設備費即チ固定ノ使用ヲ要スルモノガドノ位、ドノ位ノ資本ヲ爲サルノデアリマス、
云フコトガ第一、年々研究費ヲシテ使ハレトコロノ費用ハ凡ソドレ位ノ豫算ニナツテ居
ルカ、其次ニ此說明書ヲ見マスレバ産業ヲ發達セシムル爲メニ云フ文字ガゴザイマシ
テ、所謂産業ノ發達ニ資スルコトコロノ研究所デアル、シテ見レバ此研究範圍ト云フモノ
ハ、農業工業等ノ所謂實業ニ直ニ關係スルコトコロノモノニ限ラレテ居リヤウニ思ヒマス
ガ、果シテサウデアラカドウカ、所謂理化學ノ基礎學ヲ研究シテ、有ニル學理ヲ研究シ
テ之ヲ人事ノ實際ニ應用スルコト云フ趣意デアルノカ、唯産業ニ資スル爲ニナルト云フノ
ト云ヘバ、例ヘバ醫學ノ如キニ付テモ其他飛行機飛行船若クハ潛航艇、其他大砲小銃
一般ノ軍器ニ關スルコト其他イロ／＼アルノデアリマス、併シ産業ニ資スルコト云フ目的
ヤリマス、範圍モ狹クナル、サウシテ大ニ應用のニナツテ、所謂基礎學問ノ研究ト云フ
モノガ十分ニ出來ナイモノニナツテ、範圍ガ狹クナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、
此三點ニ付キマシテ政府ノ御意見ヲ承リタイ

〔農商務大臣河野廣中君登壇〕

○農商務大臣(河野廣中君) 鈴木君カラノ御尋、此資金ハ凡ソ八百萬圓、其中民
間ノ有志ノ釀金トスルモノガ五百萬圓、ソレカラ政府ガ二百萬圓ヲ補助スル、又仄ニ承リ
マスレバ皇室ニ於テモ多少ノ御下賜金アルヤウニ承知ヲ致シ居リマス、ソレ等ヲ以テ八
百萬圓ト致シテ居リマス、ソコデ是等ノ内容ノ設備又豫算等ハ別ニ申上ゲマス、ソレカ
ラ次ニ御尋ノ此理化學ノ研究ト云フモノハ、然ラバ廣イ意味ノモノデアルカ、今回ノ所
ハ産業其モノ、點ニ限ルカ、斯ウ云フ御尋ト思ヒマス、此點ニ付テハ多クハ應用ヲ主ト

致シマシテ、唯單ニ學術ノ研究ト云フコトデゴザイマセズニ應用ヲ心掛ケマシテ、即チ傍
ヲニ學術研究ヲ致シ、又はガ應用ヲ試ミルト云フ方針デゴザイマス、ソレデ大略御尋
ニ對シテハ御答ヲ致シタ思ヒマス、尙詳細ニ此設備或ハ細カニ箇條ニ付テ研究ノ箇
條ヤ何カニ付キマシテハ、政府委員ガ出テ居リマスカラ 商工局長ガ擔任ヲ致シテ居リ
マスカラ、是ガ御答ヲ致シマス

○鈴木梅四郎君 私人御尋スルコトハゴザイマセヌガ、此業ヲ御出シニナルト同時ニ、公
益法人ノ大體ドウ云フコトニテ居ルカト云フコトヲ、同時ニ御示シニナルノガ、順序ヲ
得タモノデハアリマス、唯公益法人ガ現存シナイトコロノモ、テアルケレドモ、斯様ナモノ
ニテアルデアルト云フ大體ノ公益法人ノ、概略形ヲ具ヘタモノヲ併セテ御提出ニナルノガ本
來デハゴザイマス、唯マダ出來ルカ出來ヌカ分ラナイモノニ向ッテ補助ヲ與ヘルト云
フコトニナルノハ、少シク變ナヤウニ考ヘラレマスガ、若シ御手許ニアルナラバ民間デ出來マス
所謂公益法人ノ組織、ドウ云フ工合ニテ居ルカト云フヤウナ概要ヲ、一日モ早ク御
提出ニナラムコトヲ希望シテ置キマス

○議長(島田三郎君) 別ニ質疑ガナイト認メテ次ニ移リマス——日程第四、右議案
ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○福田又一君 本案ヲ議長指名十八名ノ委員ニ付託シ 審査セラレムコトヲ望ミマス
○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガ無イト認メマス、依テ議長指名十八
名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——日程第五、朝鮮ノ生果核子及銅
ノ移入税ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス——加藤政府委員

第五 朝鮮ノ生果核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案(政府提出)

朝鮮ノ生果ニ係ル生果核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案 第一讀會
朝鮮ノ生果ニ係ル物品中生果及核子ニハ從價三割ノ移入税ヲ課シ銅ノ塊及
錠ニハ移入税ヲ課セス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員加藤政之助君登壇)

○政府委員(加藤政之助君) 朝鮮ノ生果ニ係ル生果核子及銅ノ移入税ニ關スル
法律案、此案ノ趣旨ヲ申シマス、朝鮮ノ生果ニ係ル果物類ハ今迄從價稅ヲ取リ居リ
マシタノデアリマス、而シテ從價稅三割ノ基礎ノモノモアリマシタガソレハソマリ伊太利ノ
「ネーブルス」或ハ亞米利加ノ貴重ナル果物、同程度ノ稅率ニ置カレテアルノデアリマス、
ソコデ極メテ朝鮮ノ果物ニ於キマシテハ稅ノ重キコトヲ感スルノデアリマス、ソコデ此度朝
鮮ノ果物ハ從價稅ノ三割ニ改メマシテ、其過重ナル點ヲ矯メテ均衡ヲ保タシムルノ方針
デアリマス、又朝鮮カラ持ッテ參リマス銅ノ塊及錠、是ニハ移入税ヲ課セヌコトニ致シマス
ル方針、是レ本案ヲ提出致シマス理由デアリマス、宜シク御審議ノ上御賛成ヲ願ヒマス
○議長(島田三郎君) 質問モ無イト認メテ次ニ移リマス——日程第六、右議案ノ審
査ヲ付託スベキ委員ノ選舉、之ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○福田又一君 本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託致シテ 審査セラレムコトヲ望ミ
マス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、依テ福田君發議ノ通
リ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——日程第七及第八、此兩案ハ同
種關係セル議案デアリマス、提出者モ同一デアリマスカラ一括議題トシタイト思ヒマス、
御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ特許法中改正法律案、實用新案法中
改正法律案ヲ一括シテ議題ト致シマス、織田了君——第一讀會ノ場合デアリマス

第七 特許法中改正法律案(織田了君提出)

第一讀會

特許法中改正法律案

第三十條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五條第二項ノ規定ニ依リ實用新案權ノ存續中得タル特許權ノ存續期間
ハ實用新案權ノ存續期間ヲ通シテ十五年トス

同條第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

第四十九條第二項ヲ削ル

第六十九條第一項第一號ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ特許公報ニ掲載シタル日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラ
ス

第八 實用新案法中改正法律案(織田了君提出)

第一讀會

實用新案法中改正法律案

第十八條第一項第一號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ實用新案公報ニ掲載シタル日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ
在ラス

第二十條中「第四十九條第二項」ヲ削ル

(織田了君登壇)

○織田了君 特許法中改正法律案並ニ實用新案法改正法律案ニ付テ提出ノ理由
ヲ說明致シマス、此說明致シマス前ニ議案ニ印刷ノ間違ガアリマスカラ訂正致シ置キ
マス、特許法中改正法律案中ノ第四十九條第二項ヲ削ルト云フ文字、並ニ實用新
案法中改正法律案中ノ第二十條中「第四十九條第二項」ヲ削ル、是ハ誤リデゴザイマスガ
ヲ削リマス、實用新案權ノ存續期間ハ三年、ソレニ延長二年ヲ加ヘマシテ六年デアリマ
ス、其上一實用新案權ノ存續中ニ於テ更ニ特許權ヲ得ルコトガ出來マス、即チ特許法
第五條ノ二號ニ依リマシテ實用新案法且發明ヲ構成スル法案ハ特許ニ乗移ルト云フコ
トガ出來マス、即チソレヨリ更ニ十五年引續キ占用權ヲ得ルコトガ出來マスカラ、通計
二十一年間權利ヲ存續スルコトニナリマス、殊ニ去ル十一月日本院ヲ通過シマス實用新
案法ノ改正ニ依ッテ四年又延ビルコトニナリマス、是ガ實行サレル曉ニ於テハ合計二
十五年ト云フ長イ期間權利ヲ存續スル結果ニナリマス、然ルニ斯ノ如ク二十五箇年
ノ長イ期間獨占權ヲ與ヘテ保護スルコト云フノハ、餘リニ其ノ程度ガ過ギマシテ、爲ニ社
會一般ノ工業ノ進歩ヲ阻碍致シマスノミナラズ、本來ノ特許權ノ期間十五年ニ比ベマシ
テ甚ダ其權利ヲ失シ、法ノ統一ヲ缺クモノト信ジマス故ニ、實用新案權ノ存續中ニ
得タコトノ特許權ハ、實用新案權ノ存續期間ヲ通ジマシテ、サウシテ本來ノ特許權ト
同シク十五年間ト改正スルノガ正當デアルト云フノデアリマス、ソレカラ次ニ特許法第四
十九條ノ二項ニ特許又ハ許可ハ特許權ノ消滅後ト雖モ之ヲ無効ト爲スコトヲ妨ゲヌ
規定ガアリマス、又實用新案法二十條中ニハ此特許法ノ規定ヲ準用シデアリマス、ソ

レ故ニ特許權又ハ實用新案權ハ其權利ノ存續中ハ勿論、消滅後ト雖モ何時デモ無
效トナルベキ環境ヲ持ツテ居ルトコロノ權利デ、恰モ解除條件付ノ權利ノヤウデアリマス、
而モ其無效ト云フモノハ將來ニノミ向ツテノ無效ニアラズ、既往ニ遡リマシテ根本カラ無
效トナリマシテ、實テ權利無カリシモノト云フコトナルノデアリマス、其無效トナル原因
ニ付テハ特許權ニ付テハ特許法四十九條一項ニ、實用新案權ニ付テハ實用新案法
第十一條ニ規定ガアリマシテ、各種ノ場合ヲ列記シテアリマスレドモ、主ニ特許出
願前ニ帝國内ニ於テ公知公用ニ屬シテ居ツタカ、或ハ公刊物ノ記載ニ依ツテ容易ニ
應用ノ出來ル程度ノ發明又ハ考案ニ付テ、特許局審査官ノ誤リデ特許登録ヲ與ヘタ
ト云フ場合ニ生ズルノデアリマスガ、斯ノ如ク特許權實用新案權ト云フ權利ノ存續中
ニ、イツ何時デモ他人カラ無効審判ノ請求ヲ提起サレテ取消ニ遭フカ分ラズ、寔ニ不確
定ノ權利デアリマシテ、恰モ砂山ニ樓閣ヲ築イタヤウナ不安ノ狀態ニアルノデアリマス、隨
テ發明者――考案者タル權利者ガ折角心力財力等ヲ盡シテ漸クニシテ得タル獨占權
ニ基ク――四苦八苦致シマシテサウシテ工業著手シ漸ク其業ガ成ツテ世ニ信用ヲ持
ト云フ場合ニ至リマスルト、四方カライロ／＼ナ理由ヲ以テ無効審判ヲ起シテ、サウシテ
イロ／＼ナ事情ガ生ズルト云フ、ソレガ爲ニ破産ノ境遇ニ陷ル者ガ往々アリマス、却テ獨
占權ヲ得タノヲ憾ムト云フコトニナリマス、殊ニ發明者考案者ハ資本ニ乏シイ者ガ多イノ
ガ普通デアリマスケレドモ、資本主ハ斯ノ如ク權利ノ不安ナモノデアリマスカラ投資ヲスル
ト云フコトモナリマセズ、金融ノ途ヲ講ズル者モ無イト云フノデアリマス、偶アレバ山師
トカ或ハ詐欺師ニ掛ルト云フコトデ、結局發明者考案ノ困難ト云フモノハ實ニ窮狀ニ
居リマシテ、特許權ノ保護ヲ受ケル利益ト云フモノハ殆ド無イニ等シイヤウナ實際ノ有様
デアリマス、依テ無効審判ノ提起ニ付テ或ル一定ノ期間ヲ經過シタナラバ、最早無効審
判ヲ提起スルコトガ出來ヌト云フ制限ヲ設ケマシテ、サウシテ資本家ヲシテ權利ヲ確實ナ
モノ、安心デアルト云フコトヲ思ハシメテ、而シテ投資セシメテ十分發明者考案者ヲ保護
シ、工業所有權保護上斯クセネバナラヌ緊急ナ問題デアルト思ヒマス、此問題ニ付テハ
既ニ宿題トナツテ各當業者間ニ於テハ熱望シテ居ル次第デアリマス、獨逸ノ如キハ審
判ノ事項トシテ五年ヲ過ギタトコロノ特許權ニ對シテハ、無効審判ヲ提起スルコトガ出
來ヌモノデアルト云フ事項ノ規定ガアリマス、又我が商法ニ於テハ十八條ニ公報ニ記
載シタル日カラ滿二年ヲ經過シタ時ハ無効審判ヲ請求スルコトガ出來ヌト云フ規定モア
リマス、然ルニ商法ニ規定シテアルニモ拘ラズ此特許法ト竝ニ實用新案法ニハ其規定
ヲ除外シテ設ケテ居ラスノデアリマス、是ハ實ニ法ノ一大缺陷デアルト云ハネバナラヌト信
ジマス、デ事ハ固ヨリ小サイヤウデアリマスルガ、此一國ノ經濟ノ進歩發達ト云フモノ
ハ、工業ノ發展進歩ニ重キヲ置カナケレバナラヌノデアリマス、工業發展ノ進歩ハ發明ノ
進歩發達ニ依ラネバナラヌ、ソコデ發明ノ進歩發展ト云フモノハ工業所有權ノ制度ノ
完備ニ依ツテ之ヲ期待セニヤナラヌモノト思ヒマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本案ヲ提
出シタ次第デアリマスカラ、宜シク御審議ノ上決定セラレンコトヲ希望シマス

官報號外
大正五年二月十九日

第九
砂鑛法中改正法律案(戶叶薰雄君提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

(平出喜二郎君登壇)

○平出喜二郎君 委員會ニ於キマスル經過竝ニ結果ヲ御報告申上ケマス、御承知ノ通りニ現今ノ砂鑛法ニ於キマシテハ、僅ニ三種ノ砂鑛ノミヲ認メテ居ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、鑛業ノ段々發達致シテ參リマヌ今日ニ於キナラシテ、此三種以外ニ於キマスル砂鑛ニ於キマシテ、同一ニ法律ノ保護ヲ受ケナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレマシタ爲ニ、本法律ノ保護ヲ受ケサセ、又取締ヲ爲サナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレマシタ爲ニ、本案ノ提出ヲ見ルニ至リマシタ譯デアリマスル、デ委員會ニ於キマシテハ、段々審査モ致シマシタ、又政府ニ對シマシテモ熟議懇談ヲ遂ゲマシタル結果、委員中ヨリ一ノ修正案ノ提出ヲ見ルニ至リマシタノデアリマス、其修正案ニ付キマシテハ既諸君ノ御手許ニ配付セラレテ居ルコトデアルト思フノデアリマスガ、要スルニ殆ド字句ノ修正トモ稱シテ宜シヤウナモノデアリマシテ、原案ニ對シマシテ何等ノ實質ニ變化ハナインデアリマス、ツマリ概括的ニ砂白金竝ニ砂重石ヲ現行法ニ付加シ、其以外ノ砂鑛ヲ稱シテ砂鑛ト云フ、トノ原案デアリマスシタケレドモ此「砂白金」竝ニ「砂重石」ト云フ文句ヲ拔キマシテ、其ノ他沖積鑛床ヲ爲シタル金屬鑛ヲ謂フ「斯樣ナ風ニ改メタニ過ギマス」トアルヲ「砂鑛」ニ改ムルト云フ原案デ第六條ニ於キマスル所ノ第一項ニ第二項ニ「砂金」セアルヲ「砂鑛」ニ改ムルト云フ原案デ「ソッド」デアリマスケレドモ、是ハ其必要ヲ認ムルコトガ出來ヌト云フ理由ヲ以チマシテ此部分ハ削除致シマシタ、サウシテ現行法通りニ留メ置クト云フコトガ修正案ノ第二ノ要項デアリマス、此修正案ニ對シマシテハ、提案者モ多大ノ満足ヲ以テ贊成セラレ、又政府ニ於キマシテモ同意ヲ表セラレタノデアリマシテ、結局委員會ニ於キマシテハ滿場一致致、此修正案ヲ可決確定致シタ次第デアリマス、願クハ本院ニ於キマシテモ、滿場一致御贊成アラムコトヲ希望致シマス次第デアリマス

砂鑛法中改正法律案（戸叶薰雄君提出）
第二讀會（確定議）

○議長(島田三郎君) 此場合三讀會ヲ省略シテ委員長報告迄リ可決確定致シテ

第十 農會法中改正法律案(齋藤宇一郎
君外九名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○川崎安之助君 (持三郎) 此案ハ現在全國ニ於テ一万一千有餘ノ町村農會ガ、殆ト百三十

万圓ノ經費ヲ徵收シテ居ル、其中ニ多大ナル不納ヲ生ジテ居ル、而シテ其不納ヲ生ズル者ハ比較的大地主若クハ其町村ニ於テ土地ヲ所有シテ居ラナイ所ノ者ガ不納ヲスルノアル、物ノ分々連中ガ法律ノ制裁力ガナクコトヲ奇貨トシテ不納ヲスルノアル、故ニ之ニ對シテ強制徵收權ヲ與ヘテ、現在不振ナル所ノ此農會ヲシテ益々活動ヲ爲サシメタト云フガ本案ノ大體ノ趣旨アリマシテ、政府ハ此案ニ對シテ反對ハシナイ、併ナガラ又賛成モシナイト云フノデアリマス、其理由ハ政府ハ此農會法ノミナラズ、農會令ニ於テモ改正ノ意見ヲ有シ居ル、一年以前ヨリ是等ノコトニ於テイロ、調査ヲ遂ゲテ居ル、唯今ハ調査中デアラカラ此調査ヲ俟ツ上デ、斯ノ如キ徵收權ノ問題モ解決シタイ考デアル、故ニ今一年程藉スニ時間ヲ以テシテ實地ニ云フ政府ノ答辯アリマス、委員ハ多數ハ之ニ満足スルコトヲ出來ナイ、農會法ヲ實施セラレテヨリ既ニ十數年ノ間デアル、町村農會ガ如何ナル働キヲシテ居ルカ、如何ナル活動ヲシテ居ルカ云フコトハ、政府ニ於テ常ニ是ガ監督ヲシテ居ラナクバナラズ答デアル、而シテ此徵收權ノ問題ハ今俄ニ起ツタモノデハナクシテ、數年前以前ヨリ帝國農會若クハ府縣農會ナドカラ續々政府ニ向ツテカハラニ要求ヲシテ居ル所ノ問題デアル、然ルニモ拘ラズ漫然トシテ殆ド三年ニ亙ツテ是ガ繼續ノ調査ヲシテ、マダ調査ヲ終ラナイト云フヤウナコトハ實ニ政府ハ怠慢デアル、殊ニ政府就中農商務省ハ近來此歐羅巴ノ戰爭ニ於テ一時ノ必要ヲ感ジテ居ル所ノ鐵道アルトカ、或ハ染料アルトカ、斯ノ如キ所謂際物ノミニ没頭シテ、國家ノ基礎根柢タル所ノ農業界ヲ輕視スル、輕ク視ル所ノ傾キアルハ吾々委員ノ實ニ遺憾トスル所デアル、又政府ハ一年以内ニ於テ必ズ此問題ヲ解決スルガ故ニ、今此ニ改正ヲスルナラバ又法律ヲ更ヘナクバナラズト云フヤウナル配ヲ持テ居ルヤウデアルケレドモ、所謂朝令暮改ト云フコトハ、方針ガ無クシテ此法律ヲ度々更ヘルノ朝令暮改デアアル、一定ノ方針ヲ立テテサウシテ法律ヲ改正スルハ是ハ朝令暮改デハナイ、一定ノ主義方針ニ向ツテ改正ヲ加ヘルト云フコトハ、朝令暮改デハナイ、所ガ決シテ朝令暮改デハナイカラシテ、若シ政府ガ本案ノ趣意ニ賛成スルナラバ一年ノ後ニ更ヘルコトハ分ツテ居デモ、此際ニ於テ宜シク同意シテ是ガ通過ヲ計ルコトガ、相當デアレル云フ委員多數ノ議論アリマシテ、結局委員會ニ於テハ斯ノ如キ意見ヲ以テ満場一致デ以テ本案ノ通過ヲ決シタノデアリマス、此段御報告致シマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 本案ニ付テ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセウカ
(異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ
○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ委員長ノ報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス
(賛成々々ト呼フ者アリ)
○議長(島田三郎君) 福田君ノ發議ニ付テ御異議ガナイト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キマス

農會法中改正法律案 第二讀會(確定讀)
○議長(島田三郎君) 御異議ガアリマセウカ第三讀會ヲ省略シ委員長報告ノ通り可決確定致シマス(拍手起ル)日程第十一、東北六縣國有林野下民處分ニ關スル建議案、之ヲ讀題ト致シマス、提出者半谷清壽君

第十一 東北六縣國有林野下民處分ニ關スル建議案(半谷清提出)
東北六縣國有林野下民處分ニ關スル建議案
東北六縣國有林野下民處分ニ關スル建議案
東北六縣國有林野ノ大部分ハ往時人民ニ於テ關西地方田畑ノ裏作(二毛作)

ト同様ノ意味ニ於テ自由ニ林産ヲ採取シ來リ東北農家ノ最大ナル利源タリシノミナラス徳川時代ニ於テ東北カ國家ノ社會的ニ發達シタルハ實ニ此ノ法度ニ出デシモノナリ然ルニ明治初年官民有地處分査定ノ際政府ハ誤テ此ノ至大至重ナル事情ヲ調査研究セズ關西地方ニ於ケル山野ト同一視シ之ヲ官有ニ編入セシメ以テ忽チ其ノ關係町村ハ之カ影響ヲ受ケ其ノ生活資源ノ一半ヲ失ヒ爲ニ非常ノ困難ニ陥リタリ之カ救済ヲ屢政府ニ迫リ遂ニ其ノ結果トシテ曩ニ國有林野下民法ノ制定ヲ見タリト雖其ノ目的ハ專ラ書類ノ證據ニ偏シタルヲ以テ領主ノ變更屢ニシテ又比較的政務舉カラス誅求多カリシ東北ハ僅ニ證據書類存在セシモノニテ其ノ多クハ書類ノ證據舉カラス爲ニ該法ノ惠ニ浴スルコト能ハス益不公平ヲ助長セシムル結果ニ了レリ故ニ政府ハ從來各藩諸領ニ於テ採用シ來リタル慣行成績ヲ更ニ調査シ速ニ關係人民ニ對シ該國有林野下民ノ法ヲ講セラレムコトヲ望ム

(半谷清壽君登壇)
(拍手起ル)

○半谷清壽君 今ヤ議會モ切迫致シテ、最モ簡單ヲ歡迎サレマスル今日此時、私ノ問題ノ如キ一地方ニ關係スル一面モ問題ハ甚ダ陳腐ニ屬シテ居リマスルモノヲ以テ、殊ニ辯論ニ長ケマセウカ私ハ此際諸君ニ諄ク申上ゲンケレバナラズ問題ヲ以テ時間ヲ拜借スルト云フコトハ、甚ダ恐入リマスコトデゴザイマスルケレドモ、諸君モ御承知デゴザイマスル事北ノコトハ、實ニ戊辰以來ノ政治經濟地理季候等ノ壓迫ヲ受ケマシテ、今ハ非常ノ衰頹ヲ來シテ居リマスルコトハ、モウ私ガ辯明スルマデモナク御承知ノ次第デゴザイマス、然ルニ今日ハ病膏肓ニ至ツテ居ルコトモ云フノデゴザイマセウカ、全ク非常ノ境遇ニ至リ、此際何トカ東北ノコトヲ御救済願ハシケレバ、東北ノ立ツコトハ出來ナイコトニ至リマス故ニ、此際諸君ニ御迷惑ナガラ暫クノ間時間ヲ藉サレテ私ノ諄イコトヲ御聽取リテ願フコトヲ希望シテ止マヌ次第デゴザイマス、諸君モ御承知ノ通り此東北ノコトハ、元來諸君モ御承知デモゴザイマスル通りノ次第デ、日本ノ國柄ト云フハ一年ニ一度ノ作ノ出來マセウカ所ハ國家ヲ成立スルコト、國家ヲ成立スルコトガ出來ナカッタ、日本ハ古來農ヲ以テ立チマシタコトデゴザイマスルガ、其農ヲ行フ上ニ付テ一年ニ一度以上作ノ出來マセウカ所ニハ國家ガ出來ナカッタ、ウレ故ニ諸君モ御承知ノデゴザイマスル通り此關東マデハ早く開ケマシタモノデゴザイマス、關東マデハ早く開ケマシタコトデゴザイマスルケレドモ、關東以北ハ長ラク開ケナシ、徳川時代ニ至ツテ漸ク國家ガ開ケタト云フコトハ、單ニ東北ガ地理ノ上ニ付テ惡リトカ、或ハ時代ガ後レテ居ルコト云フモノデハナク、根本ハ日本ノ國家ノ組織ハ——日本ノ國家ノ組織ハ今云フ通りノ次第デ、一年二度ノ作ガ出來マセウカ所ハ國家ノ成立ガ出來ナイモノデアッタノデアリマス、故ニ此東北ノ事柄ト云フモノハ徳川政府ガ立ツテ以來、各地ニ封建ノ制度ガ行ハレテ、サウシテ諸侯ハ立チマシタケレドモ、諸君モ御承知ノ通り東北ノコトハ其後暫クノ間東北ガ發達ヲシナカッタ、非常ナ不幸ヲ受ケマシタモノデアッタ、併ナガラ段々研究ノ結果此東北ハ元來一度ノカ作ハ出來ナイ爲ニ、國家ハ成立シナイデアラカラ、此ニ於テ何トカ東北ハ元來一度ノ二毛作以上ノ仕事ヲサセルヤウナ工面ヲ欲シト云フモノ、研究ノ結果森林ヲ以テ二毛作ニ充テルコトヲ致シタルデアル、ウレテ漸ク東北ト云フモノ、此國家ガ從前徳川ノ時代ニ發達シタコトデアッタノデアリマスルケレドモ、其後明治ノ政府ニ至リマシタカラハサウ云フ歴史モ何ニモ願ミズシテ、悉ク之ヲ破ツシマッタ、其結果東北ハ今日ノ衰頹ヲ致シマシタコトデゴザイマスルガ爲ニ、東北ノ今日ヲ來シタモノハ決シテ東北自ラ致シタモノデナクシテ、明治政府ガ之ニ對スル政ノ執リ方ガ方針ヲ誤ッタ結果デアルコト諸君、從來東北ガドウ云フ制度ヲ執ツテ居リマスル申シマスレバ、諸君モ御承知ノ通りノ次第デ、此東

北ノ森林ト云フモノハ上方ノ森林トハ甚ダ其性質ヲ異ニシテ居リマス、上方ノ山ト云フモノハ多ク砂山デゴザイマス、自然流レテサウシテ耕地ニツレガ及ンデ居リマスルカラ、耕地ガ肥沃ニナツテ居リマスルケレドモ、東北ノ森林ハツレトハ違ツテ、東北ハ森林ガ砂デアリマセヌデテ山ニ勢力ヲ保ツデ居リマス、ツレデアリマスルカラ東北ノ此生命ト云フモノハ森林デゴザイマシタガ爲ニ、私ハ相馬藩デゴザイマスルガ相馬藩ナドニ取リマシテ、其相馬藩ノ森林中ニ生ズルモノノ制度ハ五木制ト云フヲ執リマシテ、五木制ト云フモノハ全體相馬ノ森林中ニ生ズルモノ所ノ自然ノ木ハ五ノ木ヲ除キマス外ハ總テ之ヲ人民ニ探ラセマシタモノデアリマス、サウ云フ次第デ其全體ノ森林ノ方ノ如キハ御留山、御預山、御成山ト云フヤウナ制度ヲ採ツマスル、其外津輕ノ森林ノ方ノ如キハ御留山、御預山、御成山ト云フヤウナ制度ヲ採ツマスル、サウシテ是亦人民一般ニ其惠ニ浴セシメタモノデアリマス、秋田ノ森林モ其通り、即チ東北ノ全體ノ森林ト云フモノハ悉ク此藩ニ於テハ從來非常ノ制度ヲ設ケテ、サウシテ其山ノ恩惠ト云フモノハ悉ク此地方人民ニ與ヘタモノデアリマス、繰言ニモ申ス通りノ次第デ、從來東北ハ二毛作ノ出來マセヌ爲ニ——二毛作ノ出來ナイ所ニ國家組織ヲ致シマシタ所ガ其國家組織ガ立タナイ、ツイノ其研究ノ結果森林ヲ以テ上方ノ二毛作ニ當テマスル制度ヲ採ツテ、爰ニ東北ハ此戊辰以前ニ發達ヲ致シマシタ、然ルニ前申ス通りノ次第デ其歴史モ其事實モ何モ調ベズシテ、明治初年ニ於テハ此野帳ニ掲ゲテ居リマシタル所ノ僅ノ森林ヲ所有スルト云フコトニナツテ居ッタゲテ人民ニ所有致サセテ、サウシテ其餘ノモノハ悉ク之ヲ官ガ取ツデシマッタ、官ガ取リマシタモノデゴザイマスルカラ東北ノ人民ニ於テハ元々田地一ツデハ飯ヲ食フコトハ出來ナイ、ツレデ森林ヲ以テ其缺ヲ補ハシメテ置キマシタ、即チ上方ノ二毛作ト同様ニ東北ハ森林ガ當テ置キマシタ、其森林ガ之ヲ悉ク政府ニ奪ハレマシタモノデゴザイマス、人民ガ之ガ爲ニ非常ノ不幸ニ陷リマシタ、サウシテ遂ニ東北ノ今日ヲ來シタモノデゴザイマス、而シテ其東北ニ於テ東北ノ森林ガドウ云フヤウニ一般人民ニ利益ヲ與ヘタト言ヘバ、之ヲ委シテ申シマスレバ東北ノ生活ノ資料ノ半バ以上ヲ森林カラ取リマシタ、上方トハマルデ違ツテ居リマシテ、悉ク東北ノ生活ノ資料ト云フモノハ森林ヨリ取リマスルコトハ、此薪炭材木ハ勿論ノコトニシテ、肥料ヲ初メトシテ此草ヲ刈ルコトヤ或ハ木ノ葉ヲ集メル、屋根ノ材料マデモ、果物デモ野菜デモ、或ハ諸君モ御承知ノ通り東北ニハ竹ガゴザイマセヌガ、自然ノ竹ガ東北ノ山ニハいろ／＼簇生致シマシテ、サウシテ其竹ハ——竹ノ需要ハ悉ク山カラ取ルト云フヤウニ、其外食料ニシテ此平常ノ食料ニ供スル所ノ澱粉ノ如キハ是亦山カラ取リマスル、ツレカラ又此衣服ノ料ニ致シマスル所ノ麻ノヤウナモノ、或ハサウ云フヤウナ總テノモノモ是モ山カラ取リマシタ、染料、染物ノヤウナモノモ悉ク山カラ取リマシタ、藥ノヤウナモノモ山カラ取リマシタ、齒ハ勿論其外雜業ニ至リマシテハ何デモ總テ山カラ取リマシテ、ツレバ以テ一年ノ半業ト致シタモノデアッタノデアリマス、上方ノ山ハツレニ反對デアリマシテ、草木ノ生シ方モ東北ノ森林トハマルデ違ツタ、ツコデゴザイマスルカラ上方ノ方デハ幸ニ氣候ガ良イ爲ニ耕地ヲ以テ總テノ生活ノ資料ト致シマシタケレドモ、東北ニ於テハドウシテモ田畑バカリデハ飯ヲ食フコトハ出來マセヌ、デ森林ヲ以テ百姓ヲ養ハナケレバナラヌ制度デアッタノデ、ツレバ繰言ニ申上ゲルヤウナ次第デ——サウ云フ次第デアリマスルカラ東北ニ於テハ東北ノ各藩ハ、成ルベク此山林原野ヲ一般ノ個人ニ之ヲ所有セシメナイ、サウシテ國家ガ何處ニデモ之ヲ持ツタモノデアル、國家ガ持ツタモノデハナイ公共ノモノニシテ居リマシタ、然ルニ今言フ通り其事ヲ考ヘズニ悉ク之ヲ官ガ取ツデシマッタモノデゴザイマスカラ、森林ト云フモノハ不足ニナルト同時ニ、國有ノ林野ノアルコトハ非常ニ多クナツタノデ、明治初年ニ改租ノ當時ニドウ云フヤウニ官有地ガアツタカト言ヘバ、皆サンモ御承知ノヤウナ次第、此改租ノ當時ニ於キマシテハ一千万町歩日本ノ官有地ガゴザイマ

シタ、其中東北六縣ニ屬スル分ハノ位デアアルカト云フト四百万町歩アリマシタ、ウレヲ各縣ノ分別ニ致シマスルト德島、奈良、福井ハ民有九割アリマシタ、官有ガ僅ニ一割デアリマス、一割ト言ハバ絕對ニナイモノデアアル、此邊ハ皆サンモ御承知ノ通りノ次第デ、官有地ノナイ縣ガアリマス、有ルト云フノハ僅ニ此社寺ノ上地ト云フヤウナモノニ係ッテ居リマス、高知、和歌山、三重、香川、愛知、神奈川、京都アタリハ漸ク民ノ割合ハ八分ニシテ官ハ一割シカアリマセヌ、茨城、山口、廣島、兵庫、長崎、長野、福岡等ハ民ハ七分ニ官ハ二分、新潟、栃木、岡山、島根、鳥取、石川、是等ハ民ノ方ハ六分デ官ハ四分、宮崎、鹿児島、熊本、岐阜等ハ官ハ五分デ民モ五分、山梨、群馬、群馬、巖手、宮城、山形等ハ民ハ三分デ官ハ七分トナリマシタ、青森、秋田、福島ニ至テハ民ハ僅ニ二割デアリマス、官ハ八分ゴザイマス、斯様ナ割合ニ此明治初年ニ官有地査定ニナリマシタ時分ノ状態ハ斯様デゴザイマス、其後下戻法案ガアッテ多少之ニ付テハ下戻シノコトモ出來マシタ、アリマシタコトデゴザイマスルガ是亦諸君モ御承知ノ通り、大體其證據書類ヲ基礎トシテ此下戻法案ヲ行ハル、コトニナリマシタ、所ガ東北ノ各藩ナドノ状態ヲ調べ見マスルト政治ノ能ク行ハレテ、民ヲ全ク安泰ニ進メタ善イ政治ヲ執ッタク國々デハサウ云フモノハ絕對ニナカッタ、不文律ニナッテ不文法ニナッテ森林ト云フモノハ民ニ持タシタト云フヤウナ證據ハ一ツモナカッタ、偶々東北デ證據立ッテ居ルモノハ惡政治ノ行ハレ、サウシテ苛税ノ行ハレテ山マデ年貢ヲ取ラレタトカ、或ハ度々藩ガ變ッテ其當時ニアッテ此何カ變リガアッタトカ、乃至ハ此等ヒガ起ッテサウシテ其時ノ證據ガアッタト云フヤウナ、ツマリ東北地方ニシテ見マスト一番政ノ惡ルク行ハレタ地方ノ小サト所ニ僅カノ證據ガ殘ッテ居ル、サウ云フモノヲ以テサウシテ此下戻法案ガ採決致シマシタコトデゴザイマスルカラ、其事ノ行ハレタ一層益々不幸ニナッテ參ッテ、其後林野法ガ行ハレテ是ガ拂下ガアッタト云フヤウナモノデアリマセレドモ、益々其後ニナッテモ少シモ東北ノコトハ改メナイ、現今——現在此今日ノ事情ヲ調査シテ見マスルト云フト、今此國有林野ニナッテ居リマスル所ハ四百二十八万一千七百七十町歩アル、其内青森大林區署ニ屬スルモノガ百二十万六千七百三町歩、秋田縣大林區署ニ屬スルモノガ七十八万五千四百二十二町歩、東京ハ百四十万七千四百五十五町歩デアリマスガ、其内福島一縣ガ五十万二千八百三十二町歩アリマス、大阪ノ如キ三十七万九千町歩、高知ハ十七万六千町歩、鹿児島ハ四十三万九千町歩、此ノ如キ状態デアッテ鹿児島ノ如キ高知ノ如キ大阪ノ如キハ、一大林區ヲナシテ居リマセレドモ、タシタ福島一縣ニモ及バナイト云フヤウナ有様デゴザイマス、此ノ如ク東北ハ此森林ガ第一ノ財源デアッテ、山林原野ハ悉ク官有トナッタノデアリマスカラ、其後ノ結果ハ諸君モ御承知ノ通り草一籠刈ッテモ、或ハ木ノ枝ヲ採ッテモ悉ク皆是ハ處罰ヲ受ケテ、其後諸君モ御承知ノ通り東北ニ於テ非常ノ不幸ヲ受ケタト云フモノハ此官有ト——從來官有地ヲ拵ヘナイデ民ノ物デアッタモノヲ俄ニ官有ニサレマシタカラ、ウレガ爲ニ罪ヲ犯シテ其犯罪ノ結果ヨリ不幸ヲシタバカリデモ非常ナモノデアアル、ウレノミナラズ是デハナラヌト初メテ氣ガ付イテ是レノ下戻運動ニ掛リ、或ハ是ガ爲メ訴訟ヲ起スト云フヤウナコトデ、此一事カラ見デモ東北ハ非常ニ不幸ヲ來シタモノデアリマス、ウレモ宜ウゴザイマスガ元ト東北ノ人民ハ山ハ田地ニ次イデ財産デ非常ニ尊キモノデアッタカラ、山ヲ愛スルコトガ甚シクシテ後ノ如キ濫伐ヲスルヤウナコトハ決シテ致サナイノデアッタケレドモ、一朝官有トナリ林區制ヲ行ハレテ嚴格トナリ、此二箇一ツモ探ルコトガ出來ナイト云フ境遇ニ至ッテ、随分大切ニ山ヲ愛スルモノデアッタガ、此度ハ木材ヲ盜デ來ル者モアリ火ヲ放ケル者モアル、頭カラ火ガ生ジテモ之ヲ防グト云フコトガ無クシテ、諸君御承知ノ通り東北ノ森林ハ今日ハ非常ナ荒廢ラ來シタモノデアリマス、先キモ申シマス次第東北ノ森林ハ元來荒廢スベキモノデナイ、東北ノ森林ハ上方ノ森林ノヤウナ人爲ヲ以テ植ヘストモ宜イ、獨リデニ立派ナ森林ヲ作シ

マスル、秋田ノアノ立派ナ森林ノ如キモ決シテ是ハ植ヘタモノデナイノデ、津輕ノ森林モ是亦植ヘタモノデアリマセ、會津ノ森林相馬ノ森林モ植ヘタモノデナイ、是ハ悉ク自然ノ結果デ、然ラシムル所ニ依テ出來タノデアル、其法トハドウデアルカト云フト民ト共ニヤタモノデ、民ト共ニト云フヨリハ即チ東北ノ森林經營ハ國家ガ少シモ利スルノデナイ、森林ヲ持ヘタカラト云フテ各藩各士ガ其山ヲ賣ツタト云フコトガナイ、ソレヲ悉ク地方人民ノ爲メニシタモノデアラズ、所ガ何ヲ圖ラン其森林モ明治政府ニ奪ハレマシテ悉ク取上グラレマシタカラ、其結果民ハ山ヲ愛スル所カ其山ノタメニ非常ニ迷惑ヲ受クルト云フ結果ヨリシテ、今日ハ非常ニ荒廢シテ、サウシテ今や國有林トナツテ國家ガ之ヲ經營シテ造林法ヲ以テ何カ致シマスケレドモ到底イケンナイ、其造林法ナドハ諸君モ御承知ノ通りノ次第今日ノ不成績ハ何デアル、ソレハ不成績ハ當然ノ話デ、ドウシテモ防ゲヌコトニナツテ居、一般人民ニ反對シテヤリマスカラトモイケンナイ、サウ云フ次第アリマスガ爲ニ、ドウカ此東北ノ今日ニ成リマシタ原因ニ付テハ、實ニ明治政府ノ施政方針ノ全ク東北ノ實體ニ適ハナイ所ノ過チカラ來シタノデアリマスガ、其後最モ大ナル根本ヲナシタルモノハ即チ此森林ノ國有林デゴザリマス、是ハドウシテモ元ノ如クニ舊慣ニ依テサウシテ東北ノ人民ニ之ヲ下渡シテ貰ハナケレバナラズ、東北ニハ諸君モ御承知ノ次第名君宰相ガ起ツテ、東北ノアノヤウナ氣候ノ惡イ地質モ惡イ位地モ惡イ所ノ東北ガ、明治以前ニ當テハ非常ニ進歩シタ、其進歩シタモノハ何カト云ハバ則チ東北ニハ名君ガ度ニ現ハレタ、鷹山公ノ如キ或ハ白河ノ樂翁公、仙臺ノ政宗公ノ如キ、實ニ天下ニ稀ナル政治家ガアツタ、其政治家ガ政事ヲ執ツテ東北ヲ振興致シマシタ原因ニ遡テ考ヘテ見マスト、悉ク森林ニ依テ振興シタノデアリマス、森林法ノ定マラヌ中ハ東北ハ到底盛デナカッタ、其筈、先刻カラ申シマス通りノ次第、東北ハ到底一年一作ノ耕地ノミヲ以テ立ツコトガ出來ナイ、森林ヲ以テ初メテ之ヲ補フテ、上方ノ一毛作ヲ行フト同様にヤツタノデアリマス、ソレデ古來ノ政治家ハ東北ヲ振興セシメタ此政治家ハ、悉ク森林ニ重キヲ置イテ、森林ノ經營宜キヲ得テ、是ニ於テ初メテ東北ノ振興ヲ來シマシタカラ、今や東北ノ振興ヲ圖ラント云フ時ニ於テハ、政府ニ於テハ東北ノ義ニ政治家ガ森林經營ニ力ヲ用井タ如クセナケレバナラズ、況ヤアナタ方ハ東北ヲ治メテ下サル上ニ就テハ、是非トモ此東北ノ森林ニ重キヲ置イテ御調査ヲ願フテ、ドウシテモ東北ノ森林ヲ從來ノ慣例ノ如クニ改メテ、サウシテ東北ヲ再興セシムル計ヲ探シテ頂戴セナケレバナリマセ、私共今日ノ所デハ天下ニ東北ヲ振興スルトカ、東北ヲ救済シテ與レト云フ聲ガ度々起リマシテ甚ダ喜ンデ居リマスガ、ドウカ一日モ早く東北振興策ヲ講シテ頂戴シタイ、又東北ヲ救フテ頂戴シタイト云フコトハ望ムノデアリマスケレドモ、併ナガラ其實際ニ於テハ救済ト云フ言葉ハ成程有リ難イ言葉デアリマスケレドモ、實際ニナツテ見ルト私共救済ヲ受クルト云フノデナク、回復ヲシテ頂戴シタイ、元々東北ト云フ所ハ自然今日ヲ來シタ、或ハ東北ハドウシテモ斯ウシテモ斯ウナラナケレバナラズト云フ東北自カラ之ヲ招イダモノナラバ救済モ願ハナケレバナラズ、振興策モ講シテ頂戴シナケレバナラズガ、其實ハ戊辰以前ニ當ツテハ東北ハ非常ニ發達シテ、決シテ天下各地ニ劣リハシナカッタ、ソレヲ今日此明治政府ノ誤リトメニ東北ハ今日ヲ來シタモノデアリマスレバ、是ハ回復シテ東北ノ言葉デ之ヲ「マヤ」ツテ貰ヒタイ、「マヤ」ツテ貰ヒタイト云フコトハ是ハ元ノ通り貰ヒタイト云フコトデアリマス、全ク今日ノ東北ハ決シテ自然ニ來タモノデナク、東北人自ラ來シタノデナク、戊辰ノ戰爭ニ誤ツテ負ケテ賊ナド、呼バレタガ決シテ賊デハナカッタ、決シテ東北ハ錦旗ニ背イテ譯デナカッタ、大義名分ヲ誤リ勝テバ官軍負ケレバ賊、負ケタカラ賊名ヲ受ケノトデアリマスケレドモ、決シテ東北ハ賊デモ何デモナカッタ、即チ負ケタカラ不幸ニシテ降參侍ノ取扱ヲ受ケタ迄デアル、何モ彼モ悉ク東北ノ事情東北ノ歴史モ願ミズ、東北ヲ一山百友扱ヲシテサウシテ今日ニ至ラシメタモノデアレバ、今日ニ於テ是非トモ東北ヲ元ノ通りニシテ貰

ヒタイ、所謂「マヤ」ツテ貰ハナケレバナラズコトデアリマスカラ、サウ云フ真意ニ於テ一番先キニ東北森林ヲ元ノ通りニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ意見デアリマス、願クバ此上ニ於テ御贊成アラシコトヲ希望シマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セラレハコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メマス、議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セシメルコトニ決シマス、日程第十二(第十三)問題ハ違テ居リマスガ提出者ハ同一ノ方デアリマス、依テ兩案ヲ續イテ説明スルコトニ致シタイト思ヒマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 日程第十二、金玉均表彰ニ關スル建議案、續イテ日程ノ第十三安房鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、小林勝民君

第十二 金玉均表彰ニ關スル建議案(小林勝民君外四名提出)

金玉均表彰ニ關スル建議案

金玉均ハ朝鮮ノ功臣ニシテ大ナル犧牲者タリ政府ハ須ラク其ノ功勞ヲ認メテ之ヲ表彰セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十三 安房鐵道速成ニ關スル建議案(小林勝民君外一名提出)

安房鐵道速成ニ關スル建議案

安房鐵道速成ニ關スル建議案

右建議ス

(小林勝民君登壇)

(拍手起ル)

○小林勝民君 風ヲ引イテ居リマシテ、極ク簡單ナ問題デゴザイマスカラ簡單ニ申シマス(ドウカ説明モ簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ、極ク簡單ニヤリマス、諸君、凡ソ世ニ一番尊イ所ノモノハ社會ノ先覺者、國家ノ志士仁人ノ其社會國家ニ對スル犧牲デアリマス、此犧牲アルガ爲ニ社會ガ進歩シ國家ガ進歩スル所以デアル、若シモ社會ヨリ國家ヨリ此犧牲ナルモノヲ取拂ツタナラバ、其社會國家ハ實ニ哀レ果敢ナキモノナルニ相違ナイノデアリマス、本案ニ於キマシテ滿場諸君ノ御同情ヲ仰イデ其表彰ヲ求メヤウストコロノ此金玉均ナル者ハ、朝鮮ノ先覺者デアリ、東洋ノ先覺者デアリマシテ、而シテ又朝鮮ノ志士仁人デアリマス、然ルニ此人ガ捧ゲタル犧牲ハ朝鮮ニ對シテノミナラズ、實ニ此東洋ニ對シテ即チ間接ニ我日本ニ對シテ大ナル犧牲ヲ拂ハレタノデアリマス、獨リ其一身ヲ抛ツタノミナラズ、其一家ヲ抛ゲ其九族ヲ捨テ、サウシテ其ノ國家ニ盡シタルコロノ犧牲デアリマス、サウシテ其末路ハ御承知ノ如ク實ニ慘憺タルコロノ結末ヲ以テ終ツタノデアリマス、此ノ如キ犧牲者ト云フモノナ、此ノ如キ悲慘ナル末路ヲ遂ゲタルコト、云フモノハ、歴史ノ上ニ於テ餘リ其類例ヲ見ナイトコロデアリマス、然ルニ此金玉均ナル者ノ人物其功業ト云フモノハ、未ダ今日ニ至ラズモ臆ラシテ多少知ツテ居ル者モアリマスケレドモ、其ノ偉大ナル人物ノ眞價ト云フモノハ、未ダ世ノ中ニ現レテ居ラヌノデアリマス、是ハ實ニ此聖代ノ大ナル汚點デアリマス、既ニ朝鮮ガ我日本ニ併合セラレタル以上ハ、之ヲ受繼イテ日本國家ノ責任トシテ朝鮮ノ志士仁人ハ日本ノ志士仁人デアル、朝鮮ノ偉人ハ日本ノ偉人デアル、朝鮮ノ先覺者ハ日本ノ先覺者デアルトスルナラバ、其功勞ヲ表彰スルコトハ一ツハ國家ガ志士仁人ニ對スル義務、一ツハ此國家ガ其先覺者ニ對シ、サウシテ又

後ノ世ヲ獎勵スル——後ノ世ノ模範ニスベキトコロノ國家ガ世間ニ負フトコロノ大ナル義務ヲナケルナラヌ、此事柄ハドウシテモ國家ノ責任トシテモ力メナケレバナラヌコトデア

ルト私ハ信ヅテ居ルノデア、然ルニ今日迄未ダ其事ガナイト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存スル次第デアリマス、此ニ一言附加ヘテ申上ケテ置カケレバナラヌコトハ、唯今迄申シタ

ルコトハ國家トシテ當然世ノ先覺者ニ對シ志士仁人ニ對スル當面ノ義務デゴザイマスケレドモ、日本政府トシテ——日本政府トシテ金玉均ナル者ニ對シテハモウ一ツノ義務ガ

アル、負債ガアルノデア、即チドウシテモ金玉均ニ對シテ負フテ居ルトコロノ大ナル債務ガアルノデア、ソレハ何デアリマスカタ申シマスレバ、明治十七年ニ於テ金玉均等ガ此同

天ノ事業完カラズシテ、彼ノ如キ蹉跌ヲ取ツタ云フハ、當時ノ日本政府ノ大責任デアリマス、即チ當時日本政府ガ金玉均ニ約束シタコトヲ實行シナイ結果デアデ、ア、

云フコトニナツタデア、此債務ガ當時ノ日本政府ノ大債務デアデ、吾ガガハリ承繼シテ今日ニ負ハナケレバナラヌコトアルト信ズルデアリマス、ソレドウウエ其債務ハ

暫ク措キマシテ、免ニモ角ニモ此大ナル犧牲者ニ對シテ其功勞ヲ表彰スルト云フコトニ付テハ、是非トモ本建議案ノ如ク御贊成ヲ煩シタイデアリマス、ソレデ餘リ詳細ナコト

ハ申上ケズ致シマシテ、私ハ此ニ果シテ此金玉均ナル者ハ如何ナル人物デアリ、又如何ナル功業ヲ爲シタカ、又其金玉均ト日本政府其當時ノ事情等ノ關係、之ニ付テノ顛

末ヲ了解サルベク速記録ノ終リニ記事ヲ記載セラレシコトヲ望ミマス、ソレハ京城變亂始末——福澤諭吉君ノ手記サレタル京城變亂始末及友人會總代ノ用文、之ヲ速記

録ノ末尾ニ記載セラレシコトヲ望ミマス（拍手起ル）——ソレカラ尙恐縮デスガモウ一ツ日程ニゴザイマス、安房鐵道速成ノ建議デゴザイマス、是ハ無論詳シク申上ケル必要ハ

アリマセ、御承知ノ如ク千葉縣ノ鐵道ガ内海ノ方ト外海ノ方ト兩方ニ分レテ居リマシテ、ソレガ何レモ途中迄行テ聯絡ガ付カヌデアリマス、御承知ノ如ク安房ハ殆ド日本

第一トモ云ツテ宜イ海產物ノ土地デアリマシテ、此鐵道ノ聯絡ガ取レナケレバ到底房總鐵道ノ效用ヲ完ウスル譯ニ參リマセ、ドウゾ此建議ノ趣旨ヲ御酌取リ下サデ御贊成

ヲ願ヒマス（贊成々々）ト呼フ者アリ

○福田又一君 第十二ノ日程ニ對シテハ議長指名九名ノ委員、第十三ノ日程ニ對シテハ同ジ議長指名九名ノ委員ニ付託シテ審査セラレムコトヲ望ミマス

員會及本會ニ於テ本員ガ言ハントスル所ヲ詳細ニ述べ盡サレテ居リマスカラシテ、更ニ此ニ本案ヲ提出スル必要ヲ認メマセ、以上ノ理由ニ依リマシテ本案ハ撤回致シタイト云フデアリマス

（贊成々々）ト呼フ者アリ

○議長（島田三郎君） 唯今木村君ヨリ撤回ノ御要求ガアリマシタ、御異議ハアリマセヌカ

（異議ナシ）ト呼フ者アリ

○議長（島田三郎君） 本案ハ撤回ニ決シマス、日程第十五、八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案、之ヲ議題ト致シマス——武滿義雄君

第十五 八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案（山田珠一君外四名提出）

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

八代川内間鐵道速成ニ關スル建議案

第十七 上越鐵道建設ニ關スル建議案(須藤嘉吉君外一名提出)

上越鐵道建設ニ關スル建議案

本鐵道線路ヲ我カ國本州ノ中部ヲ橫斷シ中央北越連絡ノ最捷路タリ故ニ本線ヲ敷設スルハ軍事上經濟上喫緊ノ急務ナリ殊ニ西北比利亞鐵道復線工事ノ竣工ニ伴ヒ日本海ニ瀕スル北越地方ハ運輸上國防上及一般産業ノ發達ニ付至大ノ注目ヲ要スルハ明ナリ依テ政府ハ速ニ本鐵道敷設ヲ計畫立テ一朝有事ノ日ニ於テハ國防ノ行動ヲ敏速ナラシメ當時ニ在リテハ運輸交通ノ便益ヲ圖リ以テ帝國國運ノ發展ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○須藤嘉吉君 私家提案者ヲ代表致シ上越鐵道ノ建議案ニ關スル說明ヲ致シマス、此上越鐵道ハ申スマデモナク四十年來ノ宿題ニナツテ居ルノデアリマシテ、此起點ハ前橋若クハ高崎ヲ起點ト致シマシテ長岡へ通スル線路デ、横斷線デアリマス、此間九十五哩、東京ヨリ致シマスレバ百六十哩ニナル線路ニ相成リマス、之ヲ直江津線ニ比較致シマスレバ約六十哩ヲ短縮致ス、譯デアリマス、今一面ノ岩越線ニ比較スレバ五十三哩ヲ短縮致ス次第デアリマス、斯ノ如ク何レヨリ致シマシテモ六十哩程短縮スルコトハ、能ク御研究ヲ諸君ニ煩ハシメイト思ヒマス、ソレハ工事ノ最モ困難ナル箇所ガ一箇所アルノデアリマス、ソレハ御承知ノ如ク清水越ト申シマシテ、一面ニハ三國峠、谷川口チラニ致シマシテモ此箇所ヲ橫斷セシムル此線路ヲ貫徹スルコトガ出來ヌト云フ次第デアリマス、ソレガ爲メ第一ニハ工費ノ多額ト云フコトガ、理由デアリマスガ、此工事ヲ完成スルニハ數年ヲ期サナケレバナラヌト云フ、其年限ノ上カラ斯ク工事ガ今日マデ著手サレナイ次第デアアルノデアリマス、此數十年間ノ歴史ヲ概略申シマスレバ、明治七年ニ山縣公ガ工部卿ヲ御勤メニナツタ際ニ、清水越ノ工事ヲ完成セント致サレマシテ、國庫ヨリ補助ヲシテ地方ト相保ジテ此工事ノ完成ヲ期シタ次第デアリマス、其當時既ニ此線路ヲ政府ニ於テ御認メニナツタト云フコトヲ豫測シテ居ルノデアリマス、爾來地方人民ニ於テモ數回是ガ計畫ヲ立テラレテ、明治十二年デアリマシタカ地方人民ハ時ノ政府ニ建議ヲ致シマシタトコログ、工費多額ノ所以ト、且其數年ヲ期スルコト云フコトカラ遂ニ是ガ成功ヲ致シマセス、其後數回民間ヨリ計畫ヲ立テテ居リマスケレドモ、トウノ是ガ目的ヲ達シナイ次第デアリマシテ、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアリマス、又政府ニ於キマシテハ後藤男爵總裁ノ時ニ完全ナル設計ヲ立テラレテ居ル、次第デアリマス、斯ノ如ク致シマシテモ、今日マデ是ガ成功ヲシナイト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアリマス、此上ハ極力政府ノ力ニ依テ之ヲ成功スル外ハ致方ガナイ次第デアリマス、是ガ工費ハ概約政府ノ調ニ依リマスト一千九百萬圓デアリマス、之ヲ民間ノ輕便鐵道ニ依リマスレバ一千二百萬圓前後ノ設計ニナツテ居リマス、費用ノ點ハ斯クナルト思フ、而シテ之ヲ支ヘルニハ工事完成ノ以上ハ政府デ公債ヲ發行シテモ支辨シ得ラル、ト云フ考ヲ持テ居ル、又民間デ輕便鐵道ヲ敷クト致シマシテモ、固ヨリ之ヲ補助コトガ出來ル次第デアリマス、右ノ次第デアリマスガ故ニ、到底今日ハ民間ノ力ニ及ビ難キトコロデアリマス、何卒諸君ノ御審議ヲ得マシテ全會一致ノ御贊成ヲ得テ、速ニ本案ノ實行セラレムコトヲ偏ニ希望致ス次第デアリマス

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セラレムコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(島田三郎君) 議ニ御異議ガナイト認メマシテ、議長指名九名ノ

委員ニ付託スルコトニ決シマス、次ハ日程第十八、信越河東鐵道建設ニ關スル建議案 提出者高島順作君

第十八 信越河東鐵道建設ニ關スル建議案(高島順作君外一名提出)

信越河東鐵道建設ニ關スル建議案

長野縣下屋代驛ヨリ松代町、須坂町、飯山町、新瀉縣下十日町、小千谷町ヲ經テ來迎寺町ニ達スル鐵道線路ハ其ノ延長八十四哩ニシテ此ノ間長野縣下ニ在リテハ國產生絲ノ產地トシ一箇年貨物ノ輸出入高三千萬圓目以上ヲ算シ其ノ他澁溫泉ヲ始メトシ數箇所ノ溫泉場存在シ一箇年ノ浴客數ハ百五十萬人ニ及ブ從テ之ニ對スル貨物ノ輸出入實ニ夥多ヲ極ム又新瀉縣下ニ在リテハ十日町、小千谷町ヲ中心トシテ絹織物業ノ隆盛市場取引ノ頻繁ニ伴フ原料並貨物ノ輸出入實ニ著大ナルモノアリト尙北信南越一帶ニ亘レル千山萬岳ノ抱有セル無限ノ大森林及礦物ヲ開發シテ生産事業ノ發展ニ資スルハ且下ノ急務ナルヲ認ム依テ政府ハ速ニ本鐵道ヲ敷設シ沿道地方無限ノ富源ヲ開發スルト同時ニ交通運輸ノ利便ヲ増加シ國家經濟ノ發達ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

(高島順作君登壇)

○高島順作君 諸君、議題トナリマシタ信越河東鐵道建設ニ關スル建議案ニ付テ說明ヲ致シマス、御疲レノヤデアリマスカラ極メテ簡單ニ申上ゲマス、本線ハ信越線ノ屋代驛ヨリ分岐シ、長野縣下松代須坂飯山等ヲ經テ新瀉縣下十日町小千谷町ヲ經テ來迎寺驛ニ至リ同シク信越線ニ合スル線デアリマス、而シテ其沿線ハ長野縣ニアツテハ國產ノ最重要ナル生絲ノ產地トシテ、又澁、田中、野澤等ノ有名ナル溫泉地ヲ通過シ、新瀉縣ニテハ十日町小千谷町中心トシテ、絹織物業ノ最モ隆盛ヲ極ム而モ人口稠密ナル地方ヲ通過スルノデアリマス、之ニ伴フ原料並貨物ノ輸出入ハ實ニ多大ナルモノデアリマス、尙北信南越一體ニ亘リテハ大森林及礦山ハ潤澤デアリマス、是ガ開發ヲナシ、殖産工業ノ生産ニハ此鐵道敷設ガ最モ刻下ノ急務ナリト信ズルノデアリマス、更ニ本線ハ急速敷設シナケレバナラヌト云フ理由ヲ一言加ヘテ置キタイト思ヒマス、ソレハ外デアリマセス、信越線ノ輸送力ノ不足ヲ此線路ニ依テ補充シナケレバナラヌト存ジマス、此信越線ノ輸送力ノ故障ハ第一ハ碓氷デアリマス、第二ハ直江津長野間デアリマス、然ルニ碓氷峠ノ難所ハ即チ中央東線ニ依テ補充セラレテ居リマス、本線モ是ト同様ノ趣意ニ於テ是非敷設スルノ必要ガアルノデアリマス、要スルニ本線ノ裏日本ヨリ表日本ニ通ズル帝國中央ノ橫斷線ノ一部デアリマス、當局者モ現在ノ信越線ハ到底此輸送力ノ激増ニ應ズルコトガ出來ナイノデ、直江津篠ノ井間ノ支線ヲ敷設シ、輸送ノ圓滑ヲ計ラムトスル計畫ヲ立テラレテ、既ニ繼續費トシテ要求セラレテ居ルノデアリマス、幸ニ此河東線ガ敷設ニナリマスレバ其距離ヲ短縮スルト同時ニ、前ニ申シマシタ地方ノ産業ノ發達ヲ促進シ、無限ノ富源ヲ開發シ、交通運輸ノ利便ヲ増加シ、一面ニ於キマシテハ信越線ハ副線タル代用ニナルコトガ出來、洵ニ一舉兩得ノ線路デアリマス、經濟上國家ヲ益スルコトガ頗ル大ナルヲ容ル、餘地ガナイノデアリマス、本案ハ第二十八議會以來屢、本議會ニ建議致サレマシテ、滿場一致ノ御贊成ヲ得テ可決シテ居ル案デアリマス、本會ニ於キマシテモ御審議ノ上何卒速ニ可決ニナルヤウニ偏ニ願ヒマス

○福田又一君 本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セラレムコトヲ望ミマス

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ發議ニ御異議が無イト認メテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十九 外國米輸入官營三關スル建議案——齋藤宇一郎君

第十九 提出

外國米輸入官營三關スル建議案(井原百介君外十名)

外國米輸入官營三關スル建議案

外國米輸入官營三關スル建議案

政府ハ外國米ノ輸入ヲ官營トシ以テ米價ノ調節ヲ計ルヘク之カ實施ニ付テ帝國議會ノ協贊ヲ要スルモノハ速ニ案ヲ具シテ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(齋藤宇一郎君登壇)

○齋藤宇一郎君 議題ニ上テ居リマス建議案ハ各派ヲ通シマシテ提出者ガ十一名ニナリテ居リマス、ソレヲ代表致シマシテ私ガ簡單ニ其理由ヲ辯明致シマス、申スマデモナク我國ノ主要食物タル米ノ價額ヲ適當ニ保タシムルコトハ、最も大切ナル問題デアリマス、本案ハ其目的ヲ達スル一ノ方法トシテ外國米輸入ヲ官營ニスベク政府ニ要求スル建議案デアリマス、御承知ノ通り日本ノ米ノ産額ハ平均數デアリマスレバ約五千二百萬石位ニナリテ居リマス、而シテ是ダケノ米デ日本國民ノ食物ヲ充タシマスニ尙足ラヌ爲メニ、約三百萬石位ノ外國米ヲ輸入シナケレバナラヌ數字ニナリテ居リマス、近年ノ如ク豐作ガ續キマスレバ僅カニ四五十萬石シカ入ッテ居リマセメケレドモ、要スルニ三百萬石程度ノ外國米ガ、日本ノ米ノ平均ヲ保タシムベキ一ノ數字ニナリテ居ルデアリマスカラシテ、此三百萬石程度ノ米ヲ官營ニ致シマシテ、此調節ヲ保ツ一ノ方法ニ致シタイ、是ハ大分今日マデ研究サレマシテ其必要ヲ認メラレテ居ルデアリマス、其證據ニハ昨年新設サレマシタ米價調節調査會ニ、農商務省カラ參考案トシテ提出シナリマシタ四ツノ方法ガ、悉ク外米官營ノコトハ必要ナル事項トシテ掲載サレテ居ルヲ見マシテモ、是等ハ調節ノ上ニ最も必要ナル事項デアルト云フコトハ、今日ノ研究デハ殆ド決定シテ居ルデアリマス、然ルニ此米價調節ト云フモノハ餘程永遠ニ互ニ重大ナル問題デアリマスカラ、ナカノ急ニ決定シ實行シ、且ツ其效果ヲ收メルト云フコトハ餘程長イ日數ヲ要スルモノト私共ハ考ヘテ居リマス、然ルニ今日ノ米價ノ狀態ヲ見マシテ、唯今ハ廉クテ困ラテ居ルガ、萬一此反動ガ發リマスレバ今度ハ高クテ困ルト云フコトニナリマシテ、餘程日本國民ノ生活上ニ不安ヲ懷イテ居ルデアリマス、此場合ニ於キマシテ之ヲ唯一般市場ノ高下ニ委シテ置クト云フコトハ、國家ノ政策トシテ面白クナイ事デアリマスカラシテ、ドウシテモヤナケレバナラヌト今日ノ調査決定シテ居ル所ノ外國米ノ官營ハ、一日モ早く實行スル方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考カラ吾々ハ茲ニ提案致シマシテ、政府ニ速ニ其方法ヲ講ジ、必要ナルモノガアツタナラバ速ニ議會ニ提出シテ協贊ヲ求メラレムコトヲ望ム

ト思ヒマス、此建議案ノ趣旨デゴザイマス、ドウカ十分御審議ノ上御協贊ヲ請ヒタイ

ト思ヒマス

○加賀卯之吉君 私ハ提案者ニ質問致シタイト思ヒマスガ、米ノ專賣法ノ御利益ハ齋藤君ノ辯明ニ依リマシテ承スルコトヲ得マシタガ、假ニ外國米ノ官營ガ行ハレト致シマシタナラバ、是マデ外國米ヲ取扱ヒツ、來ツタ商人ニハ報償ヲ與ヘルト云フ考ハ無イデスカ、ソレガ一ツ、ソレカラ外國米ノ官營ト云フコトハ今辯明ニナリマシタ如ク、成程政府ニモサウ云フ意思ハアルヤウデアリマスガ、此外外國米ノ官營一ツ離シテヤツ、效果ノアルヤウ云フコトガ第二ノ疑問デアリマス、常平倉案ニ致シテモ、米券證券法案ニ致シテモ、或ハ補給法案ニ致シマシテモ、總テ政府ガ米ヲ買入レルトガ、或ハ貯藏セシムルト云フ他ノ方法ト結付イテ、始メテ外國米ノ官營ナルモノガ效力ヲ發揮スルヤウニ私共

トハ信ジテ居リマスガ、此法ノミ一ツ離シテ是マデ米價調節ニドレダケノ效能ガアルヤウヤト云フコトハ、今ノ辯明デハ足ラヌヤウデアリマス、私疑問ニ致シテ居リマスカラ此二點ニ付テ大體何ツテ置キタイト思ヒマス、細カイ事ハ委員會デ問フ機會ガアルカモ知レマセヌ

○齋藤宇一郎君 御答致シマス、第一ノ外國米ヲ扱ツテ居ル商人ニ報償ヲ與フルヤ否ヤト云フコトハ、イッレ法案ヲ組立テマス場合ニ於テハ、是マデ或ハ鹽トカ或ハ煙草ト云フヤウナモノニ對シテ報償ヲ與ヘタ例モアリマスカラ、果シテ外國米取扱商人ノ其營業ノ性質ガ、前ニ報償ヲ與ヘタヤウナモノト同一ナモノデアルト致シマスレバ、サウ云フ必要ガ起ツテ參リマセウト思ヒマスガ、サウ云フ細カイ所マデハ此提案ヲ致シマスベキ事ト出者ハ協議ヲ遂ゲテ居リマセヌ、イッレサウ云フ事ハ委員會ニ於テ御互研究スベキ事ト考ヘマス、第二ニ是ダケ離シテヤツデラダケ效果ガアルカ、是ハ唯今モ說明致シマス通り、是レ一ツデ全ク米價調節ノ效果ヲ奏スルモノト考ヘテ居リマセヌ、併ナカラ此外國米官營ノ問題ハ今日マデ研究サレタ何レノ方法ヲ行フニシテモ必要ナリト云フコトハ、私共モ認メ政府モ認メテ居ルデアリマスカラ、離シタルコトノ出來ル方法デアッテ、少シデモ效果ノアルモノハ出來得ルダケ早クヤツ、今日ノ重大問題ノ解決ニ一歩ヲ進メル方ガ國家ノ爲メニ得策デアラウト云フ考カラ、其點ハ提案ヲ致シマスベキト、提案者ガ協議ヲ遂ゲマシタ上デ是ダケヲ扱イテ早クヤラセタイト云フ考デ提案致シタデアリマス、詳細ノ事ハ重大問題デアリマスカラ此處デ一ト應答致シマシテハ時間ガ掛リマスカラ、ドウカ委員會ニ御譲リニナラムコトヲ希望致シマス

○福田又一君 本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セラレンコトヲ望ミマス

(贊成ト呼ブ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ發議ニ御異議無イト認メマス、依テ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二十、神通川改修工事速成ニ關スル建議案——野村嘉六君

第二十

神通川改修工事速成ニ關スル建議案(關野善次郎君外三名提出)

神通川改修工事速成ニ關スル建議案

神通川ハ源ヲ岐阜縣ニ發シ富山縣ヲ貫流シテ日本海ニ注クノ大川ニシテ其ノ流域ニ於ケル廣大ナル水田ハ爲ニ灌漑ノ便ヲ得富山縣ヲ貫流シテ米產國タラシム然ルニ近年砂礫流下シテ川底淺ク加フルニ一昨年大洪水アリテ流域變更シ從テ灌漑ノ便ヲ失クニ至レリ若此ノ儘推移スルニ於テハ水田荒蕪シ農民ヲシテ困苦ニ陥ラシムルコト甚シ幸ニ神通川ハ河川法ニ依リ第一期改修川ナルヲ以テ速ニ之カ工事ヲ完成シ地方農民ヲシテ其ノ惠ニ浴セシムコトヲ望ム

右建議ス

(野村嘉六君登壇)

○野村嘉六君 極ク簡單ニ申上ゲマス、本案ハ神通川改修工事速成ニ關スル建議案デアリマシテ、御承知ノ通り神通川ハ岐阜縣ニ源ヲ發シマシテ、富山縣ヲ貫流シテサウシテ日本海ニ注グデアリマス、此川ハ非常ニ大キイ川デアリマシテ又極ク荒イコロノ川デアリマス、併シ此ノ川ニ依ツテ灌漑サル、トコロノ水由ハ非常ニ多ウゴザイマシテ、富山縣ノ殆ド過半ハ此川水ニ依ツテ灌漑サスルデアリマス、今日富山縣ガ米產國ト云フ稱ヲ受ケテ居リマスノハ、全ク此川ガ與ツテ力アルノデゴザイマス、然ルニ近來砂礫ガ非常ニ流下致シマシテ川底ガ淺クナリマシタ、加フルニ一昨年ノ大洪水ガアリマシテ、其時ノ慘狀ハ當時ノ新聞デ御承知ノ通り、堤防田畑其他橋梁等ガ被害ノ爲メ蒙リマシ

第二十二 音樂教育ニ關スル建議案 高野金重君外一名提出

音樂教育ニ關スル建議案

政府ノ施設ニ係ル音樂教育ハ單ニ洋樂ニ重キヲ置キ却テ我カ邦固有ノ音樂ヲ輕視スルノ嫌アリ政府ハ速ニ適當ノ方法ヲ定メ東京音樂學校ニ邦樂科ヲ設置スルノ舉ニ出デムコトヲ望ム

右建議ス

(高野金重君登壇)

○高野金重君 極メテ簡單明瞭ナル提案デアリマス、提案ノ主意ハ日本唯一ノ音樂學校デアルトコロ、東京音樂學校ニ於キマシテハ、西洋ノ音樂ヲ研究シテ居リマスケレドモ、琴ト樂トハ、一部ヲ研究シテ居ルノミデアリマス、元來此日本ノ音樂學校ガ日本ノ音樂ヲ研究シ教授シナイハ日本ノ恥辱デアリマス、殊ニ俗曲ノ如キモソレヲ禁ズルト云フナラバ宜シクゴザイマスガ、苟モソレガ世ノ中ニ存在シテ居ル以上ハ、其汚隆ハ直ニ國家ノ風教ニ關スルコトデアリマスルシ、又其盛衰ハ國家ノ盛衰ニ關スルコトデアリマスルシ、之ヲ研究調査シテ、サウシテ西洋ノ音樂モ忽ニスルコトハ出來マセヌケレドモ、日本ノ音樂ニ重キヲ置イテ貫ヒタイト云フ極メテ簡單ナル提案デアリマス、各派諸君ノ御同意ヲ得テ提案致シテ譯デゴザイマスカラ、ドウカ御贊成アラントラ希望致シマス

第二十一 鐵道旅館増設ニ關スル建議案(川井爲巳君外二名提出)

鐵道旅館増設ニ關スル建議案

三重縣鳥羽港ハ帝國鐵道參宮線ノ終點ニシテ海陸ノ交通至便ナルノミナラス氣候溫和空氣清澄ニシテ四時魚貝ニ富ミ且其ノ眺望ノ佳絕雄大ナルハ全國其ノ右ニ出ツルモノナカラム曩ニ鐵道開通セシヨリ漸次内外觀光者ノ來遊増加セルモ外客ヲ宿泊セシムヘキ適當ノ旅館ナキ爲歐米人ハ何レモ直ニ歸途ニ上リ同地ニ足ヲ止ムルモノナク國家經濟上遺憾カラス依テ政府ハ山陽ホテル、奈良ホテルノ如ク速ニ同地ニ鐵道旅館ヲ設ケ海外觀光者ノ收容ニ便セラレムコトヲ望ム

(川井爲巳君登壇)

○川井爲巳君 私人鐵道旅館ヲ建設致シタイト云フ建議ハ、志摩國鳥羽港ニ設ケタイト云フ建議デゴザイマスガ、近時所謂參宮鐵道ハ鳥羽ニ通シマシテカラ、兩宮アルガ故ニ外國人モ非常ニ輻輳ヲ致シマス、アノ地ガ東海ヲ受ケマシテ物産ハ多クアリマスルシ、氣候モ四時トモ宜シクゴザイマスシ、又大阪名古屋ヨリハ鐵道ガ直通ヲ致シ、時間モ僅カデ來ルコトデモゴザイマスルシ、旅館ハ必要ト存シマス、又風景ニ至リマシテハ非常ニ絶景デアリマス、海ヲ隔テ、ハ富士或ハ御嶽白山等マデ見エテ、其間ニハ島嶼ガ點々トアル譯デアリマス、又天然ニ從前ヨリ海女ノ貝取等モアリ、又近時ハ眞珠ノ養殖ノ場所モ出來テ居リマス場所デアリマシテ、之ニ鐵道旅館ヲ設ケマスレバ西洋人ノ集マルコトハ明カデ、鐵道經濟ニ於キマシテハ決シテ損失ノナイコトデアルト信シマス、ソレニ依リマシテ此ニ旅館ヲ設ケタイト云フノ建議ヲ致シマシタノデゴザイマスカラ、何卒御贊成ノ上宜シク……

○福田又一君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託シ審査セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ガナイト認メテ、議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二十一、音樂教育ニ關スル建議案、高野金重君

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ福田君ノ說ニ決シマス、日程第二十三、上越鐵道建設ニ關スル建議案 川上榮太郎君

第二十三 上越鐵道建設ニ關スル建議案(川上榮太郎君外二名提出)

上越鐵道建設ニ關スル建議案

本鐵道線路ハ我カ國本州ノ中部ヲ橫斷シ中央北越連絡ノ最捷路タリ故ニ本線ヲ敷設スルハ軍事上經濟上喫緊ノ急務ナリ殊ニ西北比利亞鐵道復線工事ノ竣工ニ伴ヒ日本海ニ瀕スル北越地方ハ運輸、交通、國防等ノ上ニ付至大ノ注目ヲ要スルヤ明ナリ依テ政府ハ速ニ本鐵道敷設ノ計畫ヲ立テ一朝有事ノ日ニ於テ國防ノ行動ヲ敏速ナラシメ常時ニ於テハ運輸交通ノ便益ヲ圖リ以テ帝國國運ノ發展ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○川上榮太郎君 極メテ簡單デアリマスカラ、自席ヨリ申述ベマス、此上越鐵道建設ニ關スル建議案ハ、先刻須藤君カラ御述ニナリマシタ理由ト同一デゴザイマス、是ハヤハリ同一ノ委員ニ付託シテ審査セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、川上君ノ說即チ前ノ上越鐵道建設ニ關スル建議案ノ委員ガ出來ルコトニナッテ居リマス、其同一委員ニ付託スルコトニ決シマス

○福田又一君 此場合ニ先程委員付託ノ動議ヲ出シマシタガ、ソレヲ訂正シテ置キタイデアリマス、十八ノ日程ノ信越河東鐵道建設ニ關スル建議案ヲ、特別ノ九名ノ委員ニ付託致シマシタガ、是モヤハリ十七ノ日程ノ上越鐵道建設ニ關スル建議案ニ合併ヲ致シマシテ、審査ヲ求ムルガ便利ト考ヘマスカラ、先キノ動議ヲ取消シマシテ更メテ十七ノ日程ノ委員ト同一ニセラレンコトヲ求メマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマス、左様ニ改メルコトニ致シマス——日
程第二十四、北海道拓殖速進ニ關スル建議案——中西六三郎君

第二十四 北海道拓殖速進ニ關スル建議案(小池仁郎君外五
名提出)

北海道拓殖速進ニ關スル建議案

北海道拓殖速進ニ關スル建議案

政府ハ北海道拓殖ニ關スル現行ノ計畫ヲ改善シ更ニ全道開發ニ必要ナル各般ノ施
設並拓殖鐵道敷設ノ計畫ヲ定メ次期議會ニ之ヲ提案ヲ爲サムコトヲ望ム
右建議ス

〔中西六三郎君登壇〕

○中西六三郎君 本建議案提出ノ理由ハ、理由書ニ大體ヲ記載シテ置キマシタカラ、ツ
レニテ御諒承ヲ願フニ足リト思ヒマスガ、唯一口申上ケテ置キマス、北海道ノ開拓ノ急
ナルコトハ政府モ議員モ疾ク認メテ居ラレマシテ、先キニ十五年計畫ガ立ッテ居ルノデ
アリマス、唯今其計畫ガ現ニ行ハレテ居リマス、其計畫ニ依リマスル、疾クヨリ政府ガ確定
支出ノ二百五十萬圓ノ外ニ、北海道ノ自然増收ガ二百五十萬圓以上アル筈デ、少ク
トモ毎年五百萬圓、北海道開拓ノ資金ガ出ル筈ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、然ルニ
其北海道ノ自然増收ヲ見込マレタコトガ甚大ナル計算違デゴザイマス、今日マデニ自
然増收ガ一千万圓アラハナラサ答ノモノガ、僅カニ八十五萬圓、一割足ラズシカ上ラ
ヌヤウナコトニナッテ居リマスルデ、今行ハレテ居リマスル繼續計畫ハ此點ニ於キマシテ根
カラ錯誤ニ陥ッテ居ルノデアリマス、當ニ金ガ足ラナイト云フバカリデナク、少クモ毎年
五百萬圓宛ハ使フト云フ積リカラ割出シマシテ、築港其他イロ／＼ノ事業ガ現
ニ著手サレテ居ルノデアリマス、ツレガ僅ニ半分シカ無イト云フ爲メニサナキダニ不足
ノ半分ノ金ヲ使フ上ニ於テ大ニ不經濟ニナッテ居リマス、五百萬圓ノ積リデ割出シタ使
方ガ半分シカナイト云フノデアルカラ融通ノ付カナイ事業ニ大部分ヲ投資シテマッデ、肝
腎ノ北海道ノ内部ノ培養ニナル金ト云フモノガ甚ダ僅少デゴザイマス、故ニ當ニ此金デ
ハ北海道ノ開拓ガ遅レマスバカリデナク、誠ニ不經濟ナ使方ニナッテ居ルノデゴザイマスガ
ラ、ドウシテモ是ハ此機會ニ根本的ニ改メルコトノ必要ヲ感シタノデアリマス、委細ノ儀
ハ重ネテ委員會デ説明ヲ致シマスガ、提案ノ大體ノ趣旨ハ斯様デゴザイマスカラ、宜シ
ク御賛成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○福田又一君 本案ヲ議長指名十八名ノ委員ニ付託シ審査セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ガナイト認メテ本案ハ議長指名十八名
ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二十五、是ハ提出者多木久米次郎君カラ
延期ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ延期ニ決シマス——日程第二十六ヨリ
第八十三ニ至ル諸願、特別報告、是ハ例ニ依リ一括シテ議題ト致シテ委員長ノ報告
ヲ求メマス——加藤彰廉君

第二十六

(特別報告第五十九號)營業稅法中改
正ノ請願

(委員長報告)

第二十七

(特別報告第六十二號)庄内川改修ニ
關スル請願

(委員長報告)

第二十八

(特別報告第六十三號)加古川河川改
修ノ請願

第二十九

(特別報告第六十四號)岩木川水害除
去工事施行ノ請願

第三十

(特別報告第六十五號)漁船避難港築
造ノ請願

第三十一

(特別報告第六十六號)網走港修築速
成ノ請願

第三十二

(特別報告第六十七號)稚内築港速成
ノ請願

第三十三

(特別報告第六十九號)農業資金融通
ノ請願

第三十四

(特別報告第七十號)農業倉庫法制定
ノ請願

第三十五

(特別報告第七十一號)米價調節ノ請
願

第三十六

(特別報告第七十三號)癘兵傷病兵及
遺族優遇ニ關スル請願

第三十七

(特別報告第七十四號)姫路城西ノ丸
保存ノ請願

第三十八

(特別報告第七十六號)乃美尾村ニ郵
便電信局設置ノ請願

第三十九

(特別報告第七十七號)鏡石村ニ郵便
局設置ノ請願

第四十

(特別報告第七十八號)木田村ニ郵便
局設置ノ請願

第四十一

(特別報告第七十九號)下之川村ニ三
等郵便局設置ノ請願

第四十二

(特別報告第八十號)中名田村ニ郵便
局設置ノ請願

第四十三

(特別報告第八十一號)谷頭驛ニ郵便
局設置ノ請願

第四十四

(特別報告第八十二號)菅生村ニ郵便
局設置ノ請願

第四十五

(特別報告第八十三號)東仙道村ニ集
配郵便局設置ノ請願

第四十六

(特別報告第八十四號)二川村ニ集配
郵便局設置ノ請願

第四十七

(特別報告第八十五號)三ツ木村ニ無
集配郵便局設置ノ請願

第四十八

(特別報告第八十六號)田幸村鹽町ニ
郵便局設置ノ請願

第四十九

(特別報告第八十七號)下大野村ニ三
等郵便局設置ノ請願

第五十

(特別報告第八十八號)大濱村宮前ニ
郵便局設置ノ請願

第五十一

(特別報告第九十號)耳村佐柿ニ區裁
判所出張所設置ノ請願

- 第五十二 (特別報告第九十一號) 脇町區裁判所
白地出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十三 (特別報告第九十二號) 下城井村安武
ニ登記所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十四 (特別報告第九十三號) 上湧別村ニ登
記所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十五 (特別報告第九十四號) 東旭川村ニ區
裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第五十六 (特別報告第九十六號) 黑澤尻町ニ區裁
判所新設ノ請願 (委員長報告)
- 第五十七 (特別報告第九十七號) 小學校教員俸給
國庫支辨ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第五十八 (特別報告第九十九號) 福山今市間輕便
鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第五十九 (特別報告第一百號) 所子村ニ停車場
設置ノ請願 (委員長報告)
- 第六十 (特別報告第一百十一號) 廣島江津間鐵
道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十一 (特別報告第一百十二號) 野上旭川間輕
便鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十二 (特別報告第一百十三號) 厚岸網走間鐵
道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十三 (特別報告第一百十四號) 阿片賠償價格
改正ノ請願 (委員長報告)
- 第六十四 (特別報告第一百十五號) 阿武隈川改修
速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十五 (特別報告第一百十六號) 阿武隈川ヲ河
川法第一期川ニ編入ノ請願 (委員長報告)
- 第六十六 (特別報告第一百十七號) 七尾港修築ノ
請願 (委員長報告)
- 第六十七 (特別報告第一百十八號) 留萌港修築速
成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十八 (特別報告第一百十九號) 北海道札幌區
內豐平橋架設ノ請願 (委員長報告)
- 第六十九 (特別報告第一百二十號) 軍人恩給法
中改正ノ請願 (委員長報告)
- 第七十 (特別報告第一百二十四號) 岡山村岡部
ニ三等郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十一 (特別報告第一百二十五號) 山田郵便局
ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第七十二 (特別報告第一百二十六號) 坂部村ニ郵
便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十三 (特別報告第一百二十七號) 仁萬村郵便
電信局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十四 (特別報告第一百二十八號) 中村ニ無集
配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

- 第七十五 (特別報告第一百二十九號) 五ヶ莊村ニ
無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十六 (特別報告第一百四十號) 木造町ニ區
裁判所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十七 (特別報告第一百四十四號) 入野村ニ登
記所設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十八 (特別報告第一百四十五號) 古墳發掘並
埋藏物處分ノ請願 (委員長報告)
- 第七十九 (特別報告第一百四十七號) 專門學校入
學者檢定規定ノ實施方法改正ノ請願 (委員長報告)
- 第八十 (特別報告第一百四十九號) 天鹽沿岸線
鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十一 (特別報告第一百五十號) 壽都黑松內間
鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十二 (特別報告第一百五十一號) 膽振線紋
黑松內間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十三 (特別報告第一百五十二號) 千葉縣下勝
浦北條間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)
- 〔加藤彰廉君登壇〕
- 加藤彰廉君 此二十六カラ最終ニ至リマスデノ報告ニ付キマシテハ極メテ簡單
デ一二分デ終リマスガ、其前ニ請願委員會ニ於キマシテ附帶ノ決議ヲ一ツ致シテ居
リマスノデ、ソレヲ御諮リ致シマスカラ暫ク御聽キテ願ヒマス、一ツハ議院法ニ依リマシテ
請願委員會ニ於キマシテ採擇ト決シマシテモノハ本議ニツレヲ上セマシテ更ニ御決議ヲ
願フノデアリマスガ、併シ其請願ト其性質ヲ同ジクシテ居リマス法律案トカ、或ハ建議
案ト云フモノガ、本會ニ於テ可決ニナリマシタ場合、又其前ノ本院ニ於テ可決ニナリマ
シタル請願ノ件ト稍ク性質ヲ同ジクシテ居リマス請願ガ後トカラ出マシタ場合ニハ、ソレ
ハ本議ニ提出セシメテ其儘請願委員會ノ手許ニ留メテ置クト云フコトモ、二十二議會
以來慣例ニナリテ居ルデアリマス、然ルニ其事ニ付キマシテ若シ其通りニ一度法律案
或ハ建議案或ハ前ニ請願ト云フモノガ決シテ居リマス場合ニ、後ニソレト同ジ目的
ノモノガ出マシテ、ソレヲ其儘請願委員會ノ手許ニ留メテ置クト云フコトハ、請願者
ノ意志ニ違ヒ、又ソレガ暗カラ暗ニ葬テシマフト云フヤウナコトニナリマシテ、甚ダ請願者
旨ニ適ハヌデアリマスカラ、ソレヲ右様ナ請願ハ本院ニハ提出シマセナクテモ、本院ニ於
テ御採擇ニナラズモ認メテ、ソレヲ速記録ニ登載致シ、又ソレヲ政府ニ送付スルト云フ
コトニ致シタト云フ決議ヲシタノデアリマス、此事ハ昨年議會ニ於キマシテ當時ノ請願
委員長ヨリ決議ヲ求メタノデアリマシテ、本院ニ於テ其通り可決ニナリテ居リマスケレドモ
ガ、其時ノ趣旨ガ稍ク徹底ラシテ居ラナイノデアリマシテ、其通り實行ニナリテ居リマセヌ
カラ再ヒ此ニ其事ヲ申上ゲマシテ、將來今日マデノ慣例ヲ改メテ云フコトニ致シタト
思フノデアリマス、(贊成々々)ト呼ブ者アリソレカラ第二ノコトハ請願ノ日程ニ關スルコ
トデゴザイマスガ、御承知ノ如ク請願ハ何時モ日程ノ最後ニ出テ居ルデアリマス、其爲
ニ度々延會ト云フヤウナコトガアリマシテ、請願ガ何時モ遅レルノデアリマス、抑々請願
ハ國民ノ權利ノ最モ重大ナルモノ一ツデアリマセウシ、又帝國議會ニ於キマシテ國民ノ
請願ヲ請取テ、其採否ヲ決スルト云フコトハ又重大ノ件デアリマス、而モ其數ハ一常
ニ請願ノ數ハ千以上ニナリマシテ、請願委員會ニ於テ採擇致シマスモノモ數百ヲ以テ
數フルノデアリマス、ソレガ何時モ後ニナリマシテ、サウシテ請願ヲシマシタ者ガ一日首ヲ
長クシテ——是ガ採擇ニナルカナラヌカト云フコトヲ首ヲ長クシテ待ッテ居ルデアリマス、

ウレカ何時モ遅レルコトナリマシテ甚ダ請願者ニ對シテモ氣ノ毒デアルト思ヒマス、ソレ故ニ請願ニ於キマシテモ少シ前ノ方ニ日程ヲ上ケルヤウニ致シテ貰ヒタイト思フデアリマス、其點ニ付キマシテ請願委員會ニ於テ決議ヲ致シタノデアリマスルカラ、御賛成ヲ願ヒタイト思フデアリマス(議長ニ一任)ト呼フ者アリ)ソレカ此第二十一ハカラ最終ノ八十三ニ至リマスル所ノ請願ハ、既ニ數回提出シタモノデアリマシテ、又是等ノ趣意ハツレツレ相當ノ理由ノアルモノト認メテ、請願委員會ニ於テ採擇ニ決シタノデアリマスルカラ、ドウカ本院ニ於テモ其通り御採擇アラント希望致シマス

特別報告第五十九號

請願文書表第六七六號

營業稅法中改正ノ請願 新潟縣中蒲原郡兩川村大字酒屋二百九番地平民農本村五郎治外二名呈出(紹介議員阪口仁一郎君)

右請願ノ要旨ハ農業倉庫ハ穀物販賣組織ノ改善並農家保護機關トシテ必要ニシテ專ラ公益ヲ主トシ利ヲ得ル事少キモノナルニ營業稅法ハ一般倉庫ト同シク之ニ課稅スルハ獨リ農業倉庫業者ノ苦痛タルノミナラス亦斯業ノ發達上遺憾ナルヲ以テ營業稅法第六條ニ但公益ヲ旨トスル各種農業倉庫ニハ營業稅ヲ課セス」但書ヲ加ヘラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十二號

請願文書表第八三五號

庄内川改修ニ關スル請願 愛知縣海部郡富田村長鈴木助十郎外二十二名呈出(紹介議員早川龍介君)

右請願ノ要旨ハ愛知縣庄内川ハ頻年氾濫シ既往三十箇年間ノ損害ヲ概算セハ六百萬圓ヲ下ス然ルニカ改修ニハ巨額ノ費用ヲ要シ到底民力ノ堪フルトコロニアラサルヲ以テ該川改修方ニ關シ第三帝國議會以來數回請願シタルモ今猶之方改修工事ニ著手セラレサルハ關係町村民ノ深ク遺憾トスルところナルヲ以テ速ニ該川ヲ改修セラシメト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十三號

請願文書表第八五一號

加古川河川改修ノ請願 兵庫縣加古郡加古川町ノ内加古川町二百五十六番地平民農野間宗一外一千一百十名呈出(紹介議員石橋爲之助君)

右請願ノ要旨ハ兵庫縣下加古川ハ往古ヨリ幾多ノ變遷ヲ經テ幅員其ノ宜シキヲ得ス屈曲亦甚シクシテ不整ヲ極メ且山林濫伐ノ餘弊ヲ受ケテ小雨ニモ忽チ潰決氾濫ノ害ヲ被ルコト屢ナルヲ以テ明治四十四年九月河川法施行ト共第一期川ニ編セラレシハ關係町村民ノ喜悅措ク能ハサルトコロナリシモ尙一朝大洪水ニ遭遇セハ慘禍實ニ甚シキモノアルヲ以テ速ニ之ヲ改修ニ著手セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十四號

請願文書表第八五八號

岩木川水害除去工事施行ノ請願 青森縣北津輕郡七和村大字羽野木澤七番戶平民農岩木川治水期成同盟會長阿部武智雄外三十二名呈出(紹介議員加藤宇兵衛君外一名)

右請願ノ要旨ハ青森縣下岩木川改修工事ノ請願ハ議會ニ於テ屢採擇ヲ得タルニ拘ラス今尙起工セラレサルハ遺憾ナリ蓋本川ノ流域ハ舊縣下ノ四郡ニ跨リ所謂津輕平野ノ水田三萬八千町歩ハ殆ト同川ノ本支流ニ由テ灌溉セラレ其ノ利害ハ廣ク三十萬民ノ死活ニ關スル大問題ナリ大正二年本縣下ニ於ケル飢饉ノ如キハ素ヨリ其ノ原因一ニシテ足ラズト雖然モ同川兩度ノ出水與ッテ力アリト信ス若斯ノ如クミテ空シク推移セムカ年年ノ禍害益大ナルヘク沿岸人民ノ前途憂心ニ堪ヘサルモノアリ依テ速ニ之ヲ改修工事ヲ起サレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十五號

請願文書表第六四二號

漁船避難港築造ノ請願 香川縣三豐郡觀音寺町大字觀音寺甲二千九十六番地平民商石崎兵治郎外百九名呈出(紹介議員田淵良四郎君)

右請願ノ要旨ハ瀬戶内海ハ由來魚族ニ富ミ香川縣三豐郡沿海ハ殊ニ豐富ニシテ漁民亦從テ多シ故ニ同郡觀音寺町ハ漁業ノ盛ナル瀬戶内海第一ト稱セラレ沿海出漁船ノ集散地ナルト同時ニ又漁獲物ノ集散場タリ然ルニ同地方ノ海上ハ常ニ風波荒ク暴風激浪海若ノ災ニ罹リ可憐漁民ノ生命ト財產トヲ擧ゲテ空シスルコト枚舉ノ遑ナシ同町有志風ニ燃洋水難救濟所ヲ設ケテ之ヲ救濟シ努力スル雖港灣ノ不真ハ如何トモヘカラス而シテ其ノ救濟策トシテハ漁船避難港築造ノ外ナシ依テ速ニ觀音寺町ニ之ヲ築造セラシメト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十六號

請願文書表第八五四號

網走港修築速成ノ請願 北海道網走郡網走町大字北見町中通六丁目一番地土族商木下詳外十九名呈出(紹介議員小池仁郎君)

右請願ノ要旨ハ北海道北見國網走港ハ鐵道ノ敷設以來急激ノ發展ヲ爲シタルヲ以テ海陸聯絡ノ設備ハ刻下ノ急務ニシテ到底大正七年度以降七箇年繼續事業ヲ俟ツ能ハス依テ一日モ速ニ之ヲ起工完成セラシメト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十七號

請願文書表第八六〇號

稚內築港速成ノ請願 北海道北見國宗谷郡稚內町大字稚內字北濱通四丁目平民商業榎秀三外五十五名呈出(紹介議員小池仁郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ稚內港ハ北海道天鹽及北見ニ於ケル唯一ノ良港ニシテ前方北海

ノ豐庫タル利尻、禮文及樺太ニ臨ミ後方天鹽大原野ヲ負ヒ物資ノ集散日ニ増大シ到底拓殖十五箇年計畫案ヲ俟ツ能ハス希クハ大正五年度ヨリ築港工事ニ著手セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第六十九號

請願文書表第三三二號

農業資金融通ノ請願 德島縣勝浦郡福原村大字旭九十三番屋敷山部榮藏外三十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三二號

同上 德島縣那賀郡鷲敷町大字小仁字十五番屋敷農元木彌三郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三三號

同上 德島縣那賀郡中野島村大字横見字長岡五十五番地米澤弘外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三四號

同上 德島縣那賀郡今津村大字敷地十四番屋敷吉川綾吉外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三五號

同上 德島縣名東郡齊津村齋田浦三百四十八番地土族農廣瀨延吉外八十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三六號

同上 德島縣名東郡加茂村三番地山口清吉外四十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三七號

同上 德島縣那賀郡寶田村大字今市字中屋敷三十六番地美馬進吾外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三八號

同上 德島縣那賀郡見能林村大字才見字石橋十六番地農土居薰外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三三九號

同上 德島縣名東郡上八萬村上八萬三百七十九番屋敷平民農山田金次郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四〇號

同上 德島縣名東郡加茂村庄六十二番屋敷農高橋丈三郎外七十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四一號

同上 德島縣勝浦郡小松島町大字田野字本村六十一番地三木金作外百三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四二號

同上 德島縣那賀郡加茂谷村大字加茂十一番屋敷平民農長野直太郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四三號

同上 德島縣勝浦郡多賀良村大字飯谷二百四十四番屋敷ノ一平民竹内祐一外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四四號

同上 德島縣勝浦郡生比奈村大字中角字前山四十二番地大上勘三外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四五號

同上 德島縣名東郡國府町和田十八番地川島久吉外六十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四六號

同上 德島縣那賀郡桑野村大字阿瀬比字前田十一番地宮崎寛太郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四七號

同上 德島縣勝浦郡高鉾村大字正木字安後四十四番地平民農長岡宇一郎外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四八號

同上 德島縣那賀郡羽ノ浦村大字中庄二百七番屋敷平民農岡本茂三郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三四九號

同上 德島縣名東郡南井上村花園四百六十二番地ノ一平民農野口喜右衛門外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五〇號

同上 德島縣德島市下助任町字金池八百二番屋敷平民商鈴江廣吉外七十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五一號

同上 德島縣名西郡高志村大字瀬部百五番屋敷士族農井上嘉次郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五二號

同上 德島縣名西郡高川原村大字加茂野六十六番屋敷平民農土肥元吉外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五三號

同上 德島縣名西郡高原村大字高原四百十番屋敷高瀬庄五郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五四號

同上 德島縣那賀郡橋町字東中濱百十八番地平民商糸林準一外四十二名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五五號

同上 德島縣那賀郡相生町大字相名七番屋敷平民農平岡新藏外十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五六號

同上 德島縣那賀郡坂野村大字坂野二百五十四番屋敷平民農淺石惠八外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五七號
同上 德島縣那賀郡新野村大字豐田五十一番地久米力衛外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五八號
同上 德島縣那賀郡椿村大字椿字蒲生田百八十番地平民農棚橋國太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三五九號
同上 德島縣那賀郡立江町大字立江字玉田二十七番地平民農石九伸二外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六〇號
同上 德島縣那賀郡長生村大字本庄四十八番屋敷平民農村崎半次郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六一號
同上 德島縣那賀郡福井村大字下福井六十七番屋敷平民農野村悅次郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六二號
同上 德島縣那賀郡宮濱村大字小濱三百十五番屋敷平民農越野芳行外三十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六三號
同上 德島縣那賀郡日野谷村大字大久保三十九番屋敷木田敷太郎外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六四號
同上 德島縣那賀郡平島村大字三栗十九番屋敷平民農武田伴太郎外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六五號
同上 德島縣那賀郡奧木頭村大字西字三十番屋敷西澤瀧太郎外二百十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六六號
同上 德島縣那賀郡赤河内村大字西河内二十四番屋敷平民農芳川與藏外三十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六七號
同上 德島縣那賀郡日和佐町大字奧河内字本村百三番地平民商業喜田藤吉外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六八號
同上 德島縣那賀郡西村大字高園字小林百三番屋敷小濱房太郎外三十三名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三六九號
同上 德島縣那賀郡川上村大字小川十一番屋敷平民農谷崎嘉太郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七〇號
同上 德島縣那賀郡奧村大字輦浦百八十九番屋敷平民公吏柳生重太郎外十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七一號
同上 德島縣那賀郡牟岐村大字河内二百八十三番屋敷原田早藏外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七二號
同上 德島縣那賀郡三岐田村大字岐浦百三十四番屋敷濱名理作外九十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七三號
同上 德島縣那賀郡西郡入田村大字春日二百十番地一平民農高橋清左衛門外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七四號
同上 德島縣那賀郡瀬戸村大字浦三百五十三番屋敷秋田常之進外二十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七五號
同上 德島縣那賀郡富岡町大字富岡一番屋敷平民農吹田儀平外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七六號
同上 德島縣那賀郡北灘村大字大浦村四十二番屋敷農岸本多一外三十七名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七七號
同上 德島縣那賀郡大山村大字神宅七番屋敷安藝芳郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七八號
同上 德島縣那賀郡御所村大字高尾八十九番屋敷平民農糸田川龜三郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三七九號
同上 德島縣那賀郡川内村大字大松五十二番屋敷平民農喜田富藏外七十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八〇號
同上 德島縣那賀郡撫養町大字南濱七十四番ノ三地平民農村澤銀藏外百十七名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八一號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八二號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八三號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八四號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八五號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八六號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八七號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八八號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八九號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九〇號
同上 德島縣那賀郡板東村大字萩原黒田德太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八五號

同上 德島縣阿波郡久勝村大字久千田三十九番平民農阪東愛之助外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八六號

同上 德島縣麻植郡東山村百八十八番屋敷竹田由郎外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八七號

同上 德島縣麻植郡學島村六十三番地平民農金子伊之助外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八八號

同上 德島縣麻植郡水屋平村大字水屋平字森遠百三十八番地天田信一外九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三八九號

同上 德島縣美馬郡半田與山村字下喜來百三十番地森岡信太郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九〇號

同上 德島縣美馬郡里村二十八番屋敷平民農眞鍋儀平外十五名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九一號

同上 德島縣美馬郡東祖谷山村七百十六番屋敷平民農關口鶴藏外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九二號

同上 德島縣美馬郡端山村大字東端山三百七十六番地平民農松尾鶴惠外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九三號

同上 德島縣美馬郡口山村字首野六百四十六番地平民農山田庄市外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九四號

同上 德島縣美馬郡西祖谷山村字德善百十三番地士族農德善正一外三十二名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九五號

同上 德島縣美馬郡半田村大字半田字逢阪百二十二番地大久保龜吉外五十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九六號

同上 德島縣美馬郡穴吹村大字穴吹百五十二番屋敷平民農佃善吉外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九七號

同上 德島縣美馬郡岩倉村大字岩倉二百一十一番屋敷士族農丹羽嘉五郎外七十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九八號

同上 德島縣美馬郡半山村八十九番屋敷平民農青山嘉平外十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第三九九號

同上 德島縣美馬郡貞光町百三十六番屋敷谷熊太郎外六十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇〇號

同上 德島縣美馬郡重清村字谷口五番地一平民公吏河野俊夫外二十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇一號

同上 德島縣美馬郡脇町大字猪尻二百四十二番屋敷士族公吏香田雄次郎外八十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇二號

同上 德島縣美馬郡三島村大字小島三百八十八番地平民農竹田源七外三十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇三號

同上 德島縣三好郡山城谷村千二百七十九番屋敷川島規矩馬外八十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇四號

同上 德島縣三好郡三繩村大字中西三十三番屋敷阪本政五郎外十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇五號

同上 德島縣三好郡三村大字上名八十五番屋敷平民農華岡嘉治郎外二十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

本請願ノ要旨ハ近時農村ノ經濟ハ頗ル不安窮迫ノ狀態ニアルモ日本勸業銀行各府縣農工銀行等ノ貸出資金ハ常ニ枯渴シ金利亦高キニ過キテ之ヲ救済スルニ由ナキヲ以テ少クモ地方經濟發展ノ基礎タルヘキ事業ニ對シテハ尙一層其ノ資金ヲ豐富ニシ且其ノ利率ヲ低減シ以テ逼迫セル農村ノ金融ヲ緩和シ速ニ國力充實ノ目的ヲ達セシメラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十號

請願文書表第六七五號

農業倉庫法制定ノ請願 新潟縣中蒲原郡兩川村大字酒屋三百九番地平民農木村五郎治外二名呈出(紹介議員阪口仁一郎君)

右請願ノ要旨ハ農產物ノ價格ヲ調節シ貯藏販賣ノ方法ヲ改善シ需用供給ノ圓滑ヲ圖リ且農業者ノ金融ニ資スル爲速ニ農業倉庫法ヲ制定シテ斯業ヲ獎勵保護セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十一號

請願文書表第四〇六號

米價調節ノ請願 德島縣名東郡齋津村齋田浦三百四十八番地士族農廣瀨延吉外八十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四〇七號
同上 德島縣名東郡國府町和田十八番地川島久吉外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四〇八號
同上 德島縣名東郡沖洲村沖洲浦字南屋敷二十九番地土族無業桑村義人外十七名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四〇九號
同上 德島縣名東郡加茂名村庄六十二番屋敷農高橋丈三郎外七十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一〇號
同上 德島縣名東郡上八萬村上八萬三百七十九番屋敷平民農山田金次郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一一號
同上 德島縣名東郡加茂村三番山口清吉外四十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一二號
同上 德島縣勝浦郡生比奈村大字中角字前山四十二番地大山勘三外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一三號
同上 德島縣勝浦郡福原村大字旭九十一番屋敷山部榮藏外三十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一四號
同上 德島縣名東郡南井上村花園四百六十二番地ノ一平民農野口喜右衛門外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一五號
同上 德島縣勝浦郡高鉾村大字正木字安后四十四番地平民農長岡宇一郎外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一六號
同上 德島縣勝浦郡多家良村大字飯谷二百四十四番屋敷ノ一平民公吏竹内祐一外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一七號
同上 德島縣勝浦郡小松島町大字田野字本村六十一番地三木金作外百三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一八號
同上 德島縣那賀郡富岡町大字富岡一番屋敷平民農吹田儀平外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四一九號
同上 德島縣那賀郡中野島村大字横見村長岡五十五番米澤弘外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二〇號
同上 德島縣那賀郡加茂谷村大字加茂十一番屋敷平民農長町直太郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四二一號
同上 德島縣那賀郡見能林村大字才見字石橋十六番地平民農土居薫外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二二號
同上 德島縣那賀郡寶田村大字金中中字ヤシキ二十六番地美馬進吾外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二三號
同上 德島縣那賀郡羽ノ浦村大字中庄二百七番屋敷平民農業岡本茂三郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二四號
同上 德島縣那賀郡相生村大字相名七番屋敷平民農平岡新藏外十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二五號
同上 德島縣那賀郡橘町字東中濱百十八番地平民商系林準一外四十二名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二六號
同上 德島縣那賀郡今津村大字敷地十四番屋敷吉川綾吉外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二七號
同上 德島縣那賀郡桑野村大字阿瀬比字前田十一番地平民農宮崎寛太郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二八號
同上 德島縣那賀郡鷺敷町大字小仁字十五番屋敷農元木彌三郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四二九號
同上 德島縣那賀郡平島村大字三栗十九番屋敷武田伴太郎外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四三〇號
同上 德島縣那賀郡日野谷村大字大久保三十九番屋敷本田敷太郎外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四三一號
同上 德島縣那賀郡宮濱村大字小濱小濱三百十五番屋敷平民農越野芳行外二十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四三二號
同上 德島縣那賀郡福井村大字下福井字中連九十二番地平民農岩淺健二外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四三三號
同上 德島縣那賀郡長生村大字本庄四十八番屋敷平民農村崎半次郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四三四號
同上 德島縣那賀郡立江町大字立江字玉田二十七番地平民農石九伸二外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四三五號

同上 德島縣那賀郡椿村大字椿字蒲生田百八十番地農棚橋國太郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四三六號

同上 德島縣那賀郡新野村大字豐田五十一番地久米力衛外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四三七號

同上 德島縣那賀郡阪野村大字阪野二百五十四番屋敷平民農淺石恵八外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四三八號

同上 德島縣板野郡撫養町南濱七十四番ノ三地利澤銀藏外百八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四三九號

同上 德島縣板野郡川内村大字大松五十二番屋敷平民農喜田富藏外七十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四〇號

同上 德島縣板野郡御所村大字高尾八十九番屋敷平民農糸田川龜三郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四一號

同上 德島縣板野郡大山村字神宅七番屋敷安藝芳郎外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四二號

同上 德島縣板野郡坂東村大字萩原黒田德太郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四三號

同上 德島縣板野郡松島村大字引野下齒桑尾三十二番地影山龜三郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四四號

同上 德島縣板野郡北灘村大字大浦村四十二番屋敷農岸本多一外三十七名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四五號

同上 德島縣板野郡瀬戸村堂浦二百五十三番屋敷秋田常之進外二十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四六號

同上 德島縣名西郡高原村大字高原四百十番屋敷高瀬庄五郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四七號

同上 德島縣名西郡高川原村大字加茂野六十六番屋敷平民農土肥元吉外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四八號

同上 德島縣名西郡高志村大字瀬部百五番屋敷士族農井上嘉次郎外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四四九號

同上 德島縣名西郡入田村入田字春日二百十番地ノ一平民農高橋清左衛門外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五〇號

同上 德島縣海部郡三岐田村木岐浦百三十四番屋敷濱名理作外九十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五一號

同上 德島縣海部郡牟岐村大字河内字にしかわまた二百八十三番地原田早藏外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五二號

同上 德島縣海部郡鞆村大字鞆浦百八十九番屋敷平民公吏柳生重太郎外十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五三號

同上 德島縣海部郡川上村大字小川十一番屋敷平民農業谷崎加太郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五四號

同上 德島縣海部郡西村大字高園字小林百三番屋敷小濱房太郎外三十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五五號

同上 德島縣海部郡日和佐町大字奥河内字本村百三番地平民商喜田藤吉外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五六號

同上 德島縣海部郡赤河内村大字西河内二十四番屋敷平民農芳川與藏外三十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五七號

同上 德島縣海部郡奥木頭村大字西字三十番屋敷西澤瀧太郎外二百二十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五八號

同上 德島縣美馬郡里村二十八番屋敷平民農眞鍋儀平外二十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四五九號

同上 德島縣麻植郡木屋平村大字木屋平字森遠百三十八番地天田信一外九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四六〇號

同上 德島縣麻植郡學島村六十三番地平民農金子伊之助外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四六一號

同上 德島縣麻植郡東山村百八十八番屋敷竹田由郎外二十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四六二號

同上 德島縣阿波郡久勝村大字久千田三十九番地平民農坂東愛之助外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四六三號
同上 德島縣阿波郡土成村大字土成字池下百六十三番地村川祐一外六十七名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四六四號
同上 德島縣阿波郡大保村大字上喜東二十三番屋敷松村儀市郎外十七名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四六五號
同上 德島縣美馬郡端山村大字東端山三百七十六番地平民農松尾鶴惠外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四六六號
同上 德島縣美馬郡東祖谷山村七百十六番屋敷關口鶴藏外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四六七號
同上 德島縣美馬郡三島村大字小島三百八十八番地平民農竹田源七外三十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四六八號
同上 德島縣美馬郡脇町大字猪尻二百四十二番屋敷土族公吏香田雄次郎外八十四名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四六九號
同上 德島縣美馬郡口山村字首野六百四十六番地農山田庄市外五十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七〇號
同上 德島縣美馬郡西祖谷山村字德善百十三番地土族農德善正一外三十二名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七一號
同上 德島縣美馬郡半田村大字半田字逢阪百二十二番地大久保龜吉外五十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七二號
同上 德島縣美馬郡貞光町百三十六番屋敷谷熊太郎外六十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七三號
同上 德島縣美馬郡穴吹村大字穴吹百五十二番屋敷平民農佃善吉外四十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七四號
同上 德島縣美馬郡岩倉村大字岩倉二百二番屋敷土族農丹羽嘉五郎外七十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七五號
同上 德島縣美馬郡半平山村八十九番屋敷平民農青山嘉平外十五名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七六號
同上 德島縣美馬郡重清村字合口五番地一平民公吏河野俊夫外二十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)

同 第四七七號
同上 德島縣美馬郡半田與山村字下喜來百三十番地森岡信太郎外三十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七八號
同上 德島縣三好郡山城谷村千二百七十九番屋敷川島規矩馬外八十九名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四七九號
同上 德島縣三好郡三山村大字上名八十五番屋敷平民農華岡嘉治郎外二十名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四八〇號
同上 德島縣德島市下助任町字金池八百二番屋敷平民鈴江廣吉外七十一名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
同 第四八一號
同上 德島縣三好郡三繩村字中西三十三番屋敷坂本和三郎外十八名呈出(紹介議員三木與吉郎君外四名)
本請願ノ要旨ハ米價ノ暴落ハ我カ經濟界ニ鈔カラサル惡影響ヲ與ヘタリ特ニ農業家ノ受ケタル打撃ハ甚大ニシテ貧弱ナル農民ノ困憊ハ實ニ意想外ニ在リ依テ此等窮境ニ在ル農民ヲ救済スル爲適當ナル方法ヲ講シ以テ米價ノ恆久的調節ヲ圖ラレタト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十三號

請願文書表第三二六號

癘兵傷病兵及遺族優遇ニ關スル請願 東京府北豐島郡巢鴨町上駒込八百五十二番地土族無職野村信成外一名呈出(紹介議員齋藤宇一郎君)
右請願ノ要旨ハ傷病軍人並其ノ遺族保護ノ不完ハ國民士氣ノ消長ニ大ナル關係アリ依テ窮境ニ沈淪シ不安ノ生活ヲ爲シツアル是等ノ者ニ對シ(一)癘兵ノ治療ヲ容易ナラシメ(二)增加恩給並遺族扶助料ヲ増額支給セラレ(三)死亡癘兵ハ靖國神社ニ合祀セラレ(四)軍人恩給法第九條第五項第六項ニ該當スル者ニモ汽車汽船無賃乘行並遺族ニ靖國神社大祭ノ際ハ無賃乘行ヲ許可シ(五)衆議院議員選舉權ヲ附與シ(六)生活ヲ容易ナラシムル爲適當ノ方法ヲ講究セラレ以テ癘兵傷病兵及其ノ遺族ヲ優遇セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ右要旨中第五項ヲ除キ他ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十四號

請願文書表第八四二號

姫路城西ノ丸保存ノ請願 兵庫縣姫路市龜井町十番屋敷平民無職業大森與三外三十九名呈出(紹介議員丸山芳介君外八名)
右請願ノ要旨ハ姫路城ハ今ヲ距ル五百八十餘年前ノ築造ニ係リ規模ノ宏大ナル輪奐ノ莊美ナル蓋現時稀ニ見ル所ナリ先ニ明治四十四年國費九萬圓ヲ投シテ之ニ修繕ヲ加ヘラレタルモ該城ニ付歴史上重要部タル西ノ丸ノ一區域ニ及ハサリシハ甚大

遺憾ナリ殊ニ西ノ丸ノ一隅櫓ノ直下ニハ現ニ步兵第十聯隊ノ講堂及銃工場アルニ拘ラス近時漸ク荒廢シ危險少シトモス依テ之ニ適當ノ補修ヲ加ヘラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十六號

請願文書表第六〇七號

乃美尾村ニ郵便電信局設置ノ請願 廣島縣賀茂郡乃美尾村長國近盛外一名呈出(紹介議員有田溫三君)

右請願ノ要旨ハ廣島縣下賀茂郡乃美尾村ニ郵便電信局アルモ黑瀬組合ニハ其ノ之ヲ爲右ノ箇村ノ人民ハ少クモ二里ヲ出テサレハ其ノ用務ヲ辨スル能ハスシテ其ノ不便甚シ依テ同組合内特ニ其ノ中央ニ位シ商業盛ニシテ從テ電信郵便物ノ集配多ク且便利ナル乃美尾村ニ郵便電信局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十七號

請願文書表第六二三號

鏡石村ニ郵便局設置ノ請願 福島縣岩瀨郡鏡石村大字成田字宿屋敷四番地平民農園谷野治呈出(紹介議員鈴木寅彦君外一名)

右請願ノ要旨ハ福島縣岩瀨郡鏡石村ハ東北鐵道線ノ沿道ニシテ岩瀨郡ノ南端ニ位シ鏡石停車場ヲ有シ運輸交通ノ便多大ニシテ郵便事務饒多ナルニ拘ラス通信機關タル郵便局ノ設置ナキハ關係村民ノ不便不利甚シ依テ鏡石村ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十八號

請願文書表第六五四號

木田村ニ郵便局設置ノ請願 島根縣那賀郡木田村長佐々岡延藏呈出(紹介議員三浦倫吉君)

右請願ノ要旨ハ島根縣那賀郡木田村ハ直接國稅納付額ノ多大ナルコト全郡ノ第一ニ位シ郵便物ノ集散饒多ナルニ拘ラス其ノ管轄郵便局タル今市局ト邑智郡ノ市山日貫ノ二局或那賀郡跡市局トハ其ノ距離僅數里ニ過キサルニ直接遞送ノ便ナキ爲常ニ郵便物ノ遲延ヲ免レシメ其ノ不便甚シ依テ邑智郡市木局ヨリ前記跡市局ハ新線路ヲ開クカ又ハ今市局ヨリ市山局ハ新線路ヲ設クルカ孰レニシテモ木田村ニ一郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第七十九號

請願文書表第七八一號

下之川村ニ三等郵便局設置ノ請願 三重縣一志郡下之川村長土方近太郎呈出(紹介議員小林嘉平治君)

右請願ノ要旨ハ三重縣一志郡下之川村ハ山嶽周圍ヲ鎖シ何レニ至ラムトスルニモ一里餘ノ坂路アリテ交通頗ル不便ナリシモ郡道開設以來交通便利トナリ下之川村產業組合設置以來木材炭炭其ノ他ノ貨物ノ輸出入一層頻繁トナレリ從テ郵便物發受數近時頗ル増加シタルニ拘ラス管轄郵便局トハ二里餘ノ坂路ヲ隔テ關係村民ノ不便不利甚シキモノアリ依テ隣村竹原村大字八手俣村ヲ管轄スル三等郵便局ヲ前記下之川村ニ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十號

請願文書表第七八三號

中名田村ニ郵便局設置ノ請願 福井縣遠敷郡中名田村長中西宗兵衛呈出(紹介議員山口嘉七君)

右請願ノ要旨ハ福井縣遠敷郡中名田村ハ一村舉ケテ製紙業ニ從事シ之カ原料買入及製造販賣ニ關シ全國各地ト通信往復頻繁ナルノミナラス輒近勤儉貯蓄ヲ獎勵シツツアルモ之カ取扱所ナク隣接小濱、久坂郵便局トハ二里若ハ三里餘ノ距離アリテ關係村民ノ不便不利甚シ依テ前記中名田村ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十一號

請願文書表第七八四號

谷頭驛ニ郵便局設置ノ請願 宮崎縣北諸縣郡山田村長吉川正義呈出(紹介議員肥田景之君)

右請願ノ要旨ハ宮崎縣北諸縣郡山田、庄内、志和池三箇村ノ境界點ニ位セル谷頭驛ハ農林產物豐富ニシテ驛驛ノ如キハ常ニ郡内ノ首位ヲ占ム從テ同驛ヲ中心トスル商取引又ハ事業ノ爲來往スル者年ト共ニ頻繁ヲ加ヘ來ルニ拘ラス管轄郵便局ヨリノ集配ハ日ニ一回ニシテ機敏ヲ要スル事業家ノ堪フル所ニアラス依テ前記谷頭驛ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十二號

請願文書表第八〇〇號

菅生村ニ郵便局設置ノ請願 岡山縣阿哲郡菅生村長分部虎治郎呈出(紹介議員西村丹治郎君)

右請願ノ要旨ハ岡山縣阿哲郡菅生村ハ四面山嶽ヲ廻ラシ方二里餘ノ面積ト千八百ノ人口ト有シ殊ニ近時該村產物タル木材薪炭畜牛ノ販路廣マルニ及ヒ通信機關ノ必要ヲ感スルコト痛切ナルモアリ然ルニ所管郵便局ニ到ルニハ數里ノ距離アリ

テ普通郵便物ノ如キハ二日乃至四日後ニ漸ク到達スルノ状態ニシテ村民ノ不利不便謂フヘカラス依テ管生村ニ郵便局ヲ設置アリタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十三號

請願文書表第八一八號
東仙道村ニ集配郵便局設置ノ請願 島根縣美濃郡東仙道村平民農寺井愛吉外二百十三名呈出(紹介議員三浦倫吉君)

右請願ノ要旨ハ島根縣美濃郡東仙道村ハ五大字ヨリ成リ戸數五百八十二口二千五百有餘農商業年ト共ニ發展シ郵便物輻輳ノ氣運ヲ呈セリト雖隣接郵便局ニハ二里半ヲ隔テ不便不利抄カラサルモノアルヲ以テ前記東仙道村ニ集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十四號

請願文書表第八一九號
二川村ニ集配郵便局設置ノ請願 島根縣美濃郡二川村大字宇津川平民農河野升太外二百九十五名呈出(紹介議員三浦倫吉君)

右請願ノ要旨ハ島根縣美濃郡二川村ハ宇津川及板井川ノ二大字ヨリ成リ戸數三百餘人口四百餘面積東西三里南北四里アリ宇津川ノ如キハ舊高千石ト稱セラレシ土地廣濶ノ村落ナリ然レニ隣接郵便局ハ最近ノ場所ニシテ一里二十丁遠キハ四里餘アリテ不便不利抄カラサルモノナラス隣接村落ニモ利便ヲ與フルモノナルヲ以テ速ニ前記二川村ニ集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十五號

請願文書表第八二一號
三ツ木村ニ無集配郵便局設置ノ請願 東京府北多摩郡三ツ木村六百三十番地平民商比留間安右衛門呈出(紹介議員高木正年君)

右請願ノ要旨ハ東京府北多摩郡三ツ木村ハ人口二千餘附近村落亦就レモ人口二千以上有スル大村ニシテ幾多重要ノ物産ヲ生スルヲ拘ラス通信機關ヲ缺キ農工業ノ發展ヲ阻害スルコト甚シキノミカ關係村民ノ不利不便頗ル大ナリ依テ前記三ツ木村ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十六號

請願文書表第八二八號
田幸村鹽町ニ郵便局設置ノ請願 廣島縣雙三郡神杉村長駒澤丈外二名呈出(紹介議員廣山金太郎君外二名)

右請願ノ要旨ハ廣島縣雙三郡和田村田幸村神杉村ハ近來生産上實ニ視ルヘキモ

ノアリト雖郵便局遠隔ノ地ニアリテ之カ販賣輸送ニ關スル通信ノ機ヲ失シテ努力ノ效空シカラムトス例セハ隣接三員阪郵便局ニ早納投函シタル書狀カ其ノ區域内ノ受信人ニ翌日夕刻到著スルカ如キ有様ニテ其ノ他電信及新聞雜誌購讀ノ不便又勞銀預入ニ關シテハ其ノ機關ナキ爲メ之ヲ浪費シテ不時ニ備フルコトヲ爲サス爲ニ產業ノ獎勵モ徒勞ニ歸セムトシ村民ノ不便甚シキヲ以テ前掲三村ノ中央ニ位スル田幸村鹽町ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十七號

請願文書表第八三九號
下大野村ニ三等郵便局設置ノ請願 秋田縣北秋田郡下大野村長高橋長四郎呈出(紹介議員井上廣居君外一名)

右請願ノ要旨ハ秋田縣北秋田郡下大野村ハ郡ノ西方ニツ井町ヨリ米内澤町ニ通スル縣道約六里ノ中央ニ位シ戸數三百其ノ中心部落タル木戸石ハ一年一繁榮ニ起キ殊ニ養蠶業ノ發達顯著ニシテ生絲及繭仲買業者ノ出入頻繁ヲ極メ各部落物産ノ集散地ナルノミナラス從來隣接李佐局ヲ最近トスルモ春季消雪及梅雨等ノ期間ハ洪水多ク爲ニ通信不能ヲ來シ其ノ不便謂フヘカラスアルモノアリ依テ前記大野村ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第八十八號

請願文書表第八六二號
大濱村宮前ニ郵便局設置ノ請願 廣島縣御調郡大濱村長河野勇呈出(紹介議員花井卓藏君外二名)

右請願ノ要旨ハ廣島縣御調郡大濱村ハ尾道市及本郡三原町ヲ距ルコト海上七哩餘ノ孤島タル因島ノ東北部ニ位シ道路險惡ニシテ交通頗ル不便ナリ加フルニ該村民ハ主トシテ海員及農業ニ從事シ且該村ハ通商航海ノ要路ニ當ルヲ以テ該村宇宮前ニ無集配郵便局ヲ設置シ郵便事務並爲替貯金事務開始ト同時ニ電話機裝置ノ電信事務ヲモ開始セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十號

請願文書表第七八八號
耳村佐柿ニ區裁判所出張所設置ノ請願 福井縣三方郡耳村興道寺第四十一號二十番地平民農中瀬宗太郎外五名呈出(紹介議員山口嘉七君)

右請願ノ要旨ハ福井縣三方郡下敦賀區裁判所三方出張所(登記所)ハ郡ノ西部ニ偏在スルノミナラス唯其ノ一箇所アルノミナルヲ以テ其ノ東部地方ヨリ數里ノ距離アリテ關係村民ノ不便不利甚大ナリ依テ同郡ノ内南西鄉村耳村及山東村ヲ管轄區域トスル區裁判所出張所ヲ耳村佐柿ニ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十一號

請願文書表第七九〇號

脇町區裁判所白地出張所設置ノ請願 德島縣三好郡佐馬地村助役川原長吉外一名呈出(紹介議員大久保弁太郎君)

右請願ノ要旨ハ德島縣三好郡佐馬地村大字白地ニアリシ脇町區裁判所出張所ハ大正三年六月廢止セラレタルモ該出張所所在地方ハ土地廣クシテ人口多ク登記事件數亦從テ夥カラサルニ所管池田出張所ニ到ルニハ數里ノ距離アリテ關係人民ノ不便大ナルヲ以テ佐馬地三繩兩村ヲ管區トシ佐馬地村大字白地ニ脇町區裁判所白地出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十二號

請願文書表第八二四號

下城井村安武ニ登記所設置ノ請願 福岡縣築上郡下城井村長松尾東作外一名呈出(紹介議員藏内次郎作君)

右請願ノ要旨ハ福岡縣築上郡上、下城井村ハ管轄椎田登記所トノ距離遠隔ニシテ一般當事者ノ不便トスル所ナルヲ以テ是等遠隔村落ノ中央ニ位セル前記下城井村安武ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十三號

請願文書表第八四四號

上湧別村ニ登記所設置ノ請願 北海道紋別郡上湧別村平民農業渡邊寛外八百三十八名呈出(紹介議員小池仁郎君)

右請願ノ要旨ハ北海道北見國紋別郡上湧別村ハ近年長足ノ進歩ヲ遂ケ今ヤ登記件數甚多ク所轄登記所迄ハ最近距離尙八里最遠キハ二十六里ヲ隔テ不便甚シ依テ前記上湧別村ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第九十四號

請願文書表第八六一號

東旭川村ニ區裁判所出張所設置ノ請願 北海道上川郡東旭川村百六十番地平民商萱津琴二外十九名呈出(紹介議員小池仁郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ北海道上川郡東旭川村ニハ登記事務ヲ取扱フヘキ區裁判所出張所ノナキ爲同村民並僚村民一般ノ苦痛甚大ナルモノアルヲ以テ前東旭川村ニ旭川區裁判所出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百六號

請願文書表第八五〇號

黑澤尻町ニ區裁判所新設ノ請願 巖手縣和賀郡黑澤尻町大字町分二百六十四番戶平民商伊藤治郎助外二十九名呈出(紹介議員柵瀬軍之佐君)

右請願ノ要旨ハ巖手縣和賀郡黑澤尻町ハ盛岡一ノ關ノ中央ニ位シ水澤花卷間ニ介在スル交通樞軸ノ地ナルヲ以テ該地ニ區裁判所ヲ設置スルニ於テハ水澤及花卷二區裁判所復舊ト等シク關係地方民ノ利便大ナルヲ以テ前記黑澤尻ニ區裁判所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百七號

請願文書表第七八六號

小學校教員俸給國庫支辨ニ關スル請願 茨城縣久慈郡下小川村長神長兵十郎外二十六名呈出(紹介議員大津淳一郎君)

右請願ノ要旨ハ教育費ハ町村財政歲出中ノ大部ヲ占メ且近時著シク之カ増加セラルヲ以テ其ノ負擔ニ苦ミ居ルノミナラス爲ニ勸業費支出ノ如キハ殆ト不可能ナルノ狀態ニアリ依テ教育費中小學校教員ノ俸給ハ之ヲ國庫ヨリ支辨セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百九號

請願文書表第七九一號

福山今市間輕便鐵道速成ノ請願 島根縣飯石郡吉田村大字吉田村二千四百七番地平民鑛業田部長右衛門外四百四十名呈出(紹介議員石田幸吉君外一名)

右請願ノ要旨ハ廣島縣下福山町ヨリ三次町ニ入り島根縣飯石郡ヲ縱貫シ簸川郡今市驛ニ出テ同地ニ於テ山陰縱貫鐵道ノ幹線出雲大社鐵道並一畑輕便鐵道ト連絡スヘキ鐵道ハ陰陽線兩道ノ連結上緊要ナルノミナラス山間ノ遠利ヲ收拾シ地方産業ノ發達上幹線及支線ノ營養上最必要ナリ依テ右線路ニ對シ速ニ輕便鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百十號

請願文書表第八〇四號

所子村ニ停車場設置ノ請願 鳥取縣西伯郡所子村長門脇榮一外三名呈出(紹介議員西谷金藏君)

右請願ノ要旨ハ鳥取縣西伯郡所子村ハ山陰線御來屋淀江兩驛ノ中間ニアリテ古來中筋ト稱シ高麗庄內大山ノ諸村落ト相接シ人口稠密農林產豐富ニシテ貨客ノ饒多ナルニモ拘ラス兩驛ノ相距ル殆ト六哩ニ及ビ鐵道運輸ノ便ニ浴スル能ハサルノ

悲境ニアルヲ以テ前記所子村ニ停車場ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百一十一號

請願文書表第八一四號

廣島江津間鐵道速成ノ請願 廣島縣雙三郡三次町長桑原清之進外四十
四名呈出(紹介議員三浦倫吉君)

右請願ノ要旨ハ安藝國廣島市ヲ發シ石見國江津ニ到ル鐵道ハ其ノ沿道地方諸種
ノ産業盛ニシテ之ヲ敷設ノ曉ハ更ニ此ノ天與ノ富源ハ益開拓セラレ國民利福ノ増進
期シテ待ツヘキモノアリ依テ本線路ヲ第一期ニ線上ケ急速工事ニ著手セラレタシト謂
フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百一十二號

請願文書表第八四五號

野上旭川間輕便鐵道速成ノ請願 北海道北見國紋別郡上湧別村平民農
鈴木峰次外八百七十九名呈出(紹介議員小池仁郎君)

右請願ノ要旨ハ北海道北見國野上ヨリ石狩國旭川ニ通スル輕便鐵道ハ北見國海
岸方面ト本道中央部トヲ連絡スルモノニシテ拓殖並軍事上緊要ナリ依テ之ヲ速成
セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百一十三號

請願文書表第八五三號

厚岸網走間鐵道速成ノ請願 北海道網走郡網走町大字北見町中通六丁
目一番地土族商木下詳外十九名呈出(紹介議員小池仁郎君)

右請願ノ要旨ハ北海道厚岸網走間ハ沿道一帯地味豐饒ナル平野ニシテ林產及鑛
產ク一大富源ヲ爲セリ當局夙ニ之ヲ察シ一昨年調査計畫セラレタル所ナレト不幸
未タ起工ノ運ニ至ラス當該沿道ノ不利不便甚大ナルヲ以テ速ニ厚岸網走間ノ鐵道
ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百一十四號

請願文書表第九一二號

阿片賠償價格改正ノ請願 大阪府三島郡福井村大字福井第百八十二番
屋敷平民農二反長音藏外七十七名呈出(紹介議員西田爲之君)

右請願ノ要旨ハ豐粟ノ栽培及阿片ノ採收ハ至難ノ業ナルモ明治四十四年八月内
務省告示第六十三號阿片ニ對スル賠償金交付ノ制ハ其ノ率低ク且含有莫見
比涅百分中ノ五以下ノ場合ニハ之ヲ無償燒却セラルルノ定メナリ右ノ當業者ノ收益
ニ大打撃ヲ與フルノミナラス近時阿片製造ニ伴フ副產物ノ價格暴落シタル爲政府獎

勵ノ結果當ニ全國ニ普及セムトスル豐粟ノ栽培及阿片ノ採收ハ復々衰頹ヲ來スノ虞
ナキニアラス依テ當業者ヲシテ相當ノ收益ヲ爲サシメ以テ斯業ヲ獎勵スル爲從來ノ
賠償金率ヲ引上ケ阿片百分中其兒比涅含量一分未滿ヲ金二圓トシ其ノ以上莫
兒比涅含量一分ヲ増ス毎ニ金一圓ヲ加フルコトニ改正セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第百一十五號

請願文書表第一三五五號

阿武隈川改修速成ノ請願 宮城縣柴田郡船岡村長水戸熊藏外三名呈出
(紹介議員村松龜一郎君)

右請願ノ要旨ハ阿武隈川ハ其ノ氾濫屢ニシテ沿岸ノ被害甚シ故ニ流域住民ノ悲
境ヲ救ヘムカ爲速ニ根本的治水ノ策ヲ立テ該川ノ改修ヲ完成セラレタシト謂フニ在
リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百一十六號

請願文書表第八〇八號

阿武隈川ヲ河川法第一期川ニ編入ノ請願 宮城縣名取郡岩沼町長高橋
養吉外七名呈出(紹介議員村松龜一郎君)

右請願ノ要旨ハ阿武隈川ハ其ノ氾濫屢ニシテ沿岸ノ被害甚シ故ニ流域住民ノ悲
境ヲ救ヘムカ爲該河川ヲ河川法第一期川ニ編入セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第百一十七號

請願文書表第六五七號

七尾港修築ノ請願 石川縣七尾町七尾商工會頭湯川溫之呈出(紹介議員
員室木彌次郎君)

右請願ノ要旨ハ能登國七尾港ハ輸出入年額千二百萬圓ヲ算シ港灣トシテ亦優良
ナル實質ヲ有スト雖其ノ設備未タ完カラサルハ北日本ノ交通並産業上頗ル遺憾ト
ス依テ速ニ七尾港ノ修築ヲ實施セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百一十八號

請願文書表第八九四號

留萌港修築速成ノ請願 北海道旭川區五條通十丁目左十號土族公吏市
來源一郎外五百六十三名呈出(紹介議員金子元三郎君外三名)

右請願ノ要旨ハ北海道留萌港ノ修築ハ明治四十三年度以降十二箇年ノ繼續事
業ナルモ未タ僅ニ南防波堤五百七十尺ノ築設ヲ見タルノミ其ノ工程ノ遲遅タルハ
本道拓殖上遺憾トスル所ニシテ殊ニ近時該地方産業發展ノ情勢ハ本港修築速成

ノ必要ヲ感セシムルコト益切ナルモノアリ依テ留萌港修築ノ既定年限ヲ短縮シ速ニ之ヲ完成セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百十九號
請願文書表第一三二七號

北海道札幌區内豐平橋架設ノ請願 北海道石狩國札幌區南七條西一丁目十三番地平民農大久保元義外百九十二名呈出(紹介議員中西六三郎君)

右請願ノ要旨ハ北海道石狩國札幌區所在豐平橋ハ先年出水ノ爲墜落シ爾後假橋ノ架設ヲ見タルモ該假橋ハ國道筋ヨリ下流ニ在ルヲ以テ人馬ノ往來ニ不便尠カラズ依テ速ニ前記豐平橋ノ本橋ヲ架設セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十一號
請願文書表第八七六號

軍人恩給法中改正ノ請願 德島縣美馬郡東祖谷山村字大枝二百二十五番地平民農故陸軍步兵曹長細川長清實父細川達藏呈出(紹介議員佐々木安五郎君)

右請願ノ要旨ハ軍人恩給法ニ依レハ軍人ノ死没扶助料ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ其ノ軍人現役中ヨリ引續キ同一戸籍内ニ在ルヲ要スルモノナルヲ以テ其ノ死没軍人ニシテ單身戸主ナル場合ニ於テハ實父母其ノ他遺族ノ在ルアリト雖其ノ扶助料ヲ受クル能ハサルノ悲境ニ在リ右ハ死没軍人ヲ遇スル所以ニ非サルヲ以テ軍人恩給法第三十一條一二孤兒ナキトキハ死没者ノ實父母ニ給スル一項ヲ加ヘ本法ハ日露戰役當時ノ死没者ニモ適用スルノ規定ヲ設ケ以テ單身戸主遺族ニ扶助料ヲ支給セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十四號
請願文書表第八六三號

岡山岡部二三等郵便局設置ノ請願 福島縣信夫郡岡山村長和合庄吉呈出(紹介議員長澤倉吉君)

右請願ノ要旨ハ福島縣信夫郡岡山村ハ同縣福島市ヲ距ルコト東北里餘ノ地ニ在リテ該地方ハ蠶絲業發達シ貨物ノ集散夥シ殊ニ岡村大字岡部ハ自然的ニ市街地ヲ形成シ人馬ノ通行頻繁ナルヲ拘ラス通信機關ノ設ナキヲ以テ關係人民ノ不便甚シ依テ前記岡山村岡部二三等郵便局ヲ設置セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十五號
請願文書表第八六四號

山田郵便局ニ集配事務開始ノ請願 岡山縣吉備郡山田村長福田亮外二名呈出(紹介議員西村丹治郎君)

右請願ノ要旨ハ岡山縣吉備郡山田村外二村ハ境域相接シ戸數千三百地價二十有方圓ヲ有スル村ニシテ交通ノ衝ニ當リ商工業甚々盛ニシテ郵便事務繁多ナリ然ルニ明治十二年一旦集配局ヲ設置シタルニ拘ラス中頃之ヲ廢止シ明治四十四年山田郵便局ノ再興ヲ見タルモ無集配局ナルヲ以テ關係二箇村民ノ不利不便甚シ依テ曩日ノ如ク前記山田郵便局ニ集配事務ヲ開始セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十六號
請願文書表第八六八號

坂部村ニ郵便局設置ノ請願 靜岡縣榛原郡坂部村長福代國太郎外十三名呈出(紹介議員加藤定吉君)

右請願ノ要旨ハ靜岡縣榛原郡坂部村ハ郡ノ中央ニ位シ交通ノ要路ニ衝リ産業發達シ通信機關ノ設備ヲ必要トス然ルニ管轄局タル靜波郵便局ハ遠隔ノ地ニシテ加フルニ山嶽其ノ間ニ介在シ其ノ不便甚シ依テ前記坂部村ニ郵便局ヲ設置セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十七號
請願文書表第八七八號

仁萬村郵便電信局設置ノ請願 島根縣瀨戶郡仁萬村長植地郡次郎外三十四名呈出(紹介議員原本大三郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ島根縣瀨戶郡仁萬村ハ西ハ溫泉津町、南ハ大森町ニ連接シ四通八達ノ樞軸ニ當リ加フルニ本年十二月迄ニハ山陰西線ノ開通ヲ見ルヲ以テ明年度ヨリ該地ニ郵便電信局ヲ設置シ通信機關ノ完備ヲ計ラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十八號
請願文書表第一三五四號

中村ニ無集配郵便局設置ノ請願 千葉縣君津郡中村長佐藤幸太郎外四名呈出(紹介議員鈴木久次郎君)

右請願ノ要旨ハ千葉縣君津郡中村ハ人口三千農工商業共ニ殷盛ニシテ民力ノ富裕ト交通ノ頻繁ナルヲ見ス從テ郵便物ノ發受數多クシテ他ノ二箇村ト匹敵スルノ状態ニ在リ然ルニ所轄郵便局ハ其ノ距離一里有餘ニシテ村民ノ不利不便甚シ依テ前記中村ニ無集配郵便局ヲ設置セラシメト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第百二十九號
請願文書表第一三六九號

五ヶ莊村ニ無集配郵便局設置ノ請願 京都府船井郡五ヶ莊村大字田原小字和田前四十三番地平民公吏山田喜代藏外六十五名呈出(紹介議員野尻岩次郎君)

右請願ノ要旨ハ京都府船井郡五ヶ莊村ハ農村ナルモ商家比較的多ク且北桑田郡ニ通スル要衝ニ當リ郵便事務亦從テ繁多ナルニ所轄殿田郵便局ニ到ルニハ二里餘アリテ村民ノ不利不便尠少ナラス依テ前記五ヶ莊村ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十三號

請願文書表第八七七號

木造町ハ區裁判所設置ノ請願 青森縣西津輕郡木造町字千代町二十番地平民會社員市田忠八外十五名呈出(紹介議員菊池良一君)

右請願ノ要旨ハ青森縣下西北兩津輕郡ハ岩木川ヲ流域トセル兩岸數十里ノ沃野ニシテ戸數二萬二千二百四十五人口十五萬六千七百六十二ヲ有シ從テ訴訟件數夥シク將來尙増加ノ傾向アリ然ルニ前記二郡ヲ管轄區域トスル元祿澤區裁判所及川原區裁判所ハ大正二年四月夫々弘前及青森兩區裁判所ニ併合セラレタルヲ以テ交通機關ノ發達セサル該地ニ於テハ殊ニ不利不便ナルノミナラス勞費増加ノ爲權利ノ保全及伸張ヲ阻害セラルコト甚大ナリ依テ兩郡ニ於ケル中央樞要ノ木造町ニ區裁判所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十四號

請願文書表第一二六七號

入野村ニ登記所設置ノ請願 佐賀縣東松浦郡入野村長坂口政敬呈出(紹介議員林毅陸君外二名)

右請願ノ要旨ハ佐賀縣東松浦郡入野村ハ八千餘ノ人口土地反別二千二百町步ニ亙ル廣大ナル面積ト有シ近時殖産興業ノ發展ニ伴ヒ登記事件亦年年増加シ來ルモ未タ登記所ノ設置ナク所轄有浦出張所ニ至ルニハ遠キハ四里ノ距離ヲ有シ且道路險惡ニシテ村民一般ノ不便甚シ依テ前記入野村ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十五號

請願文書表第一二六三號

古墳發掘並埋藏物處分ノ請願 大阪府泉北郡高石町大字今在家五百六十五番地土族大阪毎日新聞社長本山彦一呈出(紹介議員相島勘次郎君)

右請願ノ要旨ハ現行法令ニ於テハ古墳ノ發掘ニ關シ其ノ所有者ヲ拘束シ埋藏物ニ關シテモ亦其ノ發見者及所在土地所有者ノ自由處分ヲ許ササルノ結果之カ密掘密賣ノ弊ヲ生ジ以テ調査研究ノ障礙トナルモノ尠カラズ依テ私有地内所在ノ古墳ヲ買上ルカ又ハ其ノ發掘ヲ所有者ノ自由ヲラシメ埋藏物モ私人ノ所有タルヲ得セシムルノ趣旨ヲ以テ現行法令ヲ改正セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十七號

請願文書表第一二五六號

專門學校入學者檢定規定ノ實施方法改正ノ請願 東京府東京市牛込區通寺町十四番地平民雜誌日本一主幹高橋都素武呈出(紹介議員小山松壽君外二名)

右請願ノ要旨ハ現行專門學校入學者檢定規定ハ一時ニ中學全科ヲ試驗スルヲ以テ受験者ノ負擔過重ニ失シ爲ニ苦學生唯一ノ進路タル該規定ノ趣旨ハ達セラレサルニ至ル依テ速ニ其ノ實施方法ヲ改メ或一定期間内ニ該科程ヲ分割試驗スルノ制ヲ採ラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百十九號

請願文書表第八九三號

天鹽沿岸線鐵道敷設ノ請願 北海道苫前郡苫前村大字苫前村二十二番地平民商海淵甚介外四百三十五名呈出(紹介議員金子元三郎君外三名)

右請願ノ要旨ハ北海道天鹽沿岸地方ハ交通機關不備ナル爲產物豐富ナルモ開發ノ功ヲ舉クル能ハス移民ノ招徠亦困難ニシテ是レ北海道拓殖上甚大遺憾トスル所ナル殊ニ留萌築港完成ノ曉ニハ該地方鐵道ノ必要益痛切ナルモノアルヲ以テ當局ニ於テモ既ニ其ノ議アルヤニ聞ク依テ天鹽國留萌港ヨリ留萌苫前天鹽ノ三郡ヲ經テ北見國稚內ニ至ル沿岸線鐵道ヲ速ニ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第四百五十號

請願文書表第一一六八號

壽都黑松内間鐵道敷設ノ請願 北海道壽都郡壽都町大字渡島町四十三番地平民庶業佐藤庄吉外二百一十六名呈出(紹介議員佐藤榮右衛門君外二名)

右請願ノ要旨ハ北海道壽都郡外三郡ノ地ハ海陸ノ產物ニ富ムモ鐵道ニ依ル運輸ノ便ナキヲ以テ既ニ貴衆兩議院ハ屢請願シテ採擇ヲ得鐵道院亦實地踏査ヲ爲ス所アリ殊ニ本線鐵道ハ近距離ニシテ工事亦容易ナルヲ以テ速ニ壽都黑松内間ノ鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百一十一號

請願文書表第一一六九號

請願 北海通都郡都郡町大字渡島町
膽振線紋鑑黑松内間鐵道敷設ノ請願
四十三番地平民庶業佐藤庄吉外二百十六名呈出(紹介議員佐藤榮右衛門君外二名)

右請願ノ要旨ハ函館小樽間ノ要衝タル黑松内ヨリ僅ニ十哩ニ滿タル壽都灣ヲ利用シテ茲ニ海陸運輸ノ便ヲ開カハ紋鑑黑松内間ノ鐵道ハ東西兩海岸ヲ橫斷スル縱貫鐵道トシテ膽振後志兩國ノ開發ニ資シ農商業及軍事交通上ニ於テ裨益スル所多ナルノミナラス本線ノ比較線タル紋鑑俱知安間及紋鑑長萬部間ニ比シ其ノ工事容易ニシテ費用ノ少額ナルハ勿論冬期積雪ノ少キ點ヨリ見ルモ他ノ二線ニ優ルコト歟等ニシテ既ニ本線鐵道ノ敷設ニ付テハ貴衆兩議院ニ請願シテ採擇ヲ得鐵道院亦其ノ實地踏査ヲ爲ス所アリタルモノナルヲ以テ速ニ膽振線紋鑑黑松内間ノ鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第五百一十二號

請願文書表第一一七〇號

千葉縣下勝浦北條間鐵道敷設ノ請願 千葉縣安房郡北條町長中目孝太郎外四十二名呈出(紹介議員小林勝民君外一名)

右請願ノ要旨ハ千葉縣安房郡ハ半島ニシテ交通ノ便ヲ缺クコト甚シク近ク北條線ノ郡内北條町ニ延長セラレトスルアルモ更ニ之ヲ房總線ニ連絡セシメハ地方産業ノ開發ノミナラス國防上ニ裨益スル所大ナルヘキヲ以テ千葉縣北條町ヨリ勝浦ニ至ル鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) 先づ本案ノ此議ニ上ツテ居リマスルモノカラ決シテ、採擇不採擇ヲ極メマス(一括ト呼フ者アリ)此案ト重複スルヤウニ見ユルノハ今マデハ之ヲ本會ニ出サナカッタモノヲ、本會ニ出シタモノト認メテ速記録ニ載セテ政府ヘ回付スルト云フ委員會ノ決議、ツレカラ日程ノ順序ヲ餘リ遅クナラヌヤウニシタイト云フコトモ委員會ノ決議、斯ウツアリマス(異議ナシト呼フ者アリ)此日程ノ順序ノコトニ付テハ希望トシテ之ヲ成ルダケ遅クナラヌヤウニシタイト云フコトヲ、議長ニ御委任下サレバ最モ幸ト思ヒマス(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)ツレデハ希望ト致シテ別ニ決議ハ採リマセヌデ、其精神ヲ此方デ體シテ取扱フコトニ致シマス、ツレカラ採擇ノコトヲ先ツ決シマス、第二十六ヨリ八十三ニ至ル所ノ請願ヲ採擇スルヤ否ヤノ決議ヲ採リマス

〔委員長報告通リ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) ツレデハ委員長報告通リ全部採擇スルコトニ決シマス、第二一請願委員會ノ附帶決議ト云フ意味デ報告セラレタコトニ付テハ……

官報號外

大正五年二月十九日

衆議院議事速記録第二十八號 請願會議

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) ツレデハ御異議ハナイト認メテ、是モ委員長ノ意見通リニ決シマス——次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會
午後四時二分散會

(參照)

金玉均葬儀弔文

吁嗟金玉均君逝ク矣眼ヲ舉レハ暗雲慘愴東洋ノ天地稍ク晦蒙ナラムトス而シテ偉人逝テ還ラス噫天道ハ果シテ是カ非カ

朝鮮ノ地タル由來國貧ウシテ力ヲ弱シト稱ス況ンヤ内ハ乃チ閥族權ヲ專ラニシ橫虐度ナク外ハ強鄰ノ凌壓スル所ナリ財源涸渴シ民ニ生氣ナク國運ノ危殆ナル實ニ旦夕ヲ測ル可カラザントス一大俊傑ノ士起リテ大手腕ヲ施スニアラスンハ其前途亦爲ス可ラザルナリ此時ニ當リ朝鮮國無比ノ人傑ヲ失フ吁天ノ朝鮮國ニ祚セザル何ゾ一此ニ至ルヤ

願ミテ金玉均君ノ事ニ至レバ浩嘆腸裂ケ涙眼血迸リ轉タ大息ニ堪ヘザル者アリ君ノ爛眼ナル朝鮮國ノ疾患既ニ膏肓ニ入ルヲ察シ驟然トシテ奮起シ疾風迅雷ノ間以テ一舉狂瀾ヲ既倒ニ回サントセリ而シテ壯圖一蹟成ラス逃レテ我國ニ在ル殆ンド十年或ハ熱炎天ヲ焦ス孤島ニ竄セラレ或ハ寒風肌ヲ劈サクノ北海ニ鎬セラレ運籌時晦強忍假裝以テ徒ニ時人ノ嘲ケリヲ買ヒ未ダ曾テ一タヒ動ビテ大飛躍ヲ試ミ胸中ノ經綸ヲ施スノ機ニ逢過スル能ハズシテ一堅子ノ手ニ斃レ其死屍ニ怨家ノ爲メニ咎タレタリ何ゾツレ慘ナルヤ況ンヤ君ノ人物性行ハ全然世人ノ爲メニ誤解セラレ棺ヲ蓋フノ今日尙其偉大ナル人物ノ眞價ハ未ダ承認セラレサルニ於テヤ古今薄運ノ士多シト雖ドモ君ノ如キハ絶テ無クシテ僅カニアル所ナリ

然レドモ西人ノ跳踉跋扈ハ稍々東人長夜ノ情眼ヲ覺醒シ來ラントス君カ故國ノ事豈亦前途ニ望ミナシトセシヤ今や閥族驕橫日ニ甚シク庶民ノ怨恨骨ニ徹シ所在黨ヲ樹テ蜂起スルモノレヲ制スル能ハス政綱紊亂シ威信地ニ墜ツ其覆滅決シテ遠キニアラズ此間豈君ノ遺志ヲ承ケ風雲ニ際會シテ撥亂反正ノ功ヲ奏スル英達ノ士輩出セザルナキヲ期セシヤ君ノ志庶幾クハ他日大ニ伸ブル時アラムカ紛々タル時俗ノ毀譽褒貶大丈夫ニ於テ何カアラン早晩偉人ノ眞面目ハ躍々乎トシテ汗青ヲ照スノ日アラムノミ抑モ大丈夫ハ馬革ヲ以テ其屍ヲ裹ムベシ安シク婦女子ノ手ニ死セシヤトハ後漢ノ老雄伏波將軍ノ言ニアラスヤ青々タル山岳ヲ以テ墓碑トナシ漫々タル河海ヲ以テ棺槨トナス是レ寧ロ大丈夫ノ面目ナリ

今ヤ君ノ第二ノ故郷ナル我日本ノ同胞ハ君ガ遠逝ヲ聞テ痛嘆措ク能ハズ乃チ本日ヲ以テ葬儀ヲ營ミ幽靜高雅ノ地綠樹鬱蒼タル處君ガ靈柩ヲ埋葬シテ君ガ雄魂ヲ招迎セントス葬ニ會スル者ハ皆義俠ナル我同胞ナリ君ガ親愛ナル知友ナリ吾人同人ガ君ヲ懷フノ情ハ益々切ナリト雖ドモ温平タル其音容復タ接スル能ハザルヲ奈何セシ噫哀哉庶幾クハ變ケヨ

金氏友人會總代

小林勝民泣血拜草

京城變亂始末

福澤先生 手記

金玉均ハ多年國王ノ信任ヲ得テ事大黨ノ主義ヲ憤リ大ニ爲スコトアラントノ金ニテ

明治十五年修信使朴泳孝ト共ニ日本ニ來リ竊ニ日本政府ニ依頼セントコトヲ謀リタ
レドモ當時政府ノ意ニ投ズルコトヲ得僅ニ其筋ノ厚意ヲ以テ金十七萬圓ヲ横濱正
金銀行ヨリ借用シタルノミナリ十七萬圓ハ以テ國事ニ用フルニ足ラズ依テ明治十六
年初夏ノ頃本國ヨリ二百萬弗外債ノ委任狀(此外債委任狀ヲ竹添公使ハ僞物ナ
リト稱シテ金氏ノ計畫ヲ妨ケタリ)ヲ携ヘテ復日本ニ來リ米國公使ノ内々周旋ヲ以テ
横濱在留人モリスニ託シ米國ニテ外債募集ノ事ヲ企テタレドモ其事成ラズ(第一
銀行ノ濫澤榮一ガ金玉均二十萬乃至二十萬圓ヲ貸サントシタレドモ外務卿井上ノ
旨ヲ得ザルガ爲メ止ミタルモ十七年二月ノ頃ナリ)明治十七年空シク歸國シタ
リ右等ノ事ヲ周旋スル其間ニ日本政府ガ朝鮮ニ對スル政略ヲ窺ヘハ却テ退守ノ主
義ノ如クニ見エ隨テ金玉均ノ舉動一トシテ日本政府ノ意ニ叶フモノナク金玉均朴泳
孝ト云ヘバ其名ヲ聞デモ輕躁浮薄者流ノ如クニ視做シテ外務省ナドヘモ近ヅクヲ得
ズ日本ニテ斯クナレバ在朝鮮ノ日本公使館ニ於テモ亦然リ當時歸京中ナル朝鮮公
使竹添氏ノ如キハ殆ド金朴ト絶交同様に當時在任ノ代理公使島村氏以下公使
館ノ諸官モ亦都テ之ヲ疏外セリ然ルニ金玉均ガ本年歸國シタルハ二月ノコトニシテ
其後注意シテ公使館ノ狀況ヲ察スルニ本年八月九月ノ頃ヨリ少シク様子ノ前ニ異ル
ルコト心ニ發明シテヨリ徐々ニ之ニ近カンコトヲ思ヘリ

井上角五郎ハモト金玉均朴泳孝等ト共ニ朝鮮ニ到リ後其政府ニ備ハレテ漢城旬
報ニ採筆セリ本年春初ヨリ支那人ノヲ非難スルモノ多ク且朝鮮政府ヨリ與フル月
給甚ダ少キヲ以テ一ニハ身體ノ保護又一ニハ活計ノ保護ヲ日本代理公使島村氏ニ
請ヘドモ毫モ聞キ入レズ蓋シ日本人ハ角五郎ヲ以テ金朴ト異人同意ニ見做セシガ故
ナランコトニ於テ角五郎ハ五月京城ヲ出テ歸京セリ此時清佛ノ戰爭漸ク起ラントス
ル狀況アリ七月ニ至リテ世人ハ已ニ其戰爭ノ免カレ可カラザルヲ思ヒシキ外務省ニ
テハ角五郎ニ若干ノ保護金ヲ與ヘテ再渡セシメタリ其主意ハ漢城旬報ヲ支那人ニ
渡サザルニアリ角五郎ガ再渡セシハ八月中旬ニシテ此時島村氏ハ朝鮮政府ト日本公
貿易章程ニ均霑センコトヲ求ムル最中ナリシガ朝鮮ニテ免角之ヲ聞カス時日本公
使館ニテ韓奎稷李祖淵ト親シク日本人ハ日本黨ト稱セシガ未ダ金朴ト親シカラズ然
ルニ角五郎再渡ノ前後ヨリ島村氏ト金朴ト親シク貿易章程ノ談判ニ付テモ其相談ヲ
ナセリ九月中旬日本ヨリ便船アリ其齋ス新聞ニ據レバ支那人ハ國內ニ宣布シテ佛ト戰
フ由ヲ告ゲタリト又北京夢枕ト題スル錦繪及ヒ時事新報ガ記載セシ各國政府ガ支
那ヲ分領スル圖ナツト到著セリ此時朝鮮上下ノ騷動一方ナラズ清佛眞ニ戰ハバ如何
ニセントノ議論アル時島村氏ハ金玉均又ハ韓奎稷ニ内告シテ速ニ支那兵ノ引揚ヲ
支那ニ請フベシト云ヘリ十月初旬ノコトナリケン 閱泳翊ハ或ハ支那人ヲ響應シ或ハ
支那人ト游離シ免角日本人ヲ疎ムニシキ島村氏モ内心甚ダ不平ナル折シモ金玉均
ハ朝鮮官吏及ヒ島村淺山磯林松尾ナドヲ招キ響應スルナド日本公使館ニ向ッテ好
意ヲ表スルコト少ナカラズ是等ノ爲メ島村ガ金玉均ニ對スル交情ハ日ニ深切ヲ加フ
ルモノノ如シ是ヨリ以前ニモ朴泳孝ハ公使館ニ左マテ積座セラレズ度々往來シタルコ
トアリ而シテ朴ト金トノ交ハハ素ヨリ一身同體而シテ今度金ガ公使館ニ出入スルノ
路ヲ開キタルハ獨立黨ノ大幸ナレバ是ヨリ其首領タル朴泳孝金玉均洪英植徐光範
(此外ニ徐載弼ハ年少ク若シト雖モ謀主中ノ一人ナリ)ノ徒ハ豫テノ計畫ニ一歩ヲ
進メ益々深ク島村氏ニ交リ往來頻々タリ或日金玉均ハ從容トシテ島村氏ニ語テ曰
ク方今朝鮮ノ事態ハ貴下ノ目撃セラル、通リ國ノ主權ハ恰モ支那人ニ歸シ我朝鮮
ノ大臣等ハ唯支那人ノ鼻息ヲ窮フノミニシテ自國アルヲ知ラズ又國王アルヲ知ラズ此

際ニ方リ吾々同志ハ死ヲ誓テ國ノ爲メニ爲スアラント欲スレドモ如何ニセン日本政府
ハ支那ヲ恐ルルコト甚ダシク近クハ玉均ガ昨年來貴國滯在中ニモ外務省ヲ始メトシ
テ都テ貴國政府ノ筋ヲ疏外セラレ一毫ノ助ヲ貸サザルノミカ或ハ我事ニ妨害ヲ被リタ
リト云フ可キ程ノ次第ナリ左リトテハ賴甲斐ナキ譯ナレドモ吾々ハ既ニ一死ヲ決シテ
國ノ爲メニスルモノナレバ假令他ノ應接ナキモ其ノ志ヲ變ズベカラザルナドノ意味ニテ懷
慨ト愚痴トヲ交ヘテ語リケレバ島村ハ中ニ元氣ヨク金ヲ慰メ朝鮮ノ改革ハ甚ダ御
同意ナク又日本政府ガ支那ヲ恐レテ朝鮮ノ事ニ手ヲ引クナド云フハ素ヨリナキ事ナリ
日本政府ハ必ズ朝鮮ノ獨立ヲ助クルコトナラン今ニモ君等ガ何カ事ヲ爲サント企テタ
ラバ我等トモ之ヲ餘所ニ見ルモノニ非ズ云々ト語ル其語氣甚ダ活潑ナルヲ見テ金ハ
心ニ之ヲ悅ビ益々同志ト協議ヲ盡シ十月末ノ頃ニ至リテハ島村ノ志ハ確乎不後イヨ
イヨ獨立黨ヲ助クルニ相違ナキモノト認メ漸ク細目ノ密談ニモ及バンストキニ竹
添ノ入京ニ遇フタルコトナリ故ニ竹添ノ將ニ再渡セントスルノ噂ヲ聞キ獨立黨ノ徒ハ
大イニ落膽シ竹添ガ來リテハ例ノ因循退守ニシテ逆モ共ニ大事ヲ謀ルニ足ラズ且金
玉均ハ平生竹添ト永炭相容レザルノ間柄ナレバ非常ノ妨ト爲ルヤモ計ル可ラズ其
次第ヲ金ヨリ島村ニ語リケルニ島村ハ少シモ心配ノ色ナク竹添公使トテ我輩ト意見
ノ異ナルベキニ非ズ且君ト公使ト平生相善カラズト雖モ是ハ私ノ交際ノ事ナラン事ハ
私事ニ異ナリ竹添ガ君ト事ヲ計ルニ何ガ平生ノ私ヲ挾ム事ヲ爲サンヤ毫モ心配ニ及
バザルコトナリトテ笑ッテ語ル其有様ハ專ラ獨立黨ノ者ニ落膽スル勿レト特ニ傍ヨリ力
ヲ添フルモノノ如クナリシ

十月三十日竹添公使ハ日本ヨリ再渡シテ京城ニ入り其十日ハカリ前ニ仙臺ノ鎮臺
兵交代セリ竹添入京ノ翌三十一日ハ少シク不快ノ由ヲ以テ參内ヒズ此日竹添ハ代
理公使島村及ヒ井上角五郎ヲ招キ我政府ハ此度支那ヲ攻ムルニ決シタリ朝鮮ヲシ
テ隙アラバ之ニ乘セント欲シ且其望ヲ得ルガ爲メ四十萬弗ノ償金ヲ還與スルコト
トナレリナド様々ノ談話アリ此事早クモ金朴ノ耳ニ入リシヲ以テ朴ハ即日竹添ヲ公使
館ニ訪ヒシモ會ハズ其翌日十一月一日再訪談國事ニ及ヒ是非日本ノ力ヲ假リテ改
革ヲ行ハントスルノ旨ヲ述ベ竹添モ亦改革ノ必要ナルヲ論ジテ大ニ獎勵スルノ口氣
ナレドモ雙方猶ホ未ダ細目ヲ語ラズシテ去リタリ其ノ午後金玉均モ亦公使館ヲ訪フ
テ竹添ニ面會久々ニテ再會ノ挨拶終リテ金ハ朝鮮ノ國情ヲ述ベ此儘ニ爲シ置ク時ハ
國家ハ次第ニ衰頹シテ支那内附ノ國トナルカ又ハ滅亡シテ跡ナキニ至ルベシト吾々ハ
是非トモ之ヲ其未ダ亡ビザルヲ救ハントスル者ナリ云々ト語リシニ竹添ハ之ヲ聞キ如
何ニモ尤モ至極ナル話ナレドモ其家ノ滅亡ヲ救フニ如何ノ手段アルヤト尋ニ就キ金
ハ談緒ヲ轉ジ左レバ御座ル其手段策略ハ様々ナレドモ凡ソ人ニ事ヲ語リ又謀ルニハ
先ヅ其人ヲ信ズルコト緊要ナリ然ルニ公使貴下ニ於テハ年來玉均ヲ疑フコト甚シ玉
均明カニ之ヲ知レリ苟モ人ニ疑ハレテ其人ニ事ヲ語リ又謀ルニハ參ラズ抑貴下ガ
是マテ玉均ヲ疑フハ何等ノ原因ニシテ何等ノ證據アルヤト憚ル所モナク眞一文字ニ述ベ
ケルニ竹添默シテ答ヘズ稍アリテ曰ク若シ朝鮮ノ國事ニ就キ他國ヨリ之ヲ助クルモノ
アラバ如何ン若シモ然ルトキハ君等ハ如何ニスルヤトコトニ就キ金ハ答ヘテ如何ニモ弊
邦ノ形勢ニ於テ國事ニ著手スルニハ他ノ力ヲ藉ルノ外ナシト存ズレドモ此議ニ付テハ同
志輩ト相談ノ上ナラテハ何トモ申シ難シトマテ告別シタルハ其實金ノ心中竹添ノ
心事ヲ轉ジタルヲ見テ又日本政府ノ政略モ大ニ趣ヲ變ジタルコトナラント察シ喜悅ニ
堪エズト難モ先ヅ我身ノ信用ヲ厚クセント思ヒ又一ツハ竹添ガ餘リ得意ニナリテ輕

隙ニ失スルコトモアランカトノ心配モ少ナカラズ先當日ハ懇ト何等ノ談話モセズシテ別
レタルコトナリ

十二月二日竹添公使參内シテ謁見ノ禮ヲ行ヒ彼ノ償金四十万弗ヲ返スノ公命ヲ
述ベ又村田統十六挺ヲ呈上シ公事罷テ内謁ヲ請ヒ其席ニハ左右拂ハンコトヲ求
メ侍ル者ハ唯李祖淵一名ノミ此席ニテ公使ハ頻リニ支那ノ頼ム足ラザル事ヲ云ヒ
且ツ西洋ノ風ノ吹來タル次第ヲ述ベテ大ニ國王ヲ獨立ニ獎勵スルモノ、如シ(竹添
島村ハ李祖淵韓奎稷ヲ眞ノ日本黨ト思ヒ内謁ノ時モ李一人ヲシテ陪席セシメタリ
又是等ノ人ミテ誤信スルガ爲メニ竹添ノ所謀ハ速ニ朝鮮支那兩國人ニ洩レタリ)此
謁見ノ時閱臺鎗以下諸大臣ハ皆參内金玉均モ亦同様ニテ竹添公使ガ通譯淺山
氏ト御前ニ在ル間ハ隨行ノ島村氏モ次ノ別間ニテ朝鮮ノ諸大臣ト雜居ノコトナレバ
金氏ハ日本語ヲ以テ島村ト談話イヨイヨ事ヲ擧グルノ意ヲ述ベタルニ島村氏ハ之ニ
答ヘテ颯々ト著手スベシ今ニテモ苦シカラズト云ヘリ翌日ハ則チ十一月三日天長節
公使館ニ宴ヲ張リ朝鮮諸大臣中朴泳孝金玉均洪英植徐光範韓奎稷金宏集ヲ招
ク(金宏集ハ竹添ヨリ見レバ支那黨ナレドモ當時署理外衙門督辦ナルガ故ニ之ヲ招
キタリ李祖淵ハ竹添ガ日本政府ノ決意ヲ公言シタル由ヲ聞キシ以來ハ外見ヲ憚リテ
公使館ニ出入セズ故ニ當日招ケドモ來ラズ)但シ公使館ニテハ韓奎稷ヲ信ズル厚クシ
テ尙朴金ノ黨ヲ疑フノ跡アリ斯クテハ奎稷ノ爲メニ事ヲ妨ゲラル、コトアルベシトテ
爾來金朴ハ竊ニ策ヲ運ラシテ奎稷ト公使館トノ交リヲ絶ンコトヲ工夫シテ十一月
旬ニ至テ其策ノ如クナリシハ獨立黨ノ爲メノ幸ナリ若シモ奎稷ニシテ公使館ノ信ヲ得
ルコト舊ノ如クナラシメバ竹添モ或ハ金朴ノ言ヲ用ヒズシテ別ニ方便ヲ述メントセシ
コトナラン

天長節ノ宴ニハ米國公使フット英國領事アストン支那領事陳樹棠並ニモルレンドル
フモ來會セリ酒半ニシテ淺山ハ立テ席上ノ演說ニ朝鮮語ヲ以テ頻リニ支那人ノ卑屈
情弱無廉恥ヲ罵倒シ支那人ハ骨ナクシテ恰モ海鼠ノ如クナリト云ヒナガラ陳樹棠ノ
方ヲ目シケレバ陳樹棠モ淺山ノ陳ル語ヲ悉ク解スルコトハ出來ザレドモ其不愉快ハ顔
色ニ現ハレタリ後ニ或人ニ聞ケバ其席ニテ樹棠ハ骨ナシト云フ骨ノ字ヲ聞キ答メ隣席
ノモルレンドルフニ問フタレドモモルレンドルフモ之ヲ解セズ又アストン尋ネタリアストンハ
之ヲ解スルモ知ラズト答ヘ遂ニ淺山ノ演說ハ十分ニ樹棠ノ耳ニ達セザリシト云フ蓋シ
朝鮮語ニ海鼠ヲ「サイサン」「海參」ト云ヒ骨ヲ「ベト」云フ而シテ此「ベ」音ハ「ベ」ト
「ベ」音間音ニシテ他國人ノ舌ニハ發聲甚ダ易カラザルガ故ニ同席ノ誰レ彼レニモ不通
ナリシトゾ

十一月四日竹添氏ハ外衙門ニ出頭シ貿易章程均霑ノコトヲ談判セシニ外衙門ニ
於テ直チニ之ヲ諾シ超エテ六日ニ及ビ之ヲ調印シ其席上ニテ竹添ハ金允植ニ向ヒ君
ハ兼テ支那黨ノ名アリ且ツ文ヲ能クス故ニ支那ニ移住シテ其内臣タルベシ 必ズ厚祿
ヲ得ラルベシト云ヒ又尹泰駿ニ向ヒ君ハ袁世凱ト親シク實ニ支那人ヲ見ルコト君上
ノ如ク而シテ我君上ヲ忘ル、ガ如シ君ハ袁世凱ニ忠ニシテ本國ニ不忠ナリト云ヒシニ尹
ハ之ヲ咎メ終ニ一爭論ヲ生ゼリ然レドモ人々之ヲ制シテ其場ハ何事モナカリシ是竹添
ガ日本ガ支那ヲ攻ムル覺悟ナリト韓奎稷ニ語リシニ由リ韓ハ之ヲ内々朝鮮官吏ニ通
知セシガ故ニ朝鮮官吏ハ都テ日本ヲ恐ル、ヲ以テ尹泰駿モ、ゾト思フテ姑ク忍ビタ
リ

此夕朴泳孝ノ宅ニ金洪徐ヲ招イテ小集島村氏ヲ招キ金玉均始テ大事ノ企ヲ發言
シタレドモ島村驚カズ其方法ヲ問フ金ハ答テ洪氏ガ郵便局ニ於テ開宴シテ其席ニテ

ト云フハ實ハ洪英植モ初メテ金朴ノ決心ヲ知リテ驚キタルガ如シ金ハ此ノ時モ韓奎
稷ノ信ズベカラザル島村ニ告ケタリ初メ金朴ノ企ハ兩家ノ執レカニシテ宴會ヲ開キ其
席ニテ事ヲ爲サント思ヒ金氏ハ殊更ニ宅ヲ新築シ試ニ其黨類徐載昌ヲシテ宴ヲ張テ
諸大臣ヲ招カシメタルニ到ル者少ナシ依テ案ズルニ此様子ニテハ金氏ニテモ朴氏ニテモ
同様目ザス客ヲ招キ寄スルコトハ難カラント推量シ即チ郵便局ト定メタレドモ洪英植
ハ何分ニモ躊躇シテ決スルヲ得ズ因テ又一策ヲ案ジ暗殺者ヲシテ支那服ヲ著セシメ
先ツ閱臺鎗韓奎稷李祖淵ヲ便宜ノ場所ニ殺シ即チ其罪ヲ閱臺鎗父子ニ付シテ
二人共ニ之ヲ殺サントシタレドモ同黨中ニテ其策ヲ妙ナリトスレドモ巧ニ過ルトテ或ハ
悅バザル者アリ依テ又一策ニ金宏集ガ京畿監司ヨリ督辦ニ轉ジ其後任トシテ王妃ノ
姪ナル沈相幫ガ拜命シタルヲ幸ヒトシテ相幫ヲ勸メ洪英植ノ別荘ヲ借用シテ祝宴ヲ
開カントシテ相談ハ整フタレドモ主人相幫ニ差支アリテ急ニ開宴ノ沙汰ニ及ビ難シ去
リテハ時機後レン如何ハセント甚ダ心配ナリ

十一月初旬ヨリ獨立黨ノ徒ハ頻リニ日本人ト往來シ又其黨類各處ニ密會スル等
甚ダ多事ナリ同月四日朴泳孝ノ宅ニテ集會ノ翌日モ洪英植ハ竹添ノ宅ニ行キ又其
翌日ハ朴泳孝モ同宅ニ往キ何レ何カ事ヲ擧グルノ意ヲ述ベタルニ主人ハ甚ダ同意ナ
ルガ如シ

十一月六日ハ日本ノ招魂祭ニテ日本兵士及ビ在留ノ日本人ヲ南山ニ會シテ角力擊
劍ナドノ遊戲ヲ催シタリ此日招カレタル朝鮮人ハ韓奎稷ノ長子某ト徐載弼以下主
從十四人會主ハ公使竹添ナリ酒宴ノ餘興ニ竹添氏ハ中隊長村上氏ニ所望シ兵士
ヲ雙方ニ分テ赤白兩旗ヲ授ケ白ヲ日本赤ヲ支那ト號シ互ニ之ヲ奪フテ其勝敗ヲ爭
ハシメ赤ノ方敗北スレバ公使ハ大ニ悅ビ是レ吉兆ナリト朝鮮人モ多勢見物ノ中ニ
獨リ雀躍セシ様ハ甚奇ニ見エタリ

又翌日即チ十一月七日金玉均ハ朝鮮ノ善打二名ヲ携ヘテ公使館ニ行ク蓋シ館員
ノ内垣某鈴木某ハ團基ヲ善クス故ニ朝鮮人ト日本人ト技倆ノ巧拙ヲ圖ハシメント
企テ口口實ニシテ公使館ニ往來スルノ跡ヲ瞞著シタルモノナレドモ此日ハ特ニ大切ナ
ル事ヲ語ラズシテ歸ル十一月十日ハ金玉均ノ宅ニテ團基ヲ催シ午後三時ヨリ來集ノ
人々ハ竹添島村小林(仁川領事)第一銀行支店ノ木下通譯淺山鈴木朝鮮人ニハ
徐光範朴齊綱尹致昊ニシテ夜ニ入り又洪英植ヘモ案内シテ來ル

十一月二十日ノ事ナリキ日本兵ハ夜半十二時俄カニ起テ南山ニ登リ對抗運動ヲナ
セリコノ運動ヲナストキハ元來日本公使ヨリ外衙門ニ前知スル告ニシテ且必ズ日中ニ
執行スルノ例ナルニ此度ニ限リ前以テ知ラセナクシテ夜半俄ニ起リ殊ニ十月二十日
竹添公使入京以來ノ言皆外ニ洩レテ朝鮮人支那共ニ猜疑ノ折柄ナレバ翌朝ニ至
リ朝鮮政府ヨリ公使館ニ尋問スルナド騷動一方ナラズ其即或人ガ竹添公使ニ何故
斯ル舉動ニ及ビタルヤト問ヒケレバ唯韓支兵民ガ如何ナル感覺ナルヤヲ試ミタルマデナ
リト答ヘ且ツ云クコノ位ナ事ヲ騷動スル者ナレバ與シ易シトテ甚ダ得意ノ色ナリキ其
後モ獨立黨ノ者ハ公使館ニ往來シテ交際日ニ厚シ十一月二十五(六)日午後一時
頃ヨリ金玉均獨リ公使館ニ行テ竹添公使ニ面會シテ初メ大舉ノ企ヲ打明ケ閑
氏其他ノ大臣ヲ除カントスル、謀ヲ告ケタルニ竹添ハ明カニ之ヲ同意スルノ言ヲ發セ
ズ金ハ固ヨリ必死ヲ期シタルコトナレバ假令萬一公使ノ助ケナキモ我同志輩ノ目
我輩ノ手ヲ以テ之ヲ成ス可シト云ヒ夫レヨリ次第二國事談ニ及ビ金ノ言ニ朝鮮政府
改革ノ上ハ差向キ必要ナルモノハ金圓ナリ竹添貴下ノ周施ヲ以テ辨ズル事アルベシヤ
ト言ヘバ竹添ハ容易ニ之ヲ引受ケ政府ノ改革サヘナレバ資金ハ必ズ辨ズベシ差向ノ

用ニハ朝鮮ニアル金ニモ諸方ノ商人共ヨリ集メテ十餘萬圓ヲ得ベシ唯今ニテモ貸渡
サシ又イヨイヨ大事ニ及ビ日本兵ト支那兵ト相接スル場合ニ臨ミテ假リニ支那兵員
ヲ一千ト積ルモ我ニ中隊ノ兵ヲ以テ北岳據レバ二週間南山ヲ守レバ二箇月ハ支
ベシ云々トテ勇マシキ話ナレドモ公使が果シテ暗殺ノ事ヲ助力スベシト明言セザルガ故
ニ金玉均モ愈々愛ニ契約シタルニアラス唯相互ニ默シテ解スルガ如キ風情ニテ金ハ容
改メ今宵死別カ生別カ幸ニシテ再會スルコトアラントテ訣別シテ去リ復公使館ニ行カ
ズ

翌日金玉均ハ近在ノ別荘ニ行キ其翌日中隊長村上氏ヲ招キテ様々ノ事ヲ談話シ
十一月二十九日京城ニ歸リ翌日朴泳孝ノ宅ニテ集會イヨイヨ大臣暗殺ノ實地談
ニ及ビ其ノ事ニ日本ノ壯士ヲ用ユルヤ否ヤノ問題ニ付キ種々議論ハアリタレドモ先
朝鮮人ノ手ヲ以テシテ日本人ハ最後ニ備フルコトニ決シタリ抑今後ノ一大事ニ付キ
獨立黨ノ一類ガ只管日本公使館ヲ信シテ依賴心ヲ固クシタル由縁ハ十七年八月九日
頃ヨリ日本公使館ノ館員ガ金朴ニ對シテ待遇ノ趣キヲ改メ十月末竹添ヲ再渡以外
日本公使館ハ朝鮮ノ獨立ヲ助ケ支那ヲ攻撃スルノ主義ニシテ廟議一決シタリトノ公言
ニ依リテ之ヲ信セザルヲ得ズ又其内情ヨリ考ヘテモ竹添ナル人物ハ日本ニ左マテ地位
アルニアラス且其性質モ優柔溫順ニシテ如何ノ事情アルモ自ラ奮テ危險ニ當ルベキ人
物ニ非ズ然レニ今度ニ限リテ其言ヲ所行ヲ活潑果斷ニシテ人ノ耳目ヲ驚カサザル
ハナシ此様子ヲ見レバ同氏ガ日本公使館ノ廟議トシテ喋々スルハ決シテ空虛ナラズ廟議
果シテ眞實ノ廟議ナラン日本ニテ外務卿ハ無論大臣參議悉皆同意一致シタルナラ
ントマスマス之ヲ信シテ疑ヲ容レズ一度事ヲ舉ゲレバ日本公使館ニテ後詰ラスルモノナ
リト覺悟シテ手ヲ著ケタルナリ今度獨立黨ニ別除セント欲シテ目指ス所ノ者ハ閔臺
鎬、閔泳翊、閔泳穆趙寧夏韓奎稷李祖淵尹泰駿ノ七名ニシテ朴泳孝金玉均洪
英植徐光範ナドハ兼テ其手順方法ヲ謀リ支那服ニ裝フヲ語リタレドモ是モ面白
カラズ其後洪氏ノ別荘ヲ沈相黨ニ借用セシムルノ企モ時日ヲ延シテ機ニ後ルノ恐ア
リ依テ大臣等ヲ何レニカ集會セシメテ別宮(世子婚儀ノ宮)ニシテ最モ重キ場所ナリ
ニ放火シテ其火事場ニ驅付ケタル處ヲ斬ラントノ策ヲ定メ十一月一日夜十二時頃
金玉均洪英植徐光範ハ公使館ニ行キタルニ竹添ハ面會セズ依テ島村ニ逢ヒ島村ノ
云ニ公使ノ面會セザルハ其心中既ニ決シタルモノアルガ故ナリ心既ニ決シタル上ニテ
又面會スレバ却テ言ヲ費シテ決心ヲ害スルノ憂アリ故ニ今夜公使ガ面會ヲ辭スルハ
即チ其心ノ堅キヲ表スルモノナリ此赴テ拙者ヨリ傳フルナリト申シテ夫ヨリ金、洪、除
ハ別宮放火策ヲ語リ島村モ之ヲ贊成シテ其日限ヲ尋ネケレバ金等ハ慥ニ之ヲ言フ
得ズ何レ當月二十日(十二月七日)前ナリト答ヘ然ラバ其日限確定シタラバ屹ト此
方ヘ報知アレ承知セラレタリト云テ告別十一月七日ハ凡ツ千歲丸入港スベキ日限ニ
シテ金等ノ心ニハ日本廟議ノ變化計リ可ラズ若シ此便船ニテ如何ナル訓令ノ公使
館ニ達シテ館員等ノ運動ヲ妨グルコトモアランカト恐レテ是非トモ入港前ト決シタルナ
リ歸路朴泳孝ノ宅ニ行ケバ同黨壯士十數名ノ會スルアリ依テ策ヲ授ケ別宮放火ハ
來ル四日ト定メ若シ雨天ナラバ火ノ爲ニ不利ナル故ニ翌五日トシテ其手配スルコト
左ノ如シ但壯士ハ皆日本ニ來テ外山學校ヲ卒業シタルモノ等ニシテ屈強ノ武人

閔泳翊 (尹景福)
李祖淵 (申重機)

尹泰駿 (朴三龍)
韓奎稷 (李奎完)

右ノ如ク一名ニ付二八ツノ刺客ヲ配當シ後殿ハ李寅鐘及ヒ李喜員ニテ寅鐘ハ年
長ナル以テ號令放砲ヲ司リ往來探偵通信ハ柳赫魯高永錫

宮内放火ハ金奉均李錫伊
以上十四人

△印ハ實際ニ當テ始終力メタル者
○印ハ別宮ニ放火シタル者

十印ハ別宮ノ放火ナラズシテ他ニ三箇所放火シタル者
金虎門ノ伏兵ニハ申福樓ヲ首トシテ外十三名(後有志壯年ノ馳セ集ルアリテ總勢
四十三名トナル)ニシテ是ハ閔臺鎬閔泳穆趙寧夏ニ當ル者ナリ
前營ノ小隊長李景完ハ素ヨリ獨立黨腹心ノ者ニシテ此夜丁度宮内守護ノ當直ヲ
都合シテ常式ノ如ク兵卒八十名ヲ率井テ大關ニアリ右ノ如ク部署ニシテ日本人ハ四
名殿後ニ備ヘ韓人ノ手ニ仕損ジタラバ必ズ繼ガントノ約束ナリ(日本人四名ノ内一
名ハ陸軍ヨリ出デ一名ハ公使館ヨリ出デ外二名ハ金朴ノ手ヨリ出デタリ)皆十二月
四日宵郵便局ノ開業式ニ盛宴ヲ張リ來賓ハ諸外國公使領事ニ韓廷ノ大臣殘リナ
ク集リタレドモ日本公使館ヲ添ハ病ト稱シテ行カズ島村ヲシテ名代ヲ勸メシム島村モ宴
ニ赴クトキ其護衛巡查ニ戒心ヲ命ジタリ)公使館ニテモ今朝ヨリ様々ノ用意ニ忙ハシ
ク彈藥兵糧ヲ兵營ヨリ取寄セテ午後二ハ兵士モ來集シテ何時ニテモ出兵ニ差支アル
コトナシ扱テ當夜ノ豫算ニハ宴會酒酬ナルトキハ別宮ニ火起ル來會ノ諸大臣中閔泳
翊尹泰駿李祖淵奎稷ハ武臣ナルヲ以テ火事場ニ赴ク其場ニテ之ヲ刺ス閔臺鎬閔
泳穆趙寧夏カ老臣ナルヲ以テ大關ニ參内スルヲ金虎門内ノ伏兵之ヲ刺ス策ニテ且
別宮ノ火起ルト同時ニ日本公使館ヨリ兵士二十名ハカリ金虎門外ニ來ル約アリ
然レニ實際ニ於テ策ヲ組斷シタルハ李圭完始メ四名ノ壯士ガ別宮ニ火ヲ附ケントシ
テ石油ヲ灌イデ火ヲ點ジタレドモ何分ニモ宏大ナル建物ニシテ容易ニ炎上セズ遂ニ火
藥ヲ投ジタレドモ尙無事ナリ石油ヲ試ミル事ニ回火藥ヲ用ユルコトニ回何レモ無効
ナラリ以テ竊カニ郵便局ニ走リ來リ如何ハセント金氏ノ指揮ヲ乞ヒシニ氏ハ正ニ宴席
ニ在リテ飲食笑語ノ最中一寸缺席シテ壯士ニ逢ヒ別宮無効ナラバ唯近傍ノ茅屋ニ
放火セヨト命ジ命ニ從ツテ三箇所ニ火ヲ附ケタルニ一箇所ハ消防方ノ力ヲ直チニ消
留メ唯唯幸ナルハ郵便局ノ裏手ナル一茅屋ノ燃上リタルヨリ宴席忽チ亂レテ杯盤
狼藉戸外モ何カ騒々シキ様子ニテ集客先ヲ爭フテ外ニ出アルトキ眞先ニ驅出シタル
閔泳翊ガ刺サレテ斃ル其跡ノ混亂ハ云ハン方ナシ金朴ノ黨ハ別宮ノ放火無効ニシテ
初メノ策ヲ組斷シタルバ如何ハセント急ニ考ヘ出デズ何ハ扱テ置キ日本ノ公使館ニ行
イテ様子ヲ見ントテ行ケバ則チ館内ニハ巡查其他兵備ノ最中島村モ疾ク歸館門内
ニ金朴ヲ見テ急カニ大關ニ行カザルヤト大音ニテ叱叱スルガ如キ有様ヲ見デ其儘
參内シ國王ニ謁シテ事ノ次第ヲ言上シ二氏ノ考ヘニハ此際日本ノ兵ヲ以テ慶祐宮
桂洞宮ノ要地ヲ守ルヲ利ナリトシテ王ニ說クニ日兵ニ依賴スルノ事ヲ以テ即チ邊
ヲ遣リ同時ニ遷座ヲ勸ムレドモ王妃其他夥多ノ婦人等ガ蝶々啼ク聲ヲ聞クベキ様子
見ヘズ其間ニ宮殿ノ床下ニ火藥ヲ發スルコト一箇所ニシテ其聲サヘ恐シケレバ遷座ノ
義モ速カニ議決シテ先ツ慶祐宮ニ赴カントシテ四門ヲ通過スル其第二門外ニ於テ金
朴ノ思フニ日本公使館ヲ招クニ唯一介ノ邊趨ヲ使者ニシタルハ鄭重ナラズ竹添モ或ハ
命ニ應ズルナカラフ恐レ其趣ヲ言上シ親筆ヲ請ヒシニ王モ尤モノ事ナリト即チ朴
泳孝ハ紙ヲ出シ金玉均ハペンシルヲ奉リタルニ王ハ之ヲ取リテ日本公使來議我ノ七
字ヲ記シテ手ツカラ泳孝ニ授ケテ走ラシメタリ(其後井上大使ナドノ話ヲ聞ケバ國王
ノ親筆ニハ朝鮮國大君主李熙印ニテ立派ノモノナリト云ヘドモ是レハ井上ノ事實モ
知ラサルナリ其書面ニ付テ口傳アリ)蓋シ宮中ノ放火モ固ヨリ獨立黨ノ手ニ起リシモ

ノニテ一箇所ノ内一箇所ハ宮女何氏ノ手ナリ此何氏ハ豫テ王墓房ノ掛リトテ宮内御用ノ水菓子ヲ司ル職掌ナルガ婦人ナガラモ平生生事大黨ノ卑屈ナルヲ憤リ年來竊カニ金朴ニ黨シ今同モ密謀ニ加ハリタルモノナリト云フ

國王王妃ヲ始メ皇族ハ既ニ慶祐宮ニ安座スルヲ殆ト同時ニ日本公使ハ直チニ宮中ニ入り兵隊ハ大門ノ内外ヲ警備シ又彼ノ前宮ノ小隊長李景完ハ當直ノ兵ヲ率ヒ申福樓李寅鍾ノ徒ハ壯士ヲ指揮シテ皆要所ニ備ヘ慶祐宮内獨立黨ヲ以テ充滿シ人ノ之ヲ悟ル者ナシ群臣事實ヲ聞キ天機伺ヒシテ續々宮ノ大門ニ至レドモ警備ノ日本兵容易ニ之ヲ入レズ門ニ至リ名刺ヲ出セバ先ツ使者ヲシテ之ヲ内殿ニ達セシメ内ヨリ許可シテ其證左ニ金玉均朴泳孝若クハ徐載弼ノ名刺ヲ持チ來ルモノハ之ヲ入レ然ラザル者ハ許サズ蓋シ其前金朴ト日本兵ノ間ニ約スルモノアレバナリ斯ノ如クニシテ諸大臣或ハ入ルモノアリ或ハ拒絶セラルモノアリ其間ニ閑泳穆到ル門外ノ番兵暫ク之ヲ留メテ其名ヲ内ニ通シケレバ内ニ於テハ固ヨリ待設ケタル所ニシテ一モ二モナク入内ヲ許可シテ但シ從者ヲ許サズ泳穆ハ單身大門ニ入り入レバ即チ門扉ヲ閉シテ囊中ノ鼠ニ異ナラズ衛兵配列ノ中ヲ行ツテ第二門ニ入ルトキ刺客傍ヨリ起リ日本兵ハ其周圍ニ在ルガ故ニ通過ノ路ナク唯一刀ノ下ニ斃ル斃ルレバ即チ血痕ヲ掃除シテ事ナキモノノ如クシテ其次ギヲ待ツ但シ刺客ハ韓人ニシテ日本人ハ刀ヲ取ラズ泳穆既ニ殺サレ次入ル者ハ趙寧夏又次閔臺鎬二人共ニ狀ヲ異ニセズ

李祖淵韓奎稷尹泰駿ハ早ク既ニ參内シテ殿中コレヲ殺スニ策ナシ依テ金玉均ハ此三將ニ各外ニ出デ兵ヲ率ヒテ來リ衛ルベキ旨ヲ以テ之ヲ促ガシテ已マズ終ニ叱シテ之ヲ逐出シ玄關ニハ徐載弼待チ構ヘ三將ノ躊躇スルヲ見テ手ヲ以テ突飛バスマデニシテ漸ク外ニ出デ夫ヨリ路ヲ大門ノ方ニ取ラズシテ山ノ手ノ門ヨリ出デントシ第一門ノ邊ニ至リテ様子ヲ見レバ李景完ノ兵ハ備ヲ固クシテ之ヲ守リ固ヨリ大將ノ命ヲ聽ク可キニ非ズ三人共ニ狼狽スル所ニ刺客ニ逢フタリ

慶祐宮ハ遷座ハ四日夜十一時頃ニシテ其御大臣輩ノ殺サレタルモノハ未ダ公然奏聞セラレザレドモ宮中何トナク穩カナラズ王妃ヲ始メ宮女等ハ頻リニ大闕ニ歸ランコトヲ思ヒ百事遲滯スル其際ニ夜モ將ニ明ケントスル五日前七時ノ頃宦官ノ長ニシテ兼テ勢力アル柳在賢ヲ縛シテ御座近キ廊下ニ引來リ罪狀ヲ申渡シテ之ヲ斬ル鮮血迸リテ御衣ヲ汚サントスル程ノ有様ニシテ滿座色ヲ失ヒ寂シテ聲ナシ是ヨリ宮女宦官等モ全ク屏息シテ歸國ノ事ヲ言ハズ同日(五日)午前十時更ニ桂洞宮ニ移ル

桂洞宮ニ於テモ亦歸闕ノ談ヲ發シ王妃王大妃ハ無論國王モ亦切ナルガ如シ金朴ノ黨ハ常ニ支那兵ノ不慮ヲ恐レテ歸闕ノ危道ナルヲ知リ竹添ニ依賴シテ國王ニ奏シ此ニ守ルノ利ヲ説カシメントシタレドモ竹添ハ王ノ意ニ抗スルヲ得ズ午後四時(五日)ノ頃空シク大闕ニ歸リタリ此ノ時ニ當リテハ政府ノ權柄ハ全ク獨立黨ニ歸シ漸ク官吏ノ更迭モアリ先ヅ無事ニシテ晚ニ至リ諸門ヲ閉サントスル時支那ノ兵營ヨリ二十名バカリ宣仁門ニ來リ今夜ハ此門ヲ閉ス勿レト云フニ闕内ニテハ様々評議シタレドモ先ヅ今晩ハ其ノ言ヲガマハニ任セント門内ニ兵備ヲ儼ニシテ開門ノマ、一夜ヲ明カシタリ

五日ヨリ六日ノ午前午後マテハ獨立黨ノ勝利ニテ追々制度ノ改革ニ著手シ門閤廢止ノ議ヲ實施シ租稅ヲ改メ貸付米ノ舊弊ヲ除キ宦官ノ權ヲ殺ギテ又宦官ヲ尋常ノ官途ニ登用スルノ路ヲ開キ支那ノ朝貢ノ禮ヲ廢シテ獨立國ノ名實ヲ固クシ宮内省ヲ設ケ多ク李氏ノ人ヲ用ヒテ尊王ノ義ヲ明ニ諸營ノ統領ヲ易ヘ或ハ世子ヲ以テ陸軍大將ニ任センナドノ内議モアリテ前途ノ計畫モ少ナカラズ又目下焦眉ノ備モ忙ハシカリシ其時ニ金玉均ハ竹添ニ向テ豫テ薄々御相談申シタル通り國事改革ニ就キ差

向キ必要ナルモノハ資金ナリ此一義日本政府ノ御周旋ヲ以テ出來可申ヤト尋ネケレバ竹添ハ怪シム氣色モナク金策ハ隨分日本ニテ成ルベケレドモ抵當ハ如何ン金額ハ乃チ何程ト問ニ金玉均ハ五百萬圓ト云ハレント欲シタレドモ先ヅ内端ニシテ二萬圓ニ抵當ニハ金山ト發言シテ竹添ノ受合餘リ容易ナルニ付金玉均ハ尙念ヲ押シ日本ニテハ二三百萬圓ト御話シタレドモ玉均ノ見ル所ニテ日本ノ商人ニ斯ル巨額ノ金ハ難カラシ實ハ日本國ニ借用セズトモ日本國ノ周旋ニテ西洋ノ諸外國ニ朝鮮ノ國債ヲ募集スルノ手段ヲ御依頼申スノミト云ヒタルニ竹添ハ笑テ日本ノ商人ニハ固ヨリ二三百萬圓ノ巨額ハ六ヶ敷カラシナレドモ君ハ日本政府ノ大藏省ヲ知ラズヤ拙者ノ申ス日本ニテ金策トハ其目的唯大藏省ニ在ルノミ僅ニ二三百萬圓ノ金圓立ドコロニ辨ズベシト明言シテ大ニ安心シ疑ニハ十餘萬圓ノ金ヲ朝鮮ノ地ニテ即時ニテモ調達スベシト云ヒ今又外債ノ談ニハ日本政府ノ金ヲ貸サント云フ益々竹添ヲ信ジ又日本政府ニ依頼シテ更ニ疑ハ心ナカリシト云フ

桂洞宮ニテ竹添ガ國王ヲ立ニ諸大臣ニ向テ政談ノ演說ニ其趣意ハ西洋文明ノ風潮次第二東方ニ迫リ支那ノ如キ老大國ハ頼ムニ足ラズ朝鮮モ自強シテ獨立ノ策ヲ立ツベシ云々ト平生(十七年)十月再渡以來ノ持論ニ異ナラズ又國王ト談話ノ語次兵士ノ事ニ及ビ竹添ノ說ニ四營中最モ用ニ適スルモノハ前營ナリ此兵ハ日本ノ式ニ從テ會テ朴泳孝ノ指揮シタルモノナリ左レバ今日コノ兵營ヲ司ル人物ハ朴氏ノ外ニナカルベシト勸告ニ依リ朴泳孝ガ特ニ前營ノ大將ニ任セラレタリト云フ

桂洞宮ヨリ大闕ニ歸ルニ付テハ國王ノ情切ナリト雖モ金朴ハ其不可ヲ論ジ堅ク執テ動かスト雖モ唯竹添ガ優柔ナルガ故ニ王ノ言ニ從ヒシモノナリ初メ金朴ガ事ヲ企ツルヤ一舉ノ後ハ王ヲ奉シテ江華ニ據リ平靜ノ後還御ト策ヲ定メテ既ニ十一月二十五日金ガ竹添ニ面語ノ時ニモ其策ヲ告ゲタルニ竹添ハ頻リニ大闕ヲ去ルノ不利ヲ説テ金朴ノ言ヲ聽カズ其後島村ニ談シタレドモ是レ亦竹添ト同說ニシテ如何トモスカラズ然ラバ即チ不十分ナル要害ナレドモ萬一ノ時ニハ慶祐宮ニ遷ラントテ初メテ竹添等ノ同意ヲ得タル事ナリ斯ク迄ニ心配シタル事ナレバ五日午後大闕ニ歸ルハ獨立黨ノ最モ危ノ所ナレドモ竹添以下ノ人ハ素ヨリ支那ノ兵ヲ恐レズ大闕ニ居テ防禦易シト思ヒシコトナラン

十二月六日朝金玉均ハ書ヲ作テ袁世凱ニ贈リ昨夜支那兵ガ我大闕ノ宣仁門ヲ閉ス勿レト指圖シタルハ甚ダ開ニ難シ闕門ノ開閉ハ小事ニ非ズ以來右様ノ指圖アルモ此方ニ於テハ決シテ之ニ從ハズ無理ニトアレバ自カラ處分ノ法アルベシト申送リタレドモ返書來ラズ凡ソ同時ニ却テ彼レヨリ便用ヲ以テ國王ニ一書ヲ呈シタリ其文ニ

統領駐防各營記名提督果勇巴魯吳兆有 上陳

大王殿下昨晚聞
受虛驚 今幸
大王洪福 京城内外平靜如常 務乞
大王放心 敕軍三營亦托
庇無事 合拜靜明肅 此恭叩鉤安 提督兆有謹上

トアレケレバ韓廷ニテハ都承旨朴泳教ノ名ヲ以テ領收ノ證ヲ交附シタリ又凡ソ同時ニ袁世凱ヨリ使者ヲ以テ國王ヲ拜謁致度ニ付テハ兵士八百ヲ率ヒ東西ノ兩門ヨリ各々三百ヅヲ入レントコトニ付金玉均ヨリ返書ヲ贈リ尋常ノ護衛兵ヲ伴フテ參内ハ苦シカラズト雖幾百ノ兵ヲ大闕ニ入ルコト相成ラズ強ヒテ力ヲ以テ入ランナラバ此方ニモ其覺悟アリト申返シタルニ又後方ヨリ士官一名朱守備ナルモノヲ差越シ國王

ニ面謁セシコトヲ乞ヒケレバ大將分ノ者ナラバ謁見モ許スベケレドモ士官ノ身分ニテハ叶ヒ難シトテ洪英植ガ應對シテ之ヲ返シタリ近來ノ例ニ從ヘバ吳兆有袁世凱等ヨリ書ヲ呈スレバ國王ノ名ヲ以テ之ニ應ジ又士官ニテモ謁見ヲ乞フ時ハ之ヲ許スノ慣行ナリシモノヲ今同特ニ之ヲ改メタルハ支那人不遜ヲ致シタルヤ必セリ朴泳教ノ亂後ニ殺サレタルモ推シテ其信ナルヲ知ルベシ

同日(六日)午後二時半頃袁世凱ヨリ一書ヲ國王ニ呈シ凡ソ同時ニ兵ヲ率ヒテ大關ヲ圍シ砲發頻リナリ其書ハ金朴ノ手ニ取リテ讀マレザレドモ文ノ半以下ニ大王ヲ保護シ併セテ日兵ヲ護ル云々ノ文字ヲ窮ヒ見ルヲ得タリト云フ

砲發ノ騷擾ト共ニ王妃世子 世子妃ハ早々宮中ヲ出デ次デ大王妃及王妃等皆去ッテ殘レルモノハ唯國王一人ノミ金朴ハ事ノ容易ナラザルヲ悟リ又大關ノ守ルニ不利ナルハ初メヨリ知ル所ナレバ王ヲ奉シテ先ヅ仁川ニ落チントテ之ヲ勸ムルトモ聽カズ唯王大妃ノ在ル所ニノミ行カントノミニテ之ヲ如何トモスベカラズ四日以來國王竝ニ王妃ノ傍ニ在ルモノハ悉皆獨立黨ノモノニシテ外ヨリ來ル書翰ノ類ニテモ其由テ來ル所ヲ知ラザル事ナキ筈ナルニ不思議ナルハ六日ノ朝王妃食事ノ際ニ當リテ竊ニ書ヲ呈スル者アリテ妃ノ正ニ之ヲ讀ムヲ窮ヒタルモノアリ暖間ノ際傍ヨリ之ヲ詳知スルハ固ヨリ難ケレドモ外來ノ書ナリシ事ハ慥カナリ依テ推測ヲ下セバ此書ガ或ハ支那人ノ手ヨリ午後砲發ノ聲ト共ニ宮中ヲ出ヅベキ事ヲ告ゲ又出デ行クベキ方向ヲモ示シタルモノニハ非ザリシヤト姑ク疑フ存スト云フ支那兵ノ至ルト同時ニ朝鮮ノ兵モ之ニ應ジ殊ニ彼ノ別抄兵ナルモノハ頻リニ大關ノ後ノ山ヨリ砲發スルヲ以テ金玉均ハ怒テ山下ニ走リ行キ大音ヲ發シテ汝奴輩大王ニ向テ彈丸ヲ奉ルカト叱咤シケレバ衆兵靡キテ皆口口ニ否ナ大王ニ向フニ非ズ敵ハ日本人ナリト答ヘ發射ハ暫ク止シタレドモ玉均去レバ亂發奮ノ如シ是ニ於テ竹添ノ氣ヲ摧ケタル事甚ダシク復守ルノ意ナキガ如クナル其上ニ國王ハ只官王大妃ノ處ニ行カンコトヲ求メテ止マズ蓋シ王妃以下皇族ハ北廟ニ在ルトノコトニテ此廟ハ關羽ノ祠ニシテ大關外ノ北西ニ當リ當日ノ形勢ヲ以テ言ヘバ先ヅ支那兵ノ防禦線内ニ在ルモノニ似タリ國王ハ既ニ後國ニ出デ金玉均朴泳孝洪英植徐光範ノ徒之ニ供奉シ竹添モ亦伴フ金朴ハ既ニ事ノ成ラザルヲ知ルモ尙仁川ニ幸スルノ念ヲ斷タズ後國ヲ步シテ北門ニ出ヅルマデニ七度止マリテ之ヲ爭ッテ七度聽カレズ此上ハ唯竹添ガ決心ノミト觀念シ萬一ヲ祈リタレドモ竹添ハ疾ク既ニ退去ト覺悟ヲ定メタルモノト見エ門内ニテ王ニ別レテ告ゲタレバ金朴モ今ハ詮方ナク王ノ行ク處ニ從ハントシタレドモ彼ノ北廟ノ邊ニハ必ズ支那ノ伏兵アルヲ探知シ依テ門内ニテ御暇ヲ願ハントスル時王ハ願ミテ汝等何處ヘ行クヤトノ御尋ネニ金朴ハ涙ヲ拂ヒ一死尙國家ノ爲メニ保ス臣等ハ是ヨリ日本ニ赴キ多年來ノ殊恩ニ背カズ國ノ爲メ君ノ爲死ヲ致シテ青天白日再ヒ天顏ヲ拜スルコトアルベシトテ其レヨリ左右ニ相分レテ金朴以下ハ竹添ト共ニ公使館ニ行キ國王ハ北廟ノ方ニ赴カレタリ此時洪英植ガ王ニ隨テ北廟ニ行キタルハ此人ハ平生溫厚ノ開アル人物ニシテ四日以來騷擾ノ際ニモ窃ニ兵士ヲ遣シテ閑泳翊ノ家ヲ護ラシムル等其處置ノ至極穩カナル處アルガ故ニ假令ヒ支那兵ノ手ニ掛ルモ慘毒ヲ免ルコトナラント思ヒ同黨ノ諸士モ強ヒテ其行ヲ留メザリシコトナレドモ後ヨリ考ヘレバ看ス看ス死地ニ陷レタルニ異ナラズトテ獨立黨ノ諸士ハ今尙ホコレヲ後悔シテ止マズト云フ